

## II. 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

### 1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北海道)		一般小売店〔土産〕 (経営者)	・当地では隣接している自治体への通勤が多いことなどから、新型コロナウイルスの感染者が増加傾向にあり、不要不急の外出自粛などが要請されている。今後については、より厳しい措置が必要になる可能性もあるが、ワクチン接種が始まることで景気が良くなると期待している。また、ワクチン接種が始まった後に、Go To Travelキャンペーンが再開されることも期待している。
		住宅販売会社(経営者)	・何としても3～4月までには新型コロナウイルスの感染拡大を収束させてほしい。そうなればこの先の経済状況も改善すると期待できる。
		一般小売店〔酒〕(経営者)	・新型コロナウイルスの感染状況次第の面があるが、緊急事態宣言の効果が出始めることになれば、回復の兆しも見えてくる。
		百貨店(売場主任)	・2～3か月後は、前年の北海道独自の緊急事態宣言を受けて店舗休業を行った時期であるため、前年比では売上が良くなる。ただ、全体の景気は、新型コロナウイルスが終息するかどうかに掛かってくることになる。
		百貨店(販売促進担当)	・緊急事態宣言が解除されれば、人の動きも活発になり、来客数や買上数も増加することになる。
		百貨店(営業販促担当)	・寒さが緩むタイミングでワクチン接種が開始されるとみられ、安心感が広がることになる。外出を控えている年配者が動き出すことで売上也多少上向いてくる。
		乗用車販売店(従業員)	・10～12月の状況から、しばらく景気は上向いてこないものとみていたが、現状をみると、景気は底を打って上向く状況がみえてきており、春先に掛けて、このまま販売量が伸びていくとみられる。また、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くことになれば、客も安心するようになり、財布のひもも緩むことになる。
		乗用車販売店(従業員)	・新型コロナウイルスの感染状況が春に向けて改善されることを期待している。また、春先に新型車の発売を控えていることもプラスである。
		その他専門店〔造花〕(店長)	・新型コロナウイルスの終息具合に応じて景気も上向くことを期待している。
		観光型ホテル(スタッフ)	・新型コロナウイルスの感染者数の減少と東京オリンピックの開催判断によって景気が上向くことを期待している。Go To Travelキャンペーンが再開され、東京オリンピック開催に向けたイベントが行われることになれば、それがプラス要因となり、景気はやや良くなる。
		旅行代理店(従業員)	・緊急事態宣言が奏功し、新型コロナウイルスの感染拡大が収まり、かつワクチン接種が開始されることにより、観光需要が復活することを期待している。また、ゴールデンウィークの花観光の集客に向けて準備を進めていく必要がある。
		旅行代理店(従業員)	・今後については、新型コロナウイルスの感染状況が下火になり、ワクチン接種が動き出すことで、空気が変わってくることになる。
		通信会社(企画担当)	・気温が上がり始めることに加えて、ワクチン接種のように新型コロナウイルス対策でも前向きな話が出てくることで、景気はやや良くなる。外出する人が増えるようになり、集客状況も改善すると期待している。
	観光名所(従業員)	・季節が春に向かうなか、新型コロナウイルスの感染状況も減少傾向になるとみられることから、景気は今よりも上向くと期待している。	
	美容室(経営者)	・季節的に良い時期となってくることに加えて、新型コロナウイルスの感染状況も数か月前と比べると大分良くなっていることから、景気は今までより少しは良くなる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・まだ全ての人に新型コロナウイルスのワクチンが行き渡る予定が決まったわけではないため、それが分かってからでない判断できない。
		商店街（代表者）	・景気が上向き判断ができるような材料が見当たらない。区域内の店舗は、できる限りの感染予防対策を行った上で営業しているが、来街者にとって安心して買物できる環境にならない限り、現在の状況が継続する。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・今後2～3か月で、ワクチン接種の道筋がみえてくるとみられるが、ワクチン接種が始まったからといって、旅行需要が急激に回復するとは考えられない。また、Go To Travelキャンペーンについても世論の反発があるため、仮に再開できたとしても、すぐには利用につながらないことが懸念される。現在の売上は前年の2割弱だが、3か月後に前年の5割程度まで戻れば御の字とみている。
		百貨店（役員）	・今が一番悪い底の状態だとみているため、これ以上悪くなることにはならない。
		スーパー（店長）	・前年と異なり、学校行事や社会行事などは、小規模ながらも実施されるようになってみられるが、そのために購入する商材は必要最低限のものになると見込まれる。以前のような水準に戻るまで、しばらく時間が掛かることになる。
		スーパー（役員）	・クラスターの発生もあり、新型コロナウイルスの感染者数の増減が激しいことから、消費者の行動がかなり慎重になっている。そのため、今後数か月は人との接触に気を遣う生活が続くことになり、買物回数もこれまでと同様に、できるだけ減らすことになる。ただ、現在と大きな変化はないため、スーパーマーケット業態の景気はやや良い状態で推移する。
		コンビニ（エリア担当）	・今後の景気については、新型コロナウイルスの感染状況次第の面がある。
		衣料品専門店（店長）	・例年であれば、新生活のスーツが稼働してくる時期となるが、今年は客の動きが不透明となっている。ただ、早めの2月に買いそろえる客は少ないとみられることから、今後の景気は変わらない。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くまで景気は変わらない。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスが終息するまで現状維持の状態が続く。
		乗用車販売店（従業員）	・受注量は前年並みに推移しているが、生産体制に遅れがみられることから、新車登録までに時間が掛かるケースが多くなると見込まれる。そのため、3月までに売上を見込めないケースが増えてくること懸念される。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者について、現在と同様の傾向がしばらく続くとみられることから、今後も景気は変わらない。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況や緊急事態宣言の動向によってかなりの影響を受けるため、今後の景気については判断できない。
		旅行代理店（従業員）	・北海道に緊急事態宣言は出ていないものの、東京都や大阪府などの大都市圏が対象地域となっていることの影響が大きく、今後の新規旅行の予約は全くみられない。新型コロナウイルスの感染減少、ワクチン接種の開始、Go To Travelキャンペーンの再開などのめどが付かない限り、現状からの回復は望めない。
		旅行代理店（従業員）	・Go To Travelキャンペーンの再開次第の面もあるが、国民全体にワクチンが行き渡るなどして、新型コロナウイルスが収まらない限り、以前のように旅行へ出掛ける人は少ないとみられるため、景気は現状のまま変わらない。
		タクシー運転手	・乗客数については、これ以上悪くならないとみているが、景気が良くなるような要素が何もないため、今後の景気は悪い状態のまま変わらない。
		観光名所（職員）	・東京都などでの緊急事態宣言の影響により、当地においても停滞ムードが広がっている。観光施設の来客数は低調に推移しており、回復の兆しが全く見えないことから、手の打ちようがなく、今後も景気は変わらない。ワクチン接種など、いち早いばん回策が待たれるところである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・東京都などを対象とした緊急事態宣言が解除されるまで、現在の状態が続く。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響で収入が減少している人が増えているとみられる。価格の安い商材が売れている。
		スーパー（企画担当）	・節分やバレンタインのような特別な催事の需要は好調に推移するとみているが、新型コロナウイルス禍がなかなか収まらない状況にあるため、ふだんの食事に係る食材購入については節約ムードが広がるとみられる。
		スーパー（役員）	・観光客が減った影響で、問屋からホテルや居酒屋向けの業務用商材の販売依頼が増えている。
		コンビニ（エリア担当）	・今後、企業の倒産が増加することが懸念される。飲食店やホテルなどの一部の業種だけではなく、これまでに表面化していない納品会社、製造会社も存続できなくなることが見込まれ、失業者が増加することになる。全体的に不景気感が強まり、消費者はより安い店を求めることで、競争環境が一層厳しくなる。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの感染者数が減り、緊急事態宣言が解除されない限り、人が安心して街に出てこないため、今後の景気はやや悪くなる。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・衛生関連商材が行き渡るようになってきていることから、売上は安定し始めている。今後については、雇用の先行き不透明感が増している分、悪化するとみられる。
		高級レストラン（スタッフ）	・営業自粛が当たり前になっており、新型コロナウイルスが終息に向かっても、客が飲食店に押し寄せるようなことは考えにくい。そのため、今後、観光や飲食に対する国の支援策が始まったとしても手放しで喜べない。
		タクシー運転手	・飲食業や旅客運送業にとっては、現在の状態が続けば危機的な状況となる。景気回復に向けてはワクチン接種が必要とみられるため、エッセンシャルワーカーに対するワクチン接種を優先的に行えるようにしてほしい。
		タクシー運転手	・医療従事者へのワクチン接種について、2月中に始める予定となっているが、一般市民に対しても6月にはワクチン接種が始まることを期待している。一般市民へのワクチン接種が始まれば、景気回復の兆しも徐々に現れることになる。それまで企業が耐えることができるかどうか問題となるため、国による補償や支援策などが行われることを期待している。
		美容室（経営者）	・自粛要請の影響で客の来店周期が全体的に長くなっている。特にシルバー層の動きの悪さが顕著となっていることから、今後の景気はやや悪くなる。
		住宅販売会社（経営者）	・今後については、全体的な所得の低下が懸念される。分譲マンション市場においては市場規模が徐々に縮小してきており、社会全体での所得の下支えが必要な状況にある。
	×	商店街（代表者）	・今のままの自粛行動が続けば、経営を維持できない店舗が増加することになる。緊急事態宣言が解除された後も厳しい状況が続く。
	×	商店街（代表者）	・今後については、観光のオフシーズンが続くことに加えて、新型コロナウイルスの影響もあり、景気は悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・Go To Travelキャンペーンの一時停止、緊急事態宣言の発令により、観光業界は壊滅的な状況となっている。売上が前年の1%程度しかない店舗もみられる。また、冬の最大集客イベントも中止に追い込まれたことで、全面休業するホテルも続出している。今後、ゴールデンウィークまで回復の見込みがないことから、観光業界の低迷は1年を超えることになり、存続もままならない状況にある。これ以上の融資拡大も企業存続の観点から難しい状況となっており、観光業界向けの金銭面での支援を本格的に実施しない限り、国内の観光業は壊滅することになる。
	×	スーパー（従業員）	・今後については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い消費が減少することが見込まれる。
	×	コンビニ（エリア担当）	・今後については、新型コロナウイルスワクチン接種の状況次第の面がある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、飲食店は壊滅的な状況になる。これから春に向けて暖かくなることで、感染者が少なくなれば、今よりは多少景気が上向きになるとみられるが、それは余り確かなこととは言えない。このままの状態が続くと、本当に苦しいところがたくさん出てくる。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・自粛期間が長くなれば、客離れにつながるようになる。来客数減少に歯止めを掛けるような対策もないため、今後の景気は悪くなる。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染対策を進めると、感染者数が減り、緊急事態宣言が解除されるが、それにより都市間移動が拡大し、感染者数が再び増加するという流れになっているため、前年から状況は変わっていない。ワクチン接種が始まることへの希望はあるが、一般人に行き渡り、効果が出てくるのは早くても半年先になるとみられるため、今後の景気は悪化傾向のまま変わらない。
	×	スナック（経営者）	・今後の景気については判断が付かない。ただ、新型コロナウイルスが終息するまで、取りあえず休業を続けていきたい。
	×	観光型ホテル（経営者）	・感染ステージの判断基準について見直す動きがなく、緊急事態宣言が延長される可能性が高いことから、今後の景気は悪くなる。Go To Travelキャンペーン再開の判断基準が厳しく設定されていることもマイナスである。また、誤った情報や恐怖心を殊の外にあおる情報が広まることで、経済活動が大きく毀損されており、観光業界、飲食業界のみならず幅広い関連産業の停滞を招いている。
	×	タクシー運転手	・タクシーの利用は天候に左右されるため、例年であれば雪の降る冬季はタクシーの利用が多くなるが、今年は新型コロナウイルスの影響で人の移動が制限されているため、売上が全く上がらない。寒くて一番雪が多い時期でも、こうした状況にあるため、今の状況が続くのであれば、景気はますます厳しくなる。経営陣は会社を運営していくことができなくなると懸念している。
	×	タクシー運転手	・月を追うごとに自粛の雰囲気が強まっていることから、ワクチン接種の成果が現れるまで、景気の後退が続く。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染者が前年末から急激に増加しており、この先の景気が良くなるような気配すら見当たらないため、今後の景気はますます悪くなる。
	×	美容室（経営者）	・今後の景気については、新型コロナウイルスの感染状況次第である。
企業 動向 関連  (北海道)		-	-
		建設業（経営者）	・今後については、ゼロ国債による公共工事の受注などが始まるため、稼働量はまだ少ないものの、土木工事を中心にマインドが上向くことになる。ただし、建築工事は新型コロナウイルスの影響で先行きが不透明である。
		通信業（営業担当）	・新型コロナウイルスによるマイナスの影響は無視できないが、柔軟な対応とアイデアで危機を機会に変えている企業が周囲に多くみられる。今後、政府の計画どおりにワクチン接種が進むのであれば、社会的な期待の高まりとともに、アフターコロナに適応するための設備投資意欲が企業で高まることになり、現状よりも景況感は改善する。
		食料品製造業（従業員）	・特に景気を上向かせるような案件が見当たらないため、今後も景気は変わらない。
		建設業（役員）	・公共土木工事は来年度予算成立後の新規受注が期待できるものの、新型コロナウイルスの影響で民間設備投資が減少していること、工事量確保のための受注競争が激化していることから、次年度以降の受注見通しが立たない状況が続く。
		輸送業（支店長）	・新型コロナウイルス禍が2～3か月後に落ち着くとは考えられないため、今後も景気は変わらない。ただし、建築資材の輸送については今夏以降の予定が入り出している。
		金融業（従業員）	・新型コロナウイルス対策として、各種給付金の給付期限延長などが決定したことから、道内景気の下支えが期待できる。このため、道内景気は、新型コロナウイルスの感染状況によって一進一退しつつ、何とか現状を維持することが見込まれる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		司法書士	・一部では、観光や外食に使われていた金が、住宅購入や不動産投資に回るとの見方もあるが、地方都市においては、そうした動きは限定的とみられる。新型コロナウイルスの影響がなくなる限り、景気は低水準で推移することになる。
		コピーサービス業（従業員）	・新型コロナウイルスに対する警戒感は長期的に続くと思われることから、今後も景気は変わらない。
		その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・今年度内の受注についてはほぼみえてきているが、来年度の受注については例年の半分程度の受注しかみえていないため、今後も景気は厳しいまま変わらない。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・今後については、公共工事の予算増額が見込まれる一方で、民間設備投資の冷え込みが懸念される。新型コロナウイルスの影響による景気悪化の底がみえず、先行き不透明な状況がいつまで続くか予測もできない。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・緊急事態宣言が延長されるかどうか、その動向に注目している。ただ、北海道の景気への影響は少ないものとみられる。
		家具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの終息まで、まだしばらく時間が掛かりそうのため、景況感の悪い産業から、景気の下振れ圧力が強まる懸念される。
		金属製品製造業（従業員）	・新築住宅着工戸数の落ち込み幅の回復が鈍化していることから、新型コロナウイルス感染拡大の影響がこれから強まる懸念される。
		建設業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響が建設業界にも広まってきたのか、これまで選別受注をしていた建設会社の営業マンの受注姿勢が何でも仕事を受けるといった低姿勢のものに変わってきている。
		司法書士	・例年、冬季は不動産の売買、建物の新增改築の受注が低迷する時期である。今年は新型コロナウイルスの影響も加わっていることから、今後の景気はますます悪くなる。
		司法書士	・新型コロナウイルスのワクチンが多くの人に引き渡るまで、経済活動の低迷状態が続くことになる。そのため、景気回復は今しばらく見込めない。
		その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・2～3月は建築関係の仕事がほとんど発生しておらず、繰越して残っている仕事が終われば、落ち着くような状態にある。新年度上期の案件はみられるが、工期的に下期へずれ込む可能性がある。これらのことから、今後の景気はやや悪くなる。
	x	-	-
雇用 関連 (北海道)		-	-
		求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの感染者の状況が若干落ち着き始めたことから、このまま減少傾向が続けば、求人意欲が増してくる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・計画どおりに進むことが前提になるが、春からワクチン接種が開始されることで、徐々に消費者のマインドが明るくなり、個人消費が増加することになる。それに伴って景気も上向いてくることを期待している。
		職業安定所（職員）	・当地において新型コロナウイルスのクラスターが発生したが、大分小康状態になっており、ほぼ収束に向かっている。今後、感染者数が一定の人数に落ち着くようになれば、外出自粛などの動きも緩和され、ある程度の人出がみられるようになり、景気がやや良くなる。
		職業安定所（職員）	・当地の新規求人数は前年比マイナス10.4%、月間有効求人数は前年比マイナス13.7%となっており、いずれも減少しているが、今後、新型コロナウイルス感染拡大の影響で停滞している経済活動の回復が見込まれるため、景気は徐々に復調する。ただし、需要が低迷する一部の業種については、不安定な状態が継続していることから、当面は現在と同様の水準で推移する。
		人材派遣会社（社員）	・求人数は回復傾向にあるが、求職者のスキルとのミスマッチが増えていることから、企業における人材確保が遅れることが懸念される。一部の業界を除けば、前年並みの業績達成も危ぶまれる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、今後も現在の前年比7割程度の水準で推移しそうな気配があることから、景気は変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・新規求人数が前年を上回っているが、雇用調整助成金の相談が増えてきていることから、今後も新型コロナウイルスの影響が続くことが見込まれる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・国による新型コロナウイルス対策として、企業や国民への抜本的、具体的な改善案が示されない限り、政府に対する信頼は回復しないため、しばらくは何も変わらない。各企業の新卒採用意欲も変化がないと見込まれる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・このままの状況が続くと、2～3か月のうちに誰にも知られることなく閉店する店が増加することになる。
	x	*	*

## 2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (東北)		衣料品専門店（店長）	・前年の3月初めぐらいから新型コロナウイルスの影響が始まっている。前年は入学式の中止や延期、この辺が販売に多大な影響を与えた。今年は前年ほど入学式の中止がなくて、簡素化したとしても実施するということになれば、前年の景況感が一服してくるので、前年よりはという意味だが、少しずつ上がってくるのではないかとみている。
		観光型旅館（スタッフ）	・現状休業が続いているが、県独自の補助事業が再開されるので、感染予防対策を強化しながら対応していきたい。
		商店街（代表者）	・今後、雪が解け春の兆しが見えてくる。商品的にも冬物から春物に替わり、卒業、入学の需要も徐々に増えてくるので、今後は天候の動向も見ながら皆で努力をしていくことにより良くなっていく。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスワクチン接種開始への期待感もあり、経済活動が活発化するものとみている。
		百貨店（経営者）	・気温の上昇やワクチン接種などにより新型コロナウイルスの感染者数が減少し始め、消費マインドも新年度に向けた晴れの需要とともに回復してくることに期待している。
		スーパー（経営者）	・2月以降の天候にもよるが、雪解けが進むことで来店頻度が上がり上向いてくるとみている。ただし、新型コロナウイルスの状況次第でもある。
		コンビニ（経営者）	・今が一番厳しいときなので良くはなるだろうが、先がみえない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、気温の上昇とともに来客数の微増が見込まれる。
		コンビニ（エリア担当）	・外的環境が変わらなければ、春先に向けての季節伸長が見込まれる。
		衣料品専門店（経営者）	・春物が入荷して、そして新型コロナウイルスについて先が見えてくれば購買意欲も出てくる。
		衣料品専門店（店長）	・緊急事態宣言が終了し、各学校の入学式が開催されることになれば、スーツ需要が喚起され、景気は上向きになると予想される。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスワクチン接種が始まれば、消費が戻るとみている。
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・春にかけて少し回復してくるとみているが、それでも例年と比べればかなりの減少が予想される。とにかく飲食業、観光業の回復に期待するしかない。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・様々な感染対策の緩和やワクチン接種等により、今よりは移動需要が増えることを期待している。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・前年は暖冬であったが、今年の寒さは例年どおりであるため、灯油の販売量が伸びている。新型コロナウイルスの影響による外出控えもあり、家庭内の消費が増えているようである。
	一般レストラン（経営者）	・今月と比べてということであれば、少し暖かくなるということと、新型コロナウイルス対策の時短要請などの効果が出て、今よりは状況が良くなることを期待している。	
	観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、ワクチン接種が進み、気候が暖かくなれば、少なくとも今よりは状況が良くなることを願いたい。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（従業員）	・現在の緊急事態宣言及び自粛要請により、新型コロナウイルスの感染者数や入院者数が減少すること。さらに、ワクチン接種が始まること。Go To Travelキャンペーンが再開すること。それらを前提として旅行需要が増えることを期待している。
		通信会社（営業担当）	・転勤など引っ越しに伴い解約者も増える時期になる。一方で、コロナ禍の影響でWi-Fiなどインターネット環境の整備の重要度が増したため、若年層を中心に新規加入者増も見込んでいる。特にモバイルタイプのルーターなど、低価格の無線インターネットの需要が拡大すると予想している。
		テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスも少し落ち着いていると思うので、緊急事態宣言が解除されれば動きも少し戻ってくるとみている。
		観光名所（職員）	・新型コロナウイルスワクチンの接種が進むことが条件となりそうだが、前年は花見を我慢した観光客が来場してくれることに期待している。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	・書籍、楽器共にニーズを捉えたSNSの発信によって消費が動いている。全般的に天候不安や経済不安がそのまま消費マインドの低迷に反映していることは変わらないが、子供の教育、高齢化社会に向けての楽器の需要や、ニーズにマッチングしたものは引き続き動いていくとみている。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・数か月後には卒業シーズンが待っており、例年は謝恩会や送別会等で宴会が多くみられる時期だが、客から一切そのような予約が入っていない現状を聞くと、このまま厳しい状況が続くとみている。雇用調整助成金の延長は決定したが、こうした助成金が打ち切られたときにどれほどの企業が残っていられるのかを考えると不安である。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	・寝具業界は新型コロナウイルスの影響がなくても厳しい状況が続いているのに、客先訪問も控えなければならない現在、新型コロナウイルスの終息がない限り厳しい状況が続く。
		百貨店（営業担当）	・来客数は横ばいで推移しており、購買傾向にも大きな変化がない。感染拡大の影響もあるが、Go Toキャンペーンなどの喚起施策が必要である。
		百貨店（買付担当）	・新型コロナウイルスとの共存という現在の状況に皆が慣れつつあり、それなりに消費行動がみられるようになっていく。今後の状況によっては更に上向きになることも考えられるが、飽くまでも今後の感染状況次第である。
		スーパー（店長）	・来客数は減少しているが、単価がアップしている分、売上は何とかぎりぎりのところで維持している状態が続いている。一概に良いとはいえないこの状況はこれからも続くともみられる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルス感染者数が増え来店頻度は下がっているが、客単価は上がっており、その分の売上の伸びはまだまだ続くとみている。
		スーパー（企画担当）	・コロナ禍が続いているので2～3か月先も変わらない。食品スーパーに関しては内食需要があるので売上は良い状態が続いており、今後も変わらないとみている。
		スーパー（営業担当）	・前年にコロナ禍が始まり、商品需要の極端な増減があったため、その反動が懸念される。分類によっては大きなマイナスを計上する可能性もあるため、収益的にも不安定要素が多い。
		コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言のお陰で、新型コロナウイルス感染者数の減少が若干みられるようになってきたが、期待先行だけでは楽観視できないような状況である。ただ、ここ数か月、客単価や買上点数は前年同期と比較しても底堅くしっかりしているので、あとは人の動きだけが変動要因とみている。
		コンビニ（経営者）	・ワクチン接種ができるようになり、新型コロナウイルスが落ち着かない限りは、良くなっていかない。それまでは下がり続ける。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が大きいことには変わりない。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス感染症による影響は2021年度も続き、長期的になる。来客数の低下を客単価で補う形となるが、直近では売上を改善できる大きな変化要因はない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（経営者）	・今年は年度末の特需売上は見込めない。新型コロナウイルスのワクチン接種がどうなるか、具体的な動きが示されれば人出が多少増加し売上増にも結び付く。
		衣料品専門店（経営者）	・春物新商品が入荷し客数アップの時期ではあるが、不要不急の外出控えは継続なので現状維持と予測する。
		衣料品専門店（店長）	・必要に迫られて購入するもの以外で何か気分が明るく前向きになる要素、例えば東京オリンピックの開催などが見えてこない、消費が上がってくるようなことはない。
		衣料品専門店（総務担当）	・緊急事態宣言の解除も不透明で、市場への来客数も減少している。また所得の減少により景気が改善する要素がない。
		乗用車販売店（従業員）	・例年であれば1月は販売量、商談の数が一番多くなる時期にもかかわらず、余り件数が出てこない。
		乗用車販売店（従業員）	・雪が解け、決算期になると現在より受注実績は伸びるが、半導体不足により新車生産台数に制限があり、在庫台数が減少すると売上も減少する。
		住関連専門店（経営者）	・受注生産なので決まったものを製造して、販売、取付け、納品をしている。今のところはさほど変わらないという状況である。
		住関連専門店（経営者）	・当店の主な客層である高齢者の活動が活発になれば売上にも結び付く。新型コロナウイルスワクチン次第である。
		その他専門店〔靴〕（従業員）	・地方でも毎日のように新型コロナウイルスの感染者が確認されている。この状況が収束しなければ、商業施設の客は増えてこない。
		観光型ホテル（スタッフ）	・大都市の緊急事態宣言がいつまで続くかによる。
		タクシー運転手	・社会の流れがテレワークを推進している現状から、ビジネスマンのタクシー利用率が下降線をたどることは明らかである。高齢者においても感染が怖いので必要以外の外出を避けている。子供連れの家族はマイカーによる移動手段を選択しており、収入アップは見込めない。
		通信会社（営業担当）	・景気が好転に向かうような材料に乏しい。
		通信会社（営業担当）	・新プランが3月から始まり、客が今以上にネットに流れると予想される。
		観光名所（職員）	・今後何らかの対策を打つことによって景気が変わるかどうか、という判断すら難しい状況である。Go Toキャンペーンでは一定の利益を得たが、まるでそれが悪いことのようにやり玉にあがっている国会の中継もあった。非常に頭が痛いところである。存続の危機というふうに捉えている。
		遊園地（経営者）	・3月から新しいシーズンに入るが、現在の緊急事態宣言の動向を含めて、新型コロナウイルスの動向次第になるので、見通しが付かない。
		競艇場（職員）	・リピーターの減少については、原因が分からないと手の打ちようがない。新規客の増加が見込めない以上、常連のみとなることから、景気は変わらないか悪くなる一方である。
		住宅販売会社（経営者）	・近日中に新展示場がオープンするので、新規客及び契約見込み客が増加し、受注が拡大する見込みである。
		その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・感染症対策を施しながらの運営となるため、来場者数は前年と同等になることは難しく、現在と状況は変わらないとみている。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスワクチン接種が一般に普及するまでは、外出を控え自粛する傾向が続き、消費が落ち込むとみている。
		商店街（代表者）	・地方であっても自主的に自粛しているので、このまま経済活動は停滞していく。
		商店街（代表者）	・雇用調整助成金の特例措置が終了すると更に悪化する。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・前年は新型コロナウイルスにより売上が大幅にアップした。しかし今年はまだまだ売れているが、前年のようにならないとみており、例年並み又は少し良い程度の前年比105%くらいを期待している。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・ショッピングモールで閉店しているテナントを多く見掛ける。このような状況では、業種的にコロナ禍の悪影響を直接受けないといっても、全体的な需要減退の影響を受けないわけにはいなくなる。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経営者）	・2月は新型コロナウイルス感染対策の緊急事態宣言が出された地域以外でも外出自粛等の要請があり、来客数の前年割れが続く。事業継続が厳しい業種では雇用調整助成金や支援金などで何とか持ちこたえているが、仕事が激減し、従業員の可処分所得減は避けられない。年金生活者も将来不安への備えから、買い控え傾向が強くなるのではと危惧している。新型コロナウイルスワクチン接種の効果が出るまでにはかなりの期間を要するため、消費環境の厳しい状態はしばらく続くものとみている。
		スーパー（店長）	・安さの追求から利益が取り難い構図になりつつある。将来の収入に対する不安などが増加し、食費に対してはより安さを求める声が多くなってきているのではないかと懸念している。
		スーパー（営業担当）	・収入の減少などにより価格に敏感な傾向が更に強まる。各社低価格の方向に進み、特売を含めクーポン、特典などを強化しないと集客が難しくなると予測している。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染の拡大で夕夜間の客が減少している。この先良くなる要素がない。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの影響で業績が悪い業界がはっきりしてきたようである。職を失った人もおり、一般市民の所得も低くなってきたようで、買い控えもみられるようになってきている。新型コロナウイルス感染の収束状況次第だが、3月一杯くらいまでは厳しいのではないかと予測している。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス感染が収束に向かわない限り、良くはならない。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響で今後は景気が悪くなってくるとみている。客の買物マインドが低下し、高単価なものが売れにくくなってきているのではないかと予想している。
		家電量販店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で東京オリンピックが開催されないとなれば、オリンピック需要は落ち込んでいく。また、新社会人、新大学生の1人暮らし需要も落ち込むとみている。落ち込みは避けられない。
		乗用車販売店（従業員）	・半導体不足がニュースでも取り上げられている。車が販売店に届いて登録されたものが売上、収益となることを考えると長納期の心配が出てくる。今後どのような影響が出るかが問題である。長納期の影響が出ると新車販売の景気は悪くなっていくと考えられる。
		乗用車販売店（本部）	・例年、時期的に出現するはずの法人客の社用車入替えや、新卒者ニーズが現状顕在化してこない。初売り後というタイミングとはいえ、今後の商売に懸念が残る。
		自動車備品販売店（経営者）	・例年であれば、歓送迎会や各種総会など飲食を伴う各種機会が多くなる季節だが、今年は顔を合わせず書面で行われることが多くなるようである。関連業種は前年に続き相当なダメージを受けることが予想される。
		住関連専門店（経営者）	・2～3か月先についてはとりわけ好材料が見つからないため、現状のままで推移するのではないかとみている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・首都圏の緊急事態宣言後、客足が落ちている。今後、新型コロナウイルスの感染状況に好転がみられない場合は、この傾向が続くとみられる。
		旅行代理店（従業員）	・3か月先の先行予約状況としては一般団体の旅行案件はいまだにゼロ状態であり、Go To Travelキャンペーンの全国一時停止が延長となれば、旅行業界の悪化に歯止めが掛からず、深刻な状況に陥ってしまう。
		タクシー運転手	・コロナ禍終息のめどが立っていない。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染防止と経済回復の両輪が片輪になっているため、更に景気が悪くなるとみている。農業漁業といった第一次産業の低迷により、五次、六次産業が少しずつ増えている気がする。税金に関わらない産業が増殖しているため景気が悪くなるとみている。
		通信会社（営業担当）	・タクシー会社等から減車、廃業の話が再び聞こえてくる。
		通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言が当面続くと推測される。
		美容室（経営者）	・このところ前年比90%を保っていた既存客の再来店率が80%に下がってきている流れはそう急には変わらない。また、新型コロナウイルスの影響で、前年同様、卒業式の中止による予約客のキャンセルなども考えられるので非常に危惧している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・新型コロナウイルス発生から1年を経過してもなおこの状況では、先々に不安しかないので、景気の回復も見込めない。
		その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・住宅設備機器は給湯機凍結による点検修理の問合せが急増しているので、今後、交換につながる可能性がある。リフォームは工事見積りの問合せが減っている。
	×	商店街（代表者）	・現在、ほとんど来客がなくなり消費が止まったような状態である。2～3か月先に新型コロナウイルスのワクチンの影響が出てくるかどうかであるが、実際は消費が低迷した状態が続くのではないかとみている。
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・時短要請期間がまた伸びるかもしれないという不安要素がある。そして、これがもし解除されても、今の状態では通常の営業活動には戻らない。巣籠り生活にすっかり慣れきっており、街に出て楽しむという雰囲気にはなりにくいので、今後大変厳しくなることが予想される。
	×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がみえず、東京オリンピック中止の議論が始まるのではないかとという状況下で、支出を抑えるために倹約志向に走り、なおかつ買上点数を抑えている。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの状況に加え、天候も大変悪くなってきているため、来客数がなかなか伸びず、悪くなっていくとみている。
	×	コンビニ（エリア担当）	・このまま緊急事態宣言が長期化することにより、人の動きの鈍化が続き、ますます売上確保が難しい状況となると予想される。
	×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・コロナ禍が落ち着くまで我慢するしかないと考えている。政府や行政も沈静化させることを第1に考え、経済を復旧させるのはその後として計画を立ててもらいたい。
	×	その他専門店〔食品〕（経営者）	・今以上に悪くなることは想像したくないが、5月まではこの状態が続くとみている。気温が上がり、感染症の広がりが全国的に落ち着くまでは我慢である。
	×	高級レストラン（経営者）	・コロナ禍が収束する見込みがないので、良くなることはない。
	×	一般レストラン（経営者）	・客も新型コロナウイルスの終息にあわせて出てくるのではないかとみているので、終息に全てが掛かっている。
	×	一般レストラン（経営者）	・年末辺りは新型コロナウイルスに慣れて人は出てきていたが、今回、時短要請が出たことで人々がまた出てこなくなっている。今後も現在の状況が続くのではないかと予想しているため、良くなることはあり得ない。
	×	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの状況やGo Toキャンペーンの再開時期次第でどう変わるかわからないが、春までは低迷状態が続くとみている。
	×	旅行代理店（従業員）	・緊急事態宣言も2月7日で終わるとは思えず、先行きは更に不透明感が増している。このような状況下では旅行需要が増える要素は何もないため、かなり前から入っていた予約も今後の状況次第ではキャンセルになるとみている。
	×	通信会社（営業担当）	・冬の時期であり、新型コロナウイルスの感染者数が高止まりで推移し、緊急事態宣言が延長されることも予想されることから、向こう数か月は景気が悪くなっていくと考えている。
	×	設計事務所（経営者）	・設計業務は年度末に向けて大きな発注は見込めない。コロナ禍において、新規事業の先送りや中止が発生し、先行きが非常に不透明である。他社からは2年後、3年後の見通しどころか、半月後、3か月後の見通しすら立たないという話も聞かれ始めた。
企業動向関連 (東北)		-	-
		食料品製造業（営業担当）	・季節が変わり新型コロナウイルスの感染者数が減少すれば、また観光の動きも出始め、徐々に回復してくるのではないかとみている。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・半導体業界の景気上昇はしばらく続く見通しで、その影響が我々の景気に今後ますます反映されてくると考えられる。
		通信業（営業担当）	・年度末に向けて、来年度のテレワーク環境構築に向けたタブレットやPCの駆け込み需要が見込める。
		農林水産業（従業者）	・前年の果物農家の収入は、ももが前年比で2割ほど高くなったものの、りんごは2割ほど安く販売され、全体でならずと例年並みの収入になっている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルス終息の見通しが立たなければ、現状から変化はないとみている。
		金属製品製造業（経営者）	・受注増の情報がでてきているが半年先に増えるという情報なので、それまでの状況は不透明であり、直近、大きく改善する見込みはない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染収束の見通しが立たない。
		通信業（営業担当）	・客の反応は今後も厳しい状況が続くとみている。リモートに特化したサービス等で関係が切れないようつなぎとめるしかない。
		金融業（広報担当）	・新型コロナウイルス感染症の状況次第だが、小売や飲食は現状程度の業況は維持できるものとみている。一方、春の観光シーズンまでに県外からの人の往来が劇的に復活するとは考えにくい。
		広告業協会（役員）	・春先に向けて新型コロナウイルスの感染が収束に向かえば、イベントも復活し、明るい兆しが見え始める。感染状況次第で広告市場はプラスにもなればマイナスにもなる。
		広告代理店（経営者）	・ワクチン接種はまだ先であり、東京オリンピック開催も怪しい状況で、好転するきっかけも見いだせない。
		広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であり、見通しが立たない。
		司法書士	・全体としては軟調だが、新規分譲地の販売は堅調である。
		コピーサービス業（従業員）	・本来は年度末に向けて商談件数が増えていく時期だが、今年は年が明けても動きが鈍く、新型コロナウイルスの影響か、様子を見ている感じがある。本当に先がみえない状況である。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの状況次第である。ワクチン接種が進み一般の人が安心して生活できるようになれば、景気はおのずから上向くというふうにみている。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・原因となっている新型コロナウイルスの感染者数が大幅に改善する見通しが立たない。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・巣籠り生活の影響で白物家電の売行きが伸びているが、そうした高額商品に金が行くと、もっと高額な住宅という選択肢からは遠ざかってしまう。これが気掛かりである。
		その他企業〔協同組合〕（職員）	・受注残の日数が若干長くなりつつあるものの、同業他社との価格競争が激しい。加えて、超短納期の発注のために対応できない場面が多くなってきている。
		農林水産業（従業者）	・大雪により融雪剤等の出費が増えることが予想される。
		出版・印刷・同関連産業（経理担当）	・飲食店関係を相手にする広告業者、代理店は業績が悪化している。イベント中止により印刷物の受注残は前年比で2割ほど落ちている。
		窯業・土石製品製造業（役員）	・新型コロナウイルスの影響で地域経済全体が停滞し、民間の設備投資も手控え傾向がみられる。
		建設業（従業員）	・新年度へ期をまたいで契約する案件の受注が見込まれるものの、コロナ禍による民間投資減による受注量低下は避けられないと推測される。
		建設業（企画担当）	・新型コロナウイルス感染症のワクチン等が広く行き渡らない限り、景気が劇的に回復することはない。また、現時点で緊急事態宣言の解除時期も延長の可能性が高いことを考えると、この先の景気は現状よりやや悪くなるとみている。
		輸送業（経営者）	・緊急事態宣言が解除になり、ワクチンの接種が国民に実施されるまでは、景気回復は難しいとみている。
		金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者増加が収まるまでは、先が見通せない状況が続くとみられる。
		経営コンサルタント	・資金繰りに行き詰まり倒産、廃業の瀬戸際に追い込まれる事業者が増えるという見込みがある。
		公認会計士	・新型コロナウイルス感染症が落ち着くまで、少なくともあと2～3か月は景気悪化の傾向が続くとみている。その間は小売、飲食、サービス、建設関係の業績回復は難しい。
	×	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が大きく、先がみえない。この状況がいつまで続くか分からず、資金面も心配である。
雇用		-	-

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
関連 (東北)		人材派遣会社(社員)	・今年度中に単独運営の外資系生保コールセンターで30名規模の定期増員を予定しているため、業績の腰折れ不安はなく、2～3か月先にも安心感がある。
		新聞社[求人広告] (担当者)	・新型コロナウイルス対策のワクチン接種の道筋が見えてきたため、一部で混乱はあるかもしれないが人の動きや消費マインドに明るい兆しが見えてくるとみている。年度替わりとも重なるため、地方においても期待感が膨らむ。
		人材派遣会社(社員)	・パンデミックになって約1年がたとうとしているが、各企業とも様々な対応に取り組んで今に至っている。そういう意味では、新型コロナウイルスが終息しない限り、いろいろな工夫や打ち手を打ってきているなか大きな改善は見込めない。逆に今この現状で維持していることを考えると、大きな落ち込みもないとみている。
		人材派遣会社(社員)	・来期向けの募集求人回数にはなるが、特に大きな変化はないとみている。
		人材派遣会社(社員)	・現時点ではワクチン以外に新型コロナウイルス感染症に対応できる要素がないことから、まだまだ大きく変化することは考えにくい。
		人材派遣会社(社員)	・新型コロナウイルス感染症の動向が不透明である。また、一部製造業に求人の動きが出始めているが、サービス業は依然厳しい状況が続いている。
		新聞社[求人広告] (担当者)	・新型コロナウイルス感染者の増加に伴うGo Toキャンペーン停止に自粛ムードが追い打ちをかけ、デパート、流通、飲食、観光等を中心に大変厳しい状況が続いている。今後の情勢にもよるが、3か月先はもっと厳しい状況になるとみている。
		新聞社[求人広告] (担当者)	・新型コロナウイルス感染の収束がみえない。
		職業安定所(職員)	・当面新型コロナウイルス感染症の影響は続くともみている。
		学校[専門学校]	・新型コロナウイルス感染症の影響で、景気は悪くなっている。
		人材派遣会社(社員)	・新型コロナウイルスの影響が大きく、政府からの雇用継続の要請が出ている。しかし、3月の派遣契約の延長なしに加え、求人数の動きが少ないこともあり、離職者が増える可能性が出てきている。
		職業安定所(職員)	・新規求人、新規求職共に動きは弱い。2～3か月先に新型コロナウイルス感染症の拡大など悪化するきっかけは考えられるが、改善のきっかけは現時点では考えられない。
		職業安定所(職員)	・助成金などを活用しながら、厳しいなかでも雇用を維持してきたものの、雇用調整を行わざるを得ないという事業所の情報が入ってきている。
		職業安定所(職員)	・緊急事態宣言が2月7日で終わるのかどうか。
		職業安定所(職員)	・前年の4～12月まで新規求人倍率、有効求人倍率共に前年比20%減の状況が続いている。しばらくこの傾向は続くともみている。
	×	人材派遣会社(社員)	・政府を含め、新型コロナウイルスに対して適切な対策が採られているようにはみえない。
	×	アウトソーシング企業 (社員)	・明らかに自治体からの仕事が減っている。

### 3. 北関東(地域別調査機関:株式会社日本経済研究所)

(- : 回答が存在しない、\* : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)		一般レストラン(経営者)	・リバウンドは必ずある。歓送迎会などの宴会は、まだできそうもないが、個人単位では動き出すと思っている。
		一般小売店[青果] (店長)	・緊急事態宣言が解除されれば、飲食店、ホテル等の取引先の売上も上がってくる。
		コンビニ(経営者)	・3か月先は緊急事態宣言の解除等があり、来客数や客の様子が変わっていくと思われる。
		自動車備品販売店(経営者)	・このところ、既存の客が消費を抑える傾向にあったが、今後は、必然性がある消費の上昇が多少見込める。同時に年度末ということもあるので、1～2か月程度は、景気はやや持ち直すのではないかと。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		都市型ホテル（営業担当）	・現在の緊急事態宣言の効果が出てくるという期待感がある。3か月後に極端に状況が良くなるということはないが、改善していけば、また、若干は良くなっていく。
		旅行代理店（経営者）	・緊急事態宣言が解除され、Go To Travelキャンペーンが再開されれば、旅行需要が復活するとみている。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まって、人が動き出すと、景気も全体的に回復すると考えられる。
		設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まることや、暖かくなるにつれて、感染拡大の第3波が落ち着き、新型コロナウイルス禍以前に少し戻るのではないかと考えられる。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの収束のめどが立たない限り、先行きが見えない。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・花が咲く頃に新型コロナウイルスのワクチンが順当に一回ってくれば、一応皆が安心できる。まだしばらくは難しい。
		百貨店（営業担当）	・来客数は新型コロナウイルスの影響度合いによるところが大きく、先が見えない。客が来店しても店内での滞留時間が短く、売上に結び付かない。食料品等の必需品以外は依然として厳しい状況が続く。
		スーパー（商品部担当）	・新型コロナウイルスの終息が見えない状況での変化は、考えにくい。地域経済の状況やイベントの自粛、Go Toキャンペーンの停止と、先行きに対する不安要素は多々あるが、大きく変わらない。
		コンビニ（経営者）	・2月7日で緊急事態宣言の解除があるのかによるが、期待している。コンビニ業界への支援がなく苦しい1年だったが、新型コロナウイルスのワクチン接種で、「新しい社会」が生まれ、少なくとも5月以降は売上増になると期待したい。
		衣料品専門店（店長）	・今後の景気の良しあしは、新型コロナウイルスの感染拡大が収束するかどうかが、2～3か月先に収束するとは思えない。
		衣料品専門店（統括）	・現状は、新型コロナウイルス感染拡大の防止で、消費者の外出が大分控えられている。需要低迷が長く続く懸念がある。
		家電量販店（店長）	・正直なところ新型コロナウイルス禍もあって、東京オリンピックの動向も不明で、先の見通しが立てにくい。
		家電量販店（店員）	・現状では巣籠り需要が継続するとみている。
		乗用車販売店（経営者）	・当地は新型コロナウイルスの感染状況はステージ4で、飲食店を始め、街は夜8時頃には暗くなって寂しい風情である。また、当地域の基幹産業である自動車メーカーは、半導体不足で2日間の操業停止等、工業出荷額がダウンしているようである。
		乗用車販売店（販売担当）	・販売量は今月増えているが、単発的なものだと思うので、変わらない。
		乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルス禍で、ウイルスのせいばかりにしたいものではないものの、これが原因で人の往来が全くない。また、当店の客は、観光地のホテルやドライブインのオーナーや従業員なので、手の打ちようがないほど、客が来ない。2～3か月先に新型コロナウイルスのワクチン接種がうまく始まったとして、人の往来が改善されても、従業員が休んでいた分の給料の問題などが残っているので、観光地としてはすぐには良くなるとは思っていない。
		住関連専門店（仕入担当）	・不要不急の外出を避ける傾向は、緊急事態宣言が解除されても大きくは変わらない。当面は今の状況が続く想定で、計画していく。
		その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・一度冷えた景気はなかなか回復に向かわない。地方では、巣籠り傾向が、小売や飲食へ大きな影響を与えている。メーカーや問屋の動きも新型コロナウイルスの影響で、新商材へ向いていない。大手メーカーでも生産の遅れや中止が発生している状況なので、なかなか良い方向に回復していかない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・事業所給食では、新型コロナウイルスの影響から、既存受託先では施設ごとの提供食数の減少傾向が続いている。新年度からの新規受託先と併せて、何とか現状維持していくものと考えている。レストランは、外出自粛や営業時間短縮の影響で、新規取引先も含めて、当面は低調な状況から抜け出せないとみている。
		都市型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が実施され、問題なく進めば、明るい見通しも望める。ただし、いまだ不透明なため、見通しはつかない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・変わらないでほしいという希望的観測である。新年会等の宴会利用は全てキャンセルとなり、会議利用は少人数のため会場費も僅かである。レストランはランチが前年比85%とまだ踏ん張っており、テイクアウト販売も再開している。宿泊は近隣のホテルが新型コロナウイルスの患者受入れを始めたため、一般客が流れてきている。
		都市型ホテル（副支配人）	・2月から、宿泊についてはプロスポーツ関係の予約が幾つか入ってくるため、やや持ち直す見込みである。料飲部門は宴会予約がほぼゼロのため、厳しい状況がしばらくは続く。
		旅行代理店（所長）	・県内の新型コロナウイルス感染者数は、このところ減少傾向にあるが、楽観視はできない。ワクチン接種開始が遅れるとの報道もあり、一般民間人のワクチン接種がいつ頃開始されるかにより、観光需要の回復時期は変わってくる。
		旅行代理店（従業員）	・売上が立たないので国の案件のみが頼りである。学校関連の動きもオンライン化になるので、新しい事業計画を進めなくてはいけない。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は、ワクチン次第ではあるものの、あと1年は駄目だろう。また、脱炭素カーボンニュートラルにより、今後どのような影響が出てくるかである。立ち行かなくなる業種が山ほどあるのも事実で、原発再稼働の口実にもなりかねない。いずれにしても、特定の力のある企業ばかりにお金が集まり、格差社会が一層深刻になる未来しかみえない。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者数、自宅待機者数が高止まりしており、緊急事態宣言の延長が濃厚なため、改善は期待できない。
		通信会社（局長）	・2度目の緊急事態宣言で、先行きが不透明である。
		百貨店（営業担当）	・明るい話題としては、新型コロナウイルスのワクチン接種に関する報道が出始めているが、依然として先行きは不透明である。入学卒業等のオケージョン商戦も始まるが、2～3か月での感染収束は見込めず、厳しい状況は継続する。
		コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言が今後解除されるかどうか、また、その後どのような景気になるかを心配している。
		コンビニ（店長）	・現在出回っているプレミアム付商品券が終了し、また、新型コロナウイルスもまだしばらくは続きそうなので、良くなるらない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言の期間及び飲食店への時短要請等の延長などで、今以上に飲食店への風当たりが強くなると考える。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの変異種が今後広まったり、営業時間短縮や外食を控えるようにとの声掛けがされたりしている以上、明るい未来は見えない。
		スナック（経営者）	・現在、自粛要請を受けて当店は休業している。新型コロナウイルスのワクチン接種がまだ先なので、接種が始まるまでは、客も外に出るのは難しい。
		通信会社（総務担当）	・新たな料金プランにより、一定数の若年層の客は減少すると予測している。
		テーマパーク（職員）	・緊急事態宣言の解除が見込めず、2～3月の学生団体等にキャンセルが出始めている。観光客の回復につながる要件も全く見当たらない。
		競輪場（職員）	・無観客のレースが増えており、これから影響が出ると考えられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		美容室（経営者）	・ 土日に限定されていた工場従業員の客が、平日に来るようになってきている。リモートワークだからではなく、ほんの一部の職種を除き、暇で仕事がないからである。いまや日本は先進国のなかでも最も貧しい国だということを、与野党共に自覚していないと感じる。
		住宅販売会社（経営者）	・ 2～3月は異動の時期だが、法人も人の異動は少ない。賃貸契約も少ない予想である。新型コロナウイルス禍が収まるまでは、土地売買は成約まで時間が掛かることが予想される。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・ 国が考えている以上に国民は本当に疲弊している。このままでは、自殺者や食べることもろくにできない人間が出てくる。少し早急に対策を打ってもらわないと、飲食店、旅行業だけではなく、当店のような小売店にも影響が出てくる。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・ 緊急事態宣言の終了時期も見通せず、新型コロナウイルス変異株の感染拡大も見込まれる状況で、景気が良くなる材料が見当たらない。観光で成り立っている田舎のため、公共交通機関の移動を敬遠する状況が続き、駅前の店は土日ですえも休業している。20時以降営業していた飲食業のみを補助する今回の緊急事態宣言では、補助を受けられる店が非常に限られ、不公平感が強い。地方の観光地では、客は18時には帰るか宿泊施設へ行くため、元々18時頃までに閉店する店舗が多い。中途半端な自粛要請ではなく、強力な行動制限を短期間で行って、早く感染状況を落ち着かせてもらわないと、経営体力のない小規模事業所の存続は非常に厳しい。
	×	コンビニ（経営者）	・ 新型コロナウイルスの影響で、客は来店しなくなり、商材の売上は悪くなる。全く困ったものである。
	×	衣料品専門店（販売担当）	・ この新型コロナウイルス禍のなかで、今後は目に見え、希望に値する政策が、次々とタイムリーに発信される状況でないと、どんどん悪くなる一方である。
	×	住関連専門店（店長）	・ 緊急事態宣言が当県でも発出され、外出を控えている方が多い。ほとんどの小売店で20時以降は店を閉めているため、悪くなる。
	×	その他専門店〔燃料〕（従業員）	・ 新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、受注減が続いている。前年よりも更に減少している。
	×	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・ 社会情勢は日々変化しているが、上向きの要素が見当たらない。
	×	都市型ホテル（経営者）	・ 自粛要請はしてもそれに見合う補助が足りず、体力が持たない。もう限界である。
	×	タクシー運転手	・ まだしばらくは、この状況が続く気がする。先がみえない。
	×	タクシー（経営者）	・ 外出自粛の影響はこの先も続くと思うので、今後も悪くなる。
	×	タクシー（役員）	・ 税金をきちんと支払っていないような方ばかりが優遇されている感じがしてならない。
	×	通信会社（経営者）	・ 緊急事態宣言の発出で救う必要があるのは、飲食店だけではない。
	×	ゴルフ場（総務担当）	・ 新型コロナウイルス感染拡大の状況次第で悪くなる。
	×	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・ 倒産や自主閉業に追い込まれている客が多数みられ、それに伴い、従業員の解雇や時短による収入減少もある。新型コロナウイルスの収束が見通せない以上、悪循環は続く。
	×	設計事務所（所長）	・ 新型コロナウイルスの収束がまだ見えず、ワクチン接種も始まらない状態では、景気は落ち込むことが予想される。
企業 動向 関連  (北関東)		-	-
		一般機械器具製造業（経営者）	・ 自動車関連で新規立ち上げのアイテムが予定されており、他分野でも減産の話はほとんどない。
		建設業（総務担当）	・ 民間工事の動きは悪すぎるが、公共工事は補正予算の効果が出てくるのではないかと。
		化学工業（経営者）	・ 新型コロナウイルスの報道も落ち着いてくると予想する。冷静に判断できる世の中になることが肝要だが、落ち着いたとしても、現状と変わらない状態が続く。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・ 年度内は順調に続くものと予想される。
		金属製品製造業（経営者）	・ 取引先の様子から、この先の受注量がまだはっきりとは決まらないため、不安定である。受注予定はあり、仕事が出る場合は急に出てくるので、待機している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金属製品製造業（経営者）	・1～3月の売上が悪い年は、4～5月も同様に悪くなる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・今後もしばらくはずっと低空飛行が続く。今のところ回復の見込みはない。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先、販売量、受注量、競争相手の様子等は、悪いままで、今後2～3か月で改善されるとは思えない。今の状況がしばらく続く。
		その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が、まだしばらく続くと考えられる。
		建設業（開発担当）	・現与党政権誕生後、公共工事は順調である。前政権時は「コンクリートから人へ」のキャッチフレーズでは大変苦勞させられた。業種を政策の題目にしてほしくない。新型コロナウイルス禍で、大部分の企業が苦しんでいるなか、建設業は順調なので有り難い。早く終息することを願ってやまない。
		輸送業（営業担当）	・新年度を迎え、引っ越し便や新生活用品、白物家電、椅子、机、テーブル等のインテリア用品の荷動きは、前年並みの物量を確保する予定である。
		司法書士	・事務所でみている人の動きも、少し出てきている。また、市内のいろいろな業種の方と話すか、余り落ち込んでいないような感じである。落ち込みから回復しつつあるようなので、少し良くなっているのではないかと。
		社会保険労務士	・ゴールデンウィークまでに動き回れるようになれば良くなると思うが、新型コロナウイルスのワクチンが行き渡っているとは思えない。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・引き合い、商談件数、受注量共に、特段変化はみられない。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか、不安材料が多い。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・世界的な半導体不足による自動車生産の減産で、やや悪くなる。
		不動産業（経営者）	・新型コロナウイルス対策の動向が予測できず、自粛傾向もあるため、やや悪くなる。
		不動産業（管理担当）	・取引先の休業や業績悪化による保守管理業務の減少や減額要請が多く、ある程度は応ぜざるを得ないため、売上、利益の減少が見込まれる。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染拡大第3波による影響が大きい。資金繰りがひっ迫している企業が顕在化しており、これから年度末にかけて厳しい状況になる。
		経営コンサルタント	・緊急事態宣言がいつまで続くかにもよるが、飲食店の一部の業種や業態は、厳しい状態が続くとみている。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。
雇用関連 (北関東)		-	-
		人材派遣会社（経営者）	・衣料品関係は、冬物処分と春物展開に切り替わりつつある。生鮮食料品のほか、酒類等の小売は新型コロナウイルスの影響で、店舗を営業できないところも多く、かなり厳しさを増して行くのではないかと。住宅関連は目立つところは少ないが、工事は進められていく。年度末に向けて公共事業も現状維持から幾分増えてくると思われる。
		人材派遣会社（管理担当）	・自動車部品の生産、携帯電話の修理等の計画が多いため、やや良くなる。
		人材派遣会社（社員）	・取引先では、来年度の雇用維持の見通しがまだ不透明である。業績悪化により3月末終了者が増えると思込んでいる。
		職業安定所（職員）	・新規求人数は前月比でみると減少しているが、直近3か月ではほとんど変わらない推移である。
		人材派遣会社（経営者）	・現場の従業員が新型コロナウイルスにかかり、今のところどういうふうになるか、よく分からない。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響が、飲食店以外の業種に広がっているように見える。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・新型コロナウイルスが終息に向かわないと厳しいと感じている。特に、当県でも緊急事態宣言が発出されており、その影響がしばらく続くのではないかと心配している。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	*	*

#### 4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (南関東)		一般小売店〔生花〕 (店員)	・3月は卒業やお彼岸シーズンなので、例年花の需要が増える。今年はどうなるか分からないが、期待を込めての回答である(東京都)。
		ゴルフ場(経営者)	・気温が高くなり、客の動向も上向く。それに加えて、新型コロナウイルスも収束に向かうことを願っている。
		住宅販売会社(従業員)	・1月なのに、成約だけでなく、成約に向けた打合せ件数も増えている。年度末に向けて良くなる。
		商店街(代表者)	・新型コロナウイルスの性質上、気温と湿度が上がれば感染拡大状況が改善されることは見えている。感染拡大防止のための規制がなければ、ある程度の売上増加は確実に見込める。加えて、緊急事態宣言のときに抑えられた消費のリバウンドが飲食を中心に起きるといふ予想が必要、供給双方にある(東京都)。
		一般小売店〔家電〕 (経理担当)	・新型コロナウイルスの影響で、仕事も在宅が多くなり、家の中を改善しようとする人が増え、冷蔵庫、エアコンなど、住宅設備関係が売れていきそうである。
		百貨店(売場主任)	・緊急事態宣言の行方によって数字の動き方がかなり変わってくる。百貨店はどれだけ客が来店できるかによるので、外出が抑制されると、10~15%くらいは売上が減少するのではない(東京都)。
		百貨店(総務担当)	・新型コロナウイルス感染者数が大きく減少し、緊急事態宣言期間が終了すれば、来客数が少しずつ回復する。また、ワクチン接種がスタートすれば景気には追い風になる(東京都)。
		百貨店(広報担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が順調にスタートし、世の中のムードが前向きになってくることで、やや良くなると期待したい(東京都)。
		百貨店(店長)	・緊急事態宣言の解除、ゴールデンウィークの国内消費需要の高まり、不透明ではあるものの東京オリンピック、パラリンピックの実施、そして、夏には前年に人出が極端に落ちたお盆の人出、動向に期待している(東京都)。
		スーパー(販売促進担当)	・新型コロナウイルス感染者が身近なところに迫り、また外出自粛も重なり、食品購入者のまとめ買いが増えている。また、競合の各食品スーパーにて感染者も発生している影響で、当店への集客が高まっている。
		衣料品専門店(店長)	・今後2~3か月先には緊急事態宣言が解除され、気温上昇及び新型コロナウイルスワクチン普及が進む見通しのため、消費者心理にもプラス方向に作用する(東京都)。
		衣料品専門店(統括)	・緊急事態宣言の解除、新型コロナウイルス収束に伴って、入学式、卒業式、新生活の需要が高まるのが予想される。
		家電量販店(店長)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、新生活の需要が増えてくれば、関連する家電製品が売れる(東京都)。
		家電量販店(店員)	・緊急事態宣言の延長が予想され、巣籠り需要が続く。
		乗用車販売店(店長代行)	・3月の決算期を迎え、来客数が増えているので、販売台数も増えてくる(東京都)。
	その他専門店〔雑貨〕 (営業担当)	・緊急事態宣言中の現状が底であると考えている。予定どおり2月7日までで解除されれば、前回同様緩やかに回復していく(東京都)。	
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕 (団体役員)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、外出自粛が解除され、Go To Travelキャンペーンが再開されれば、景気は上向く(東京都)。	
	一般レストラン(経営者)	・前年の自粛時を振り返れば、今回も時短営業期間の終了と同時に回復することはなく、時短要請前の状況に戻るには、また1か月ほど掛かると思うが、3か月先ということであれば、多少の伸びはあるかもしれない。	
	その他飲食〔給食・レストラン〕 (役員)	・環境的には、取引先も極端な新型コロナウイルス対応を行っておらず、慣れが見えてきていることから、全般的には改善方向に向かっている(東京都)。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		都市型ホテル（スタッフ）	・希望的観測ではあるが、少なくとも3月には緊急事態宣言が解除されていると仮定し、Go To Travelキャンペーンが再開されれば、状況は一変する。
		旅行代理店（販売促進担当）	・2～3か月先は3～4月である。3月は年度末で、例年旅行が控えられる月であり、その上、新型コロナウイルスの影響があるので、旅行は厳しい。国内旅行は個人、団体共に厳しいが、延期になった分があるので、そちらが数字に結び付けば、今よりは期待ができる。また、気候も良くなるので、緊急事態宣言の影響等もあるが、人の動きが出てくるのではないかと（東京都）。
		通信会社（管理担当）	・新入社員の入社によるソリューションシステムの工事特需を見込んでおり、向こう2～3か月の景気は上向くとみているが、3か月以降の先行きは予測できない。新型コロナウイルスについて、ワクチンだけではなく、完治できる治療薬が開発されない限りは、以前のような活気ある状態には戻らない（東京都）。
		通信会社（総務担当）	・緊急事態宣言の再発出を機に、新型コロナウイルス感染者数の減少を期待できそうな傾向が見えつつある（東京都）。
		その他レジャー施設 〔ボウリング場〕（支配人）	・新型コロナウイルス感染者数推移の安定、治療薬開発のめど、東京オリンピックの開催等を考慮しての判断である（東京都）。
		その他レジャー施設 〔総合〕（広報担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、催事が開幕すれば、さすがに今よりは来場者数が増えるはずである（東京都）。
		住宅販売会社（従業員）	・今月が悪かったため、今よりはやや良くなるであろうという判断である。新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言も解除され、少しずつ客の動きも出てくるのではないかと。
		住宅販売会社（従業員）	・土地の仕入れが徐々に良くなってきているので、2～3月は販売に力を入れて資金を回転させられれば、景気が上がってきたと判断できるのではないかと。不動産売買には余り新型コロナウイルスの影響は出ていないと思うので、緩やかにだが景気は良くなっていく。
		商店街（代表者）	・現状がこれからも続くような気がしてならないが、今の状況からすると、どう考えても赤字を覚悟しなければならぬ。何か良い解決策をこれから考えていかないと、商売は非常に厳しくなってきている。ここが踏ん張りどころである。
		一般小売店〔家電〕 （経理担当）	・しばらくは今のような状態が続くのではないかと。キャンペーンなどの主だった営業活動はできないので、ホームページからの集客を期待している。
		一般小売店〔祭用品〕 （経営者）	・緊急事態宣言の解除は元より、新型コロナウイルスが収束し、元の日常に戻らない限り、良くはならない。
		一般小売店〔家電〕 （経営者）	・新型コロナウイルスの影響ではないかと思われるが、それ以外は特に考えられない（東京都）。
		一般小売店〔米穀〕 （経営者）	・今の不安定な状況がまだ続くと思うので、購買意欲に勢いがつくとは思えない（東京都）。
		一般小売店〔傘〕（店長）	・新型コロナウイルス収束の兆しが見えない限り、どん底で推移する。
		一般小売店〔文具〕 （販売企画担当）	・不安定要素が余りにも多い。2月は、通常ならセール等を行えるのだが、今年は新型コロナウイルスの影響で集客が余りできないこともあり、店頭部の売上、来客数は減少するのではないかと。外商の方は、2～3月の大型案件を取っているため、ある程度は維持できていると思っはいるが、それで大幅に上がることは見込めない。例年は年度末の3月頃に民間企業からスチール関係の受注などもあるが、今のところ全くない。大型案件は、官公庁案件に頼っているのが現状である。
		一般小売店〔茶〕（営業担当）	・会社にはテレワークで人が出てこない。売出しのイベントは人が来ない。そんな状況が早く終わらないことにはどうしようもない。新型コロナウイルスが早く収束することを願っている（東京都）。
		百貨店（売場主任）	・緊急事態宣言が延長となるか、解除になってGo Toキャンペーンの再開があるかなどの要因により、状況は大きく変わる。人の流れが回復しないと来客数も伸びず、見通しが不明である（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（総務担当）	・現在検討されている緊急事態宣言の延長を含め、現状からの急激な好転は見込めない。
		百貨店（総務担当）	・先行きの見通しが立たない現状では判断が難しい。緊急事態宣言下の現在が景気の底であるならば、浮上する可能性もあると考える。しかし、新型コロナウイルスの感染状況が波を打ち、それに合わせて景気も波を打つ感じなので、全く先を読むことができない（東京都）。
		百貨店（広報担当）	・新型コロナウイルスのワクチンが普及し、社会に広く安心感が醸成されるまでには相当な時間を要するため、数か月で局面が好転するとは考えにくい。一方で、休業要請など踏み込んだ措置が採られない限り、現状より悪化する材料も見当たらない（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・医療のひっ迫、新型コロナウイルス感染状況の改善はすぐには見込めず、現時点では消費者マインドが上昇するとは考えられない（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・緊急事態宣言の延長が見込まれる上、宣言解除後も外出を控える傾向は変わらず、来客数の回復がすぐには見込めないことから、状況はしばらく変わらない。
		百貨店（販売促進担当）	・緊急事態宣言の再発出に伴い、特に、客単価の高い高齢層の来店がストップし、非常に厳しい状況にある。今後も事態の改善がない限り、状況は変わらない（東京都）。
		百貨店（店長）	・売上は前年比85%程度と、食品を中心に客単価が高く、自宅ニーズにはお金を使う傾向にある。新型コロナウイルスのワクチンが普及するまでにはしばらく時間が掛かるため、現在の「外食をしない分、食にはぜいたく品」、「快適に過ごすためのリビング雑貨」の購入傾向は続き、来客数は現状のまま、という構造はしばらく継続するのではないかと（東京都）。
		百貨店（企画宣伝担当）	・新型コロナウイルス禍での消費動向は大きく変化しないと予想している。ある意味、新しい生活様式が定着しつつあるため、商売のあり方を再検討し、スピード感を持って実行する必要がある。経営としては雇用の維持を大前提に、経費削減により一層努めていく。
		百貨店（副店長）	・新型コロナウイルスの感染状況と、ワクチン接種の度合いによると思われるが、現状から考えると、楽観視できるものではない（東京都）。
		スーパー（店長）	・今のところ新型コロナウイルスの感染者数は余り減っておらず、恐らく緊急事態宣言は延長になるのではないかと。解除されるか、延長になるかで大きく変わってくると思うが、延長の場合は、今の流れのまま変わらずいくのではないかと予測している（東京都）。
		スーパー（店員）	・前年春のような一部商材の品薄や品切れが発生していることはないが、外食が制限されているため、内食需要が続くとみている。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスが落ち着くまでは、衣料品、住まいの品等の売上が前年を下回る状況が続く。食品については、ステイホームということで、来客数は前年並みであるものの、1人当たりの買上点数が増えていることもあって前年より伸びているが、衣料品や住まいの品の落ち込み分のカバーまではなかなか難しい状況がこの先も続く。
		スーパー（総務担当）	・外出自粛で外食をしないので、スーパーの売上が伸びている。家で良い物を食べたいという雰囲気があり、単価も上がっている。しかし、自粛期間が終わったら以前に戻りそうである。
		スーパー（営業担当）	・これから先もしばらくは外に出る機会を極力減らそうという社会の動きは変わらない。逆に、買物については、まとめ買いが今後も続く予想される（東京都）。
		スーパー（ネット宅配担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、収束に向かって業績が悪くなる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、夜から朝に掛けての来客数が相当悪くなり、今後の見通しはついていない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響もあり、今後のことは皆目分らない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスが収束するまでは、厳しい状況が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス感染者数の増加傾向が落ち着き、ワクチン接種が始まらなると、状況は変わらない（東京都）。
		コンビニ（商品開発担当）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いて、徐々に人が戻ってくることを期待したいが、期待止まりになりそうである。さらに、海外との窓口が開かなければ実習生が入国して入社することもできず、労働面での不安が発生する（東京都）。
		衣料品専門店（経営者）	・自粛が解除され、人の動きが活発にならないと、衣料品は売れない。
		衣料品専門店（役員）	・2月以降も、緊急事態宣言は延びるだろうし、なかなか出口が見えない。
		家電量販店（店長）	・緊急事態宣言の延長が大きく影響する（東京都）。
		家電量販店（店員）	・現在、緊急事態宣言再発出により、在宅勤務等に伴う家電製品の販売が上昇傾向にある。今後はその反動があるかもしれないが、テレビの買換え周期による購買が増えることも考えられるので、景気は変わらないと予想している。
		家電量販店（経営企画担当）	・新型コロナウイルス感染状況の推移も、期待される減少傾向には程遠く、この状況が大きく改善する気配はない。ワクチンの普及も遅れるとの見通しがあり、景況感を悪くする要因となっている。打開の方向性が見えてこないため、長期化する見立てに変わる（東京都）。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備は順調に入っているが、販売が余り芳しくない。今年一杯は新型コロナウイルス禍で余り良くないのではないかと。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は、すぐには解消できない。
		乗用車販売店（営業担当）	・緊急事態宣言の解除も不透明で、客の購買意欲も業種によって大きく違う。営業時間が短縮されているのに、販売計画や事業計画の変更もなく、スタッフが疲弊している。
		乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスの影響で、人の移動、展示会、イベントができない状態がまだ続くのではないかと。2月以降いろいろところでワクチンが接種されるようになり、それから半年ほどたてば、人の移動もできるようになってくるので、良くなるのではないかと。あと半年くらいはずっと我慢である（東京都）。
		乗用車販売店（渉外担当）	・新型コロナウイルスの影響により、先行きが不透明である。
		住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響は依然として甚大ではあるが、自粛疲れやワクチン普及への希望的観測などもあるのか、消費マインドが大きく落ち込んでいる感触はない。今後大きく回復するとまでは思えないが、しばらく現状維持で進んでいくのではないかと（東京都）。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・景気は余り良くなく、販売量も全然変わらない。
		その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・これ以上悪くなったら日本は終わりである（東京都）。
		高級レストラン（仕入担当）	・新型コロナウイルスの今後の感染状況に左右されるが、現在の景気が2～3か月で良くなるとは思えない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・3か月後も今と同じように変わらない。また、緊急事態宣言が解除されても、当面は客の動きは駄目だと思う。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染防止対策として、緊急事態宣言が今月8日に再発出されている。当社は16日から5店舗中3店舗を休業し、営業時間を短縮して午後8時に閉店、2店舗中1店舗は15～17時までクローズとしている。もちろんアルコール類は午後7時までである。これでは売上が取れるわけではないが、この方がまだマイナスが少ない。このままの状況だと、いつまで会社が持つかわからない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・東京や大阪、札幌といった大都市圏に集中していた新型コロナウイルス感染者が、今や全国に散らばっており、ある程度広まってしまっている。来月以降も自粛が続くようであれば、1月と変わらないような状況が今後も続く（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・変わらないというより、新型コロナウイルスの感染状況次第なので、どうなるかわからない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		都市型ホテル(スタッフ)	・とにかく今が底で、宿泊、宴会、婚礼、レストラン全てにおいて集客が困難で、売上が立たない日が続いている。新型コロナウイルスのワクチン接種も見通しが付いておらず、2～3か月で収束するとは考えられないことから、景気は変わらず悪い状況から抜け出せない。
		旅行代理店(経営者)	・新型コロナウイルスが収束しない限りは、我々の商売はなかなか成り立っていかない。もうひん死の状態である。
		旅行代理店(従業員)	・現状、前年比25%程度で推移している。新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が解除されなければ、Go To Travelキャンペーン一時停止の状況は変わらない(東京都)。
		旅行代理店(従業員)	・Go To Travelキャンペーン次第だが、現状ではキャンペーン再開の動きが見えない(東京都)。
		旅行代理店(営業担当)	・景気の先行きは、ひとえに新型コロナウイルスの収束に掛かっている。
		旅行代理店(総務担当)	・マスクは、新型コロナウイルス感染症がまん延する理由は、政府の行う景気対策が原因と非難しているが、明確な原因が示されない限り、景気の回復は見込めない(東京都)。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスのワクチンについて、英国大手製薬会社が最大9000万回分を日本国内で生産する方針だと分かった。今春にも出荷の準備が整う見込みというが、高齢者の接種が始まるのが4月、一般の接種は未定とのことなので、新型コロナウイルスが急速に収束するとは考えにくい。今年一杯は悪いままで推移する(東京都)。
		タクシー運転手	・緊急事態宣言下において、人の動きが全くなくなっている。新型コロナウイルスの感染者数が減る、若しくはワクチンが普及してきて皆が安心しない限り、この状況は続いていく(東京都)。
		通信会社(経営者)	・本来であれば春の繁忙期に入るところだが、新型コロナウイルスの変異株による感染拡大の懸念があり、例年どおりの状況には戻らない。客の希望による営業ではさほど影響を感じないが、対面での営業、工事等では、感染の心配をする客が増加傾向にあるので、現状からの変化は余りないとみている(東京都)。
		通信会社(経営者)	・今の状況のまま変わらないなら、現状維持が続いていく(東京都)。
		通信会社(社員)	・新型コロナウイルスの影響、MNOの新料金プラン発表の影響、いずれもすぐに収束する問題ではない(東京都)。
		通信会社(管理担当)	・緊急事態宣言以降、状況は変わらない。消費意欲が低迷しており、回復にはまだ時間が掛かる見込みである。
		通信会社(営業担当)	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、しばらくは同様の状況が続く。
		通信会社(管理担当)	・通信系については、大手携帯事業者から相次いで格安プランが発表され、一定のキャリア間の動きはあると思われる。しかしながら、Web上での手続きが主であることから、自ら判断できる層ではない世帯にどれだけアプローチできるかが重要な局面である。販売網を機能させる事業者が優位に立つと考えられる。
		通信会社(局長)	・サービス契約件数の純増数は余り変わらないとみている(東京都)。
		通信会社(営業担当)	・良くなると思える材料がない。
		通信会社(営業担当)	・人の動きが回復しない限り、変わらない(東京都)。
		通信会社(経理担当)	・新型コロナウイルス感染者数が減少トレンドに入っているとは判断しにくく、2～3か月後に世の中の動きが変わっているとは想像しにくい。
		パチンコ店(経営者)	・緊急事態宣言の再発出後、約3週間近く経過しているが、新型コロナウイルス感染者数の高止まりは続いており、宣言の延長論が取り沙汰され始めている現況下では、まだしばらく景気の回復や改善は期待できない。
		その他サービス[福祉輸送](経営者)	・3か月後という4月頃になるが、その頃までに新型コロナウイルスの感染状況に良い変化が現れるとは余り感じない。そういった意味では、今の悪い状態が続く、あるいは悪化すると思わざるを得ない(東京都)。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		設計事務所（経営者）	・新規の話はないが、現在かかわっている案件は、2～3か月先も続いている。新型コロナウイルスの影響によって大きく左右されることはなさそうである。
		設計事務所（経営者）	・継続中の仕事があるので、年度内は変化はないと考えている。新年度は、新型コロナウイルスの感染状況次第でどうなるのか、全く読めない。
		設計事務所（所長）	・年始の挨拶等で電話をしても、客には全く会えず、新型コロナウイルス収束の見通しがついてからとの話になるため、予定の見当がつかない（東京都）。
		設計事務所（職員）	・緊急事態宣言解除の有無にかかわらず、景気動向を大きく左右することはない（東京都）。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、現在の不況は続く。早くワクチンと治療薬が普及しないと景気は戻らない。また、東京オリンピックの影響も大きい。オリンピックが予定どおり開かれることを期待している。
		その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・建材の中でも一部先々の物件情報が見えているが、実需としては大きな期待はできない（東京都）。
		一般小売店〔和菓子〕（経営者）	・新型コロナウイルスの収束がまだ見えていない。3～5月の行事がまた中止になってしまう可能性が高いので、売上につながらないのではないかと。
		一般小売店〔文房具〕（経営者）	・緊急事態宣言が解除されても、客足がすぐに戻るとは思えない。また、客は短時間で買物を済ませる傾向にあり、必要な商品のみ購入して帰るので、客単価も落ち込んだままとなる（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・緊急事態宣言の解除待ちだが、段階的な解除であれば、回復も長引く（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・店頭から、アパレルを始めブランドの撤退も多くなってきていることは事実である。今後の自粛延長の影響は大きい（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・短期的には新型コロナウイルスの影響が大きく、緊急事態宣言から抜け出せない状況下で、外出自粛等が続き、景気が更に冷え込む恐れがある（東京都）。
		スーパー（販売担当）	・緊急事態宣言再発出の影響もあり、営業時間短縮などにより、店舗トータルの売上が減少している。この傾向はまだしばらく続く（東京都）。
		スーパー（経営者）	・緊急事態宣言が解除されたら元に戻る。
		スーパー（経営者）	・1月はまずまずだが、巣籠り需要で伸びていた前年2月と比べると、今年はそこまでは全然届きそうもないので、これからは厳しい状況が続く。新型コロナウイルスも少しずつ収束に向かってきているが、世の中、他の業種は本当に大変な状況なので、景気はこれからやや悪くなる。
		スーパー（経営者）	・食品スーパーマーケットなので、緊急事態宣言が出てから急に販売量が増えている。3月にも同じことが起き、その後は落ち着いたことから、今回も同じような傾向ではないかと。
		スーパー（店長）	・消費者には節約志向が依然として根付いており、新型コロナウイルスの影響で厳しい状況に陥る業種も多々あると思われるので、当面は厳しい状態が続く（東京都）。
		スーパー（仕入担当）	・前年2月は横浜港に停泊していた大型クルーズ船内で新型コロナウイルス感染者が出て、買いだめ需要が少し始まってきていた時期なので、前年度並みの売上確保は厳しい。
		コンビニ（経営者）	・徐々に売上が減少してきている（東京都）。
		コンビニ（経営者）	・ここへきて、また時短営業などで仕事なくなったせいか、応募者が増えている。前回の4～5月もそうだったが、仕事なくなると応募が増える。期間や日にちなどがはっきりしない学生の応募が特に多い。景気はやはり悪くなっている。
		コンビニ（経営者）	・これは仕方のないことだが、やはり夜の集客が減っている。人が外に出て来ないので、売上がかなり落ちており、厳しい状況になってきている。
		乗用車販売店（総務担当）	・最需要月の3か月後であるため、新車、中古車、サービスいずれも大幅減少となる。
		その他専門店〔貴金属〕（統括）	・毎月、景気が徐々に悪くなるという状況が今後も続く（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・個々の先入観もあるものの、中途半端な行動規制が続き、将来不安が拭えない状況が継続され、財布のひもが固くなるような気がする（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・リモートワークの影響により、周辺オフィスの空室率が上がっている。新型コロナウイルス収束後のオフィス人口減は避けられない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種も、国民全体が歩調を合わせ、順次接種していかないと、冬にまた感染拡大が考えられる。景気回復にはまだまだ時間が掛かる（東京都）。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・景気が悪い業種が多くなっているため、今後もこの傾向は続く（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・当初は緊急事態宣言は2月7日までの予定であったが、現状では延長も考えられるので、先行きはまだ不安である（東京都）。
		タクシー運転手	・やはり新型コロナウイルスの影響がかなり大きく、客も外に出てはいけないという自粛ムードが前月より強くなっている。この先いつまで続くか心配だが、当分は我々の仕事はこのまま右がりになってしまうだろうと感じている。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響による不況の出口が全く見当たらない。ただ、生活するのに最低限必要な分の売上を必死に維持しようとしている。現在は、将来のための少ない年金を使って生活している（東京都）。
		通信会社（社員）	・減収している企業と、業態の変化に対応して業績が悪化していない企業があり、明暗が分かれてきているようである。当社も対応の変化を求められる（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの収束が見えないままでは、大幅な状況改善は見込めない。
		通信会社（経営企画担当）	・緊急事態宣言の今後の動向によるが、現状が長引けば案件縮小の傾向が続く恐れがある（東京都）。
		その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、世の中の風潮に流されて来客数が減少し、売上減少につながるのではないかと。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・集客期に向けた宣伝などの動きがなかなか取りにくい。
		住宅販売会社（従業員）	・いつまでこの状態が続くのか、出口が見えない限り、客の購買意欲は浮揚しない。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（経営者）	・仕事が決まるまでには数か月掛かるため、営業活動ができない現状では、仕事を進めることができない。今後はますます厳しくなるのではないかと危惧している。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・緊急事態宣言が再発出されてから、家電店は巣籠り需要で良いという話があるようだが、結局は皆大手量販店に行っているような気がする。町の電気店で工事等を伴うような場合、企業相手になるが、どうしても縮小を考えている先が多くて話が先に進まない（東京都）。
	×	一般小売店〔家具〕（経営者）	・今後の景気は、全く良くはならないし、むしろ悪くなる一方だと思われる。自分の生活を守るだけで精一杯で、店のような耐久消費財に回す余裕はないと思うので、ますます悪くなる（東京都）。
	×	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・ソーシャルディスタンスがなくなり、密での商売が可能にならなければ、ほとんどの商売は成り立たない。
	×	一般小売店〔印章〕（経営者）	・経済も非常に大切だとは思いますが、経済を優先すると、新型コロナウイルスがまん延する。収束させるには出歩かないことである。やはり、命を大切にすることを前提に考えて、経済より命を優先すべきではないか。お互いに厳しいが、そのように考えている。
	×	一般小売店〔茶〕（営業担当）	・自粛に伴い、パートに勤務時間短縮の協力をしてもらっている。当然ながら、パート収入が減れば買物も減ってしまう。
	×	百貨店（販売促進担当）	・東京都の新型コロナウイルス感染状況は高止まりしており、緊急事態宣言解除の兆しも見えない。唯一の希望となっているワクチン接種もめどが立っていないため、更なる悪化が懸念される（東京都）。
	×	コンビニ（経営者）	・昼間の客は量販店や大型スーパーに取られ、夜間、特に深夜の来客数大幅減少の状況から抜け出すのはとても困難である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	衣料品専門店（経営者）	・2度目の緊急事態宣言発出後は人通りが非常に少なく、厳しい状態で、本当に先が見えない。飲食店にはいろいろな救済があるが、物販店には思うような政策がなかなか届いていないような気がしている。この先は本当にどうなるか分からない。何か好転するような良い方法があれば有り難い。物販は特に厳しい。
	×	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルス感染第3波が現実のものとなり、緊急事態宣言が再発出され、行動が自粛されていることから、消費行動も控え気味になっている。さらに、雇用の不安定な人の可処分所得が減ってしまっている。
	×	衣料品専門店（営業担当）	・ワクチン、ワクチンと政府は言っているが、実際に新型コロナウイルスのワクチンを接種できるのか。接種して副作用で亡くなる人が多くなったらどうなるのだろうか。ロックダウンしないからこうなったのではないか。物販、アパレル関係は本当に大変厳しい。
	×	乗用車販売店（店長）	・客の様子から、法人の買い控えや業務縮小などが目に付くようになり、景気悪化が徐々に感じられるようになっているので、先行きに不安を感じている。
	×	乗用車販売店（営業担当）	・景気が良くなるようなきっかけや出来事は特になさそうである（東京都）。
	×	住関連専門店（統括）	・新型コロナウイルスが収束する兆しはなく、今の様な状態がまだまだ続く。経済もそれほど急には伸びないと思うので、この悪さがまだ3か月以上は続く。
	×	その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・新型コロナウイルスがすぐに収束するとは思えず、自粛の傾向が続く。前年はマスク等の感染予防対策需要が拡大したが、今年はそれもないため、とても厳しい1年になる。
	×	高級レストラン（経営者）	・当社は県の東端で、東京と隣接している。私鉄の主要駅が最寄りで、来店客の多くは私鉄沿線の住民である。新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けているエリアであるため、状況が更に悪くなることが予想される。
	×	一般レストラン（経営者）	・恐らくこの先も時短営業が続くそうなので、2～3か月先は最悪の状態になる。かなり売上がなくなっているのが厳しい。
	×	一般レストラン（経営者）	・このまま新型コロナウイルスの感染が続き、また営業時間の制限などをされると、飲食店は小さい店から徐々になくなっていく。
	×	都市型ホテル（経営者）	・緊急事態宣言が2月7日以降も延長される可能性や、新型コロナウイルスの変異種が海外から入ってきているというニュースも流れており、この先、感染拡大が収束に向かうのかが不透明である。また、東京オリンピックも中止という話がにわかに出てきており、そちらの動向も注視しているが、全く良い材料がない。更に悪化するのではないかと、それによる大量倒産、淘汰が起きるのではないかと、業界としては非常に心配している。政府の更なる対策を緊急にお願いしたい。
	×	旅行代理店（従業員）	・緊急事態宣言がいつまで続くか見通せない。来月、再来月で社員の半数が解雇となるため、ますます景気が悪くなる。
	×	旅行代理店（従業員）	・緊急事態宣言が解除されても、Go To Travelキャンペーンについての対応が不明である（東京都）。
	×	タクシー運転手	・駅から降りてくる人はいるが、タクシーに乗る客は少なく、飲み屋街を歩いている人もいない。店からのオーダーもほとんどない、というよりも、そもそも店が開いていない。緊急事態宣言が2月7日で終わっても、当分の間は今の状況が続く。
	×	タクシー（団体役員）	・新型コロナウイルスのワクチンが行き渡り、感染が収束しないと、以前のような人出はなかなか期待できない。収束後もすぐに人出が戻るとは考えられない。
	×	観光名所（職員）	・新型コロナウイルスの影響で、1月は人出がかなり減っている。2～3か月後は一番の閑散期を迎えるため、今月より悪くなる（東京都）。
	×	ゴルフ場（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大、変異種の検出など、影響はまだ続く。また、第3次補正予算にGo To Travelキャンペーン予算が計上され、感染拡大の原因を作ると、自粛を要請し罰を与える人が同じという状況は理解できない。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	ゴルフ場（経理担当）	・景気の浮揚は政府、自治体の新型コロナウイルス感染防止対策の成否に左右される。今般の緊急事態宣言は単なる夜間の飲み会禁止令である。当該宣言以前は、専門家の意見に耳を貸さず、アクセルとブレーキを踏み間違え続けてきた挙げ句、宣言再発出に至ったのであり、国民はもはや政府を信用していない。前回の宣言時と異なり、外出自粛を徹底せず、都心部での人出減少につながっていないことにも表われている。東京オリンピックも今夏開催反対が世論の多数を占める状況で、明るい見通しが立つ要素は皆無である。
	×	競輪場（職員）	・施設移転のため、しばらく営業ができなくなる。オープン時期については検討中である。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、客の来店頻度が鈍っている。また、近所で新型コロナウイルス騒動があり、大分影響があった。
	×	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・2回目の緊急事態宣言発出により閉鎖している校舎もある。売上が大幅に落ちており、今のところ回復の見込みはない。
	×	その他サービス〔立体駐車場〕（経営者）	・これ以上悪くなりようがないほど悪いが、緊急事態宣言が解除されないと、心理的には悪くなる。
	×	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスが沈静化しないことには、経済も人間も回っていかない。これから仕事が増える可能性は、今の段階では低いと予想している。
企業 動向 関連  (南関東)		*	*
		食料品製造業（経営者）	・緊急事態宣言再発出の影響は、今が一番大きく出ている。今後は妥協点を見いだしながら少しずつ動きが出てくると思うので、若干期待をしている（東京都）。
		出版・印刷・同関連産業（所長）	・緊急事態宣言解除後に向けた引き合いが来ており、年度末の繁忙と重なり、動きが出てくると見込んでいる。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・今月は会社設立関係の注文が多かったが、それ以外にも、店頭で個人の実印や銀行印を注文する客が増えてきている。1人で2、3本注文するとか、孫に作りたいたいという客もいる（東京都）。
		化学工業（総務担当）	・東京オリンピック、パラリンピックはどうなるかわからないが、新型コロナウイルスが収束に向かい、開催できれば、個人消費が上向くのではないかと。国の積極的な感染防止策と経済支援策が早期に奏功することを期待している。2～3か月後になって、今が新型コロナウイルス禍による経済低迷の底だったということになってほしい。
		その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・新型コロナウイルスワクチンの投入による市場回復が予想される（東京都）。
		不動産業（従業員）	・新型コロナウイルス禍ではあるが、前回の緊急事態宣言発出時ほどのパニックはなく、落ち着いて活動の回復を待っている状況である（東京都）。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	・業種によると思うが、当社は引き合いも通常どおり増加傾向である。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・3月の年度末までは余り予定がない（東京都）。
		化学工業（従業員）	・取引先の話では、大きく増えることはないとのことだが、海外向けは順調である。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、化粧品容器、特に口紅容器の受注が回復するめどが立たないため、まだしばらくの間は苦戦を強いられそうである。
		金属製品製造業（経営者）	・取引先からも先行き不透明との見方が多く、変わらない。
		金属製品製造業（経営者）	・得意先も少しは動き出してきているようだが、仕事量が少なく、納期は短いので、売上にならない。価格も安いのでなかなか大変である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・この先も新型コロナウイルスは収まりそうもない。景気の良い業界と悪い業界がはっきりしてくるのではないかと。悪い業界の方が多いと思うので、日本全体のGDPは下がる（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		精密機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響と、半導体不足による生産調整が中小にも影を落とし始めそうなので、不安定である。新型コロナウイルスのワクチン供給と効果の確認には、来年一杯掛かる見込みのため、無理な勤務をさせることはできず、経営者は難しいかじ取りをさせられており、不安感しかない。
		輸送業（総務担当）	・荷主の国内出荷量が予想より低迷している。今後も現状が続く予想である。
		通信業（広報担当）	・新型コロナウイルスの収束が見えない限り、変わらない（東京都）。
		金融業（従業員）	・地域の不動産事業者は、これまで新型コロナウイルスの影響を余り感じないという取引先が多かったが、事態が長期化するなかで、弱気な見方が始まっている。かねてからの不動産価格の高騰や大手企業との競争激化に加え、緊急事態宣言の再発出で、経営への影響を懸念しているようである（東京都）。
		広告代理店（従業員）	・今後は、新型コロナウイルスワクチンの接種状況、東京オリンピックの開催有無に左右されそうである。
		税理士	・米中どちらも新型コロナウイルスの影響はあるはずだが、景気は良いようで、日本もその影響を受ける。日本では新型コロナウイルスの影響で、客の店や会社関係がとて悪く、どう持っていくかということで大変な思いをしている中小企業の経営者ばかりである。今後も悪くなるのではないかと（東京都）。
		社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない（東京都）。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・緊急事態宣言が解除にならない予想から、先行きの不透明感も根強く、低迷した状態がしばらく続く。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響もあるのか、既存契約の値上げが難航している（東京都）。
		その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンの状況や、感染収束が不透明であり、卒業アルバム事業や式典などの撮影の仕事も、先行きが見えない（東京都）。
		食料品製造業（経営者）	・当業界はこれからが一番の繁忙期に入るが、今の状況は変わらず、厳しさが続きそうである。
		金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が長引く。
		一般機械器具製造業（経営者）	・取引先が、新規の仕事うまく受注できていない様子である。加えて、取引先との話のなかで、景気は良くないという話が多いことも理由の1つである。
		建設業（営業担当）	・新型コロナウイルスの収束が容易に見込めない状況なので、2～3か月先は現状よりやや悪くなる。
		金融業（支店長）	・現在は飲食業を中心に厳しくなっているが、緊急事態宣言が長引くようであれば、他の業態へも影響が出てきて、一段と悪くなる可能性が高い。
		金融業（総務担当）	・新型コロナウイルスの収束が見えないと、ほとんどの業種に影響があるため、景気は回復しない（東京都）。
		金融業（役員）	・新型コロナウイルス感染第3波収束の見通しが立たないことに対する不安感が大きい。各企業では、取引先の生産計画発表会等が中止になり、取引先の業況判断や企業幹部との情報交換ができず、自社の売上増加に結び付ける情報収集に苦慮しているようである。
		不動産業（経営者）	・何も言うことはない。ただ新型コロナウイルスの収束を願うばかりである（東京都）。
		不動産業（総務担当）	・全ては新型コロナウイルスの終息にかかっている。出勤率を抑えているテナントのほか、業績の悪化により事務所を解約したいと申し出るテナントが出てきそうで、この先の見通しは暗い（東京都）。
		広告代理店（営業担当）	・今冬の新型コロナウイルスの感染状況悪化により、消費動向が鈍くなってきており、春以降にそのダメージが表面化しそうである。各社共に宣伝計画の引締めがあるとみている（東京都）。
		経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの今後の状況が不透明である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		税理士	・新型コロナウイルスのワクチンを接種したとしても、感染拡大が落ち着くまでには相当の時間が掛かる。株価の高止まりは不思議ではあるが、富裕層が支えているということだろう。新型コロナウイルスが収束するまでは景気の回復は望めない。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	・現状の新型コロナウイルスの感染者数を見ていると、緊急事態宣言が解除される見込みは少ないので、もっと仕事が減るのではないかと。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・新規案件が出てこない。
	×	建設業（経営者）	・政府の景気対策及び諸対策はちぐはぐで、遅いのではないかと。
	×	建設業（経営者）	・景気は気分であるので、いい加減、盛り上げなければと感じる。
	×	建設業（経営者）	・出てくる案件が全て競争になり、価格のダンピングになっている。
	×	輸送業（経営者）	・新型コロナウイルスへの有効な対策が打てず、ワクチン接種実施も先行きが見えない緊急事態宣言下、経営基盤が弱い小規模、零細事業者の体力は限界に達しており、廃業、倒産等の増加による景気の下落が危惧される（東京都）。
	×	輸送業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で最悪である（東京都）。
	×	金融業（従業員）	・今のような曖昧な施策下での新型コロナウイルスの感染者数減少では、一般消費者の不安心理を拭き去ることはなかなかできず、ずるずると景気悪化をたどっていくような気がする。緊急事態宣言の延長等をし、経済活動との両立も考えながら、感染拡大の鎮静化に向けた施策を打つことが重要である。
	×	経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの影響はまだまだ続くとみられ、厳しさが更に増していくと想定される（東京都）。
	×	その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・今後の展開で良い話が上がっていない（東京都）。
雇用 関連  (南関東)		人材派遣会社（営業担当）	・思ったほど雇用に対する新型コロナウイルスの影響は少なく、求人数、求職者数共に堅調に推移している（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・派遣求人数の年計において、下落トレンドから上昇トレンドへと変化しており、予断は許さないものの、回復傾向のまま堅調に推移することが予想される（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・緊急事態宣言後、新規感染者数が減少しており、解除後に改めて企業側も求人活動を活発化すると思われる。
		人材派遣会社（営業担当）	・年度末に向けて、求人数に若干微増の兆しが見受けられる。求人数、求職者数が増加し、派遣就業者数も増加する（東京都）。
		求人情報誌制作会社（営業）	・緊急事態宣言、新型コロナウイルスのワクチン次第である。感染状況が改善に向かえば求人数が増えていき、景気も良くなっていく。
		人材派遣会社（社員）	・緊急事態宣言が再発出されたこともあり、企業が採用に今以上に積極的になる可能性は低い。
		人材派遣会社（社員）	・一番ボリュームのある一般事務職の派遣のみで見た場合の受注は、前年比7割程度と低調である（東京都）。
		人材派遣会社（支店長）	・新型コロナウイルスの影響と、3月決算の企業業績次第のところもあるが、人手が足りない背景から、社員として採用はしないが、臨時での派遣ニーズは底堅いとみている（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	・東京オリンピック、新型コロナウイルス禍の出口が見えてくるまでは、上向くとは考えにくい（東京都）。
		求人情報誌制作会社（広報担当）	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスの感染者数が減り、通常の生活ができるようになれば、回復していくのではないかと（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	・大型イベントの開催は難しく、東京オリンピック開催も危ぶまれている現状では、採用も我慢が続く（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	・経営者の関心が人の採用にいいない（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルス禍で不安定要素はあるものの、販売には大きな不安はなく、安定している。季節的な変動は同様にあるが、大きな心配はない（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		学校〔大学〕（就職担当）	・現在のところ変化する要素はないが、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては変動する可能性がある（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響が数か月で解消するとは思えない（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	・2021年3月末で契約満了となる派遣スタッフの数が増加するのではないかと見込んでいる。その反面、新型コロナウイルスのワクチン接種関連の国の動きに伴い、短期派遣スタッフの需要が出てくるとみている。ただし、短期の特需なので、回復に向かってるとは言い難い。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・とにかく新規事業の話や、それに伴う増員、新店舗などの話が一切ない。他業種への転換を考えているところなどもあり、提案もしているが、実際は難しい。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス禍のなか、緊急事態宣言がまだ解除されていないため、今後の見通しが立たない。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症の影響により、求人数が前年同月に比べて減少している。今後、感染が収束方向に向かわない場合、求人数が更に減少すると考えられる。
		職業安定所（職員）	・営業時間短縮により、飲食店を中心とした産業で倒産が増えることが予想される（東京都）。
	×	人材派遣会社（社員）	・4月の年度替わりを迎え、請負業務受託の仕様変更による減額又は契約終了が増えており、厳しい状況が見えてきている。働く場が減少する一方、スタッフの雇用については契約満了までは賃金を支払う方向であり、収支面では厳しい局面を迎えることが予想される。雇用調整助成金の動向によっては、大きなダメージを受ける可能性がある（東京都）。
	×	求人情報誌製作会社（所長）	・見通しが立たない。
	×	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス収束の見通しが立たず、感染拡大の懸念が払拭できない状況下では、雇用情勢を見通すことは難しい。

#### 5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (甲信越)		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・高齢者の需要はまだ多くあるが、若い人たちの自殺による依頼も混ざっており、悲しいことである。こちらは例外であってほしい。
		商店街（代表者）	・2月からは新入生の入学準備用品の販売が始まる。そうすれば荷物もかなり動くようになると思うので、期待している。
		百貨店（店長）	・飽くまでも新型コロナウイルス次第ではあるものの、ワクチン接種や天候の影響で、多少経済が回ってくれば上向くのではないかと。ただ、3か月先を予想するのは本当に難しい。
		スーパー（副店長）	・近い将来、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、効果が出れば、必ず景気は上向く。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況は厳しいが、感染がやや落ち着いて、上向いてくれば良いと思っている。なかなか厳しい状態が続いているが、明るい方向に向かっていくような気がする。
		乗用車販売店（経営者）	・今年の天候条件等から、新車販売は3月に偏重となりそうである。新型コロナウイルスの感染状況に改善があれば、4月以降も販売数の回復が見込める。
		自動車備品販売店（従業員）	・新型コロナウイルスが落ち着いてくるにつれて、再び外出機会も増えると思われるため、やや良くなる。
		その他専門店〔酒〕（店長）	・先のことは全く分からないが、今の状態が3か月続いたら大変なことになる。何かしら、新型コロナウイルスの感染が抑えられて、少し人の動きが出てくれば、今よりひどくなることはないのではないかと考えている。今より悪くなる可能性があるとしたら、非常に心配である。
		高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着き、ワクチン接種がスムーズに進めば、景気回復に向かうのではないかと。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スナック（経営者）	・現状より悪くなったら店が潰れるし、現状維持でも半年しか持たないので、良くなってもらわないと困る。新型コロナウイルスのワクチン接種と並行して、経済対策も最優先でしてくれないと、飲食店は生きていけない。頼むから営業補償をしてくれないか。
		観光型旅館（経営者）	・3月には緊急事態宣言も終了していると予想される。現状は0%の状況なので、さすがにこれよりは良くなる。人の動きは出てくると考えるが、緊急事態宣言明けとなるので、活発な動きは考えられない。例年の30%程度にとどまると思われる。
		都市型ホテル（支配人）	・海外では新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、国内でもワクチン接種の動きが出てきている。依然としてインバウンドには期待できないが、緊急事態宣言の解除とGo To Travelの再開となれば、宿泊にも明るい兆しが見えてくるのではないかと。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスのワクチンが出回って、世間が回復してくるのを希望している。
		観光名所（職員）	・現在、スキー場は閑散としており、周辺宿泊施設はほとんどが休業している状態である。観光事業で成り立っている当地区は、既に限界に近い。観光シーズンの到来と新型コロナウイルス感染の多少の落ち着き、Go Toキャンペーンの再開等の可能性を切望している。
		遊園地（職員）	・引き続き、新型コロナウイルスの影響が懸念されるが、感染予防対策の徹底と、ホームページ、メルマガ、SNS等で積極的に情報発信と話題作りを行うことで、集客につなげたい。
		ゴルフ場（経営者）	・2～3か月後は、新型コロナウイルス対応型ビジネスへの転換とその支援策が進んでいると信じている。
		商店街（代表者）	・とにかく、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まらなければ、先が見通せない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルス禍で生活様式も変わり、そうした生活にも徐々に慣れつつあるなか、消費者の動向は読みにくい。良くなっていく要素が見当たらない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルス禍で世間全体が沈んでいるような気がする。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染がもう少し収束してこない、外出も減るし、外食産業はもちろんだが、一般小売業も大変厳しい。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス次第で、状況が刻々と変化するため、先が見えない。
		スーパー（経営者）	・到底、良くなるようには感じられないが、ワクチン接種の効果で新型コロナウイルス感染拡大がなくなれば、景気は良くなる。
		コンビニ（店長）	・今月は年末年始をまたいだが、新型コロナウイルスにかなり慣れて癖がついたような状況で、巣籠り傾向が大分強くなってきている。ぱっと買って帰って、ずっと家にいるという形で、外に出てこない状況が定着しているような気がする。この先も今と変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	・先の予測ができない。
		家電量販店（店長）	・景気の低迷が解消していない。政府の地方への対策が必要だと思われる。
		一般レストラン（経営者）	・ワクチン接種が始まって、急な動きは出ないとみている。
		スナック（経営者）	・地方でもじわじわと新型コロナウイルス感染者が増えてきている。当店の近くで感染者が出た途端、一気に人の流れが減って、更に暇になってしまっている。正直なところ、いつまでこんな状態が続くのかという気持ちである。根本的に新型コロナウイルスが解決しない限り、しばらくこの景気が続きそうである。
		都市型ホテル（スタッフ）	・緊急事態宣言が解除されても、すぐに良い方向には向かわないのではないかと。現段階で予約は全く動いておらず、進捗状況は非常に悪いので、この悪い状況が続くとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		都市型ホテル（スタッフ）	・緊急事態宣言が解除されない限りは、企業は全く動かない。2月は新年会、3月は歓送迎会等があるものの、法人需要のマインドが全く上がらない。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルス感染の収束がみえないなかで、先が全く見通せない。厳しい状況がしばらく続く。
		通信会社（社員）	・飲食や観光業界を中心に復調の兆しがなく、全体的に無駄な支出を抑える傾向は変わらない。様々な業種に影響は出ており、より安価なサービスへ人が流れる懸念がある。
		設計事務所（経営者）	・抱えている仕事も継続しながら、数か月先の仕事の予定も入っている。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスに伴う企業業績の悪化や個人の収入減少が、より明確になる。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスが落ち着いても、すぐに元どおりになるわけではない。
		スーパー（経営者）	・失業率の上昇や家計所得の減少から消費は鈍化し、競争激化が心配される。
		コンビニ（経営者）	・まだ、新型コロナウイルスの影響があるため、やや悪くなる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス禍のため、やや悪くなる。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスが死滅しない限り、同じ事を繰り返すだけだと思う。皆がその繰り返しにどこまでついていけるだろうか。
		旅行代理店（副支店長）	・国の施策や新型コロナウイルスの感染状況に大きく影響される。国の支援が開始され、感染拡大の終息の見通しが付かない限り、同じことの繰り返しだと考えると、景気の良さの判断はできない。ただし、現在の低迷状態を見る限り、景気上昇はない。
		ゴルフ場（経営者）	・緊急事態宣言後、県外からの来場者は激減している。しかし、県内の高齢者は元気に来場しているため、予約数は変化していない。
		×	コンビニ（エリア担当）
	×	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	・緊急事態宣言の再発令で、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くことを期待する。ワクチン接種も始まってくるだろうが、優先順位の低い我々一般の接種はまだ先なので、厳しい状態はしばらく続く。
企業 動向 関連 (甲信越)		金属製品製造業（総務担当）	・業界は好調で、良くなる。
		食料品製造業（営業統括）	・2～3か月先には新型コロナウイルスのワクチン接種も始まり、感染状況もかなり改善されるのではないかと。人の動きやワインの消費も改善してくると思われる。
		食料品製造業（総務担当）	・3か月先の新型コロナウイルス禍の収束状況は不明だが、当社は繁忙期であり、新製品投入によるてこ入れで相殺して維持を図りたいと考えている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・受注予想が立たない。ワークショップ展開もしているものの、新型コロナウイルスの収束がみえなければ、入っている予約すらあてにならない。過去最低の事業内容である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・数か月前と比べて受注は増えているものの、例年に比べると、まだ少ない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・新規受注が減少している。
		建設業（経営者）	・以前の受注残もあり、小口工事だが新規受注も少しずつ出てきている。ただし、本格的な景気回復はまだ先だと思われる。
		金融業（調査担当）	・当社の調査では、企業の景況感の見通しは製造業では改善するものの、非製造業では再び悪化が広がる見通しとなり、二極化が鮮明になる。
		金融業（経営企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種状況等により、好転することも考えられるが、現状では先の見通しは暗いと言わざるを得ない。
		新聞販売店 [広告]（総務担当）	・春になり人が外出する時期ではあるが、新型コロナウイルス感染拡大やワクチンの効果等、まだ不明な要素が多い。現状のまま経済活動や人の流れが抑えられてしまうと予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般機械器具製造業（経営者）	・取引先の調達状況次第で、受注減少のリスクがある。
	×	食料品製造業（製造担当）	・緊急事態宣言が延長されれば、一層大変さが増し、会社の存続が厳しくなる。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月資金繰りが大変である。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・年度末を迎えるが、年度末の入札案件等が本当に少なくなってきたまま。先行きが不安である。
	×	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・前年の緊急事態宣言解除後は反動買いもあった。今は2月の緊急事態宣言解除が予定どおり行われるかどうかや、Go To Travelキャンペーンの再開がいつになるか等、未知数の課題が多く、客に積極的にアプローチできる状況にない。展示会も直前に中止になる場合もあるので、十分な準備もできない。
雇用関連		-	-
(甲信越)		求人情報誌製作会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が減少しないなか、先行きは不透明である。
		職業安定所（職員）	・行動制限が厳しくなかったことで、結果として経済のダメージは少なくなっている。
		職業安定所（職員）	・製造業等では増員求人が目立つことから、改善している印象がある。一方、飲食、宿泊を中心に先行きが見通せない業種もあり、全体としては変わらない。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスが長引くと思われるため、変わらない。
		民間職業紹介機関（経営者）	・求人は増えつつあるが、正社員求人が停滞している。パート、アルバイト等で乗り切ろうという企業の姿勢が目立ち始めている。
		人材派遣会社（営業担当）	・駅前でも空きビルが増えている。新型コロナウイルスの影響も含め、まだまだ悪くなる。
	×	*	*

## 6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連		百貨店（計画担当）	・緊急事態宣言発出後の推移から、新型コロナウイルス感染者数は現状がピークであり、今後は回復していくと考えられる。
(東海)		コンビニ（商品企画担当）	・医療従事者を優先とした新型コロナウイルスのワクチン接種開始や、気温上昇によるウイルス弱体化などにより、再び人の往来が活発化されると予想する。
		その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・年度末に向けて工事依頼が数件確定している。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種に、皆が期待している。
		商店街（代表者）	・緊急事態宣言の期日が過ぎ、新型コロナウイルスのワクチン接種の動きもあるので、少しずつではあるが上昇する。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルスの第3波が収束すれば、少し戻るのではないかと。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	・引き続き新型コロナウイルス禍であると思われるが、ワクチン接種が始まり、例年どおりの新年度向けの受注が見込まれる。
		コンビニ（企画担当）	・来月以降に緊急事態宣言が解除されれば、また徐々に回復していくことが予想される。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスのワクチンへの期待感がある。
		乗用車販売店（経営者）	・緊急事態宣言下にあいながらも前年と同じ水準の売上を見込んでいる。緊急事態宣言の解除や新型コロナウイルスのワクチン接種が始まれば、景気改善が期待できる。
		一般レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの影響は、今月が底だと思っている。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まれば、効果うんぬんより安心感によって全体的に上向くはずである。
		通信会社（営業担当）	・携帯電話業界は年度末が勝負である。期待を込めて良くなるように見込む。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（営業担当）	・機器等資材不足が解消される。
		ゴルフ場（支配人）	・2～3か月先も入場者予約数は前年同日比では良くない。まだまだコンペの予約は少ないものの、2～3か月先は春先でもあり、段々と入場者の予約は増加すると見込んでいる。
		商店街（代表者）	・飲食店の時短営業等の影響もあり、来客数が戻ってこない。今も底にあると思っているため、景気としては変わらない。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス禍の終息が見えない限り、下値安定傾向が続くと思う。
		商店街（代表者）	・巣籠り需要等で特定の業界は好調なようで、業種によって格差がかなりあるように思う。全体の閉塞感が強く、皆が安心して金を使うようになるのはまだ先のように感じる。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・我が国全体で落ち込む様相である。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・厳しい今月から3か月後もこのままの状態が続くと思う。特に贈答品、付き合いの関係では、結婚式も相変わらず少ないメンバーで式を挙げ、葬式も親族だけ、兄弟だけの小さい葬式になってきている。全ての付き合いを最小限にする傾向が感じ取れるため、3か月先も変わらず厳しい状態が続き、売上も下がったままになると予想する。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・営業時間短縮や休業していた店がそのまま閉店になってしまふという連絡が既に複数入っているため、景気は変わらない。
		一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
		一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染状況の先が読めないの、少なくとも春先までは今と変わらない状況が続くように思う。
		百貨店（売場主任）	・緊急事態宣言が出された後でも、旅行は控えて近場という人が多いのか、来客数は少し減ってはいるがまだある。ただし、買物ではなく眺めているだけの客が多い。今のところ入学式や新入社用に家族で靴を購入する客が少しいるが、それが落ち着くと今よりも売上は厳しくなるかもしれない。
		百貨店（企画担当）	・今回が2回目の緊急事態宣言となるが、その都度売上、来客数は大幅に下がる傾向が顕著である。これまでは宣言解除後、徐々に回復するものの新型コロナウイルスの感染者数が増加し始め、次の緊急事態宣言が発出される動きが1年間続いてきた。3か月後は新型コロナウイルスのワクチン接種がスタートしているタイミングなので、これまでの動きと異なるかもしれないが、これまで約3か月単位で緊急事態宣言が発出されているため、まだ景気回復には至っていないと思われる。
		百貨店（経理担当）	・依然、新型コロナウイルスの影響下にあり、先行き不透明である。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス禍での自粛生活が続く限り、状況は変わらない。
		百貨店（販売担当）	・緊急事態宣言も延長される可能性があり、良くなるとはまだ考えられない。
		百貨店（業績管理担当）	・新型コロナウイルス感染者数が落ち着けば、また売上は少しずつ戻ってくると思われるが、必ずしも実店舗での買物が不要ないと感じる客も増えてきており、そこまで大きく改善が見込めない。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス感染が収束しない限り、回復の見込みはない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの特効薬が一般の人まで受けられるようになり以前のような通常の生活に戻らない限り、また、新型コロナウイルスの感染が収まらない限り、現状と変わらないと思われる。
		スーパー（商品開発担当）	・新型コロナウイルスの感染状況により変化する。1月は年始の効果により来客数はやや増えたが、ずっと来客数は前年同期を割っている。この流れをみると、現行と景気はほぼ変わらないと感じる。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、今の内食傾向が外食に移行すると思うが、2～3か月先ではまだ内食傾向が続くと思う。この先、ひな祭り、新入学や子供の日イベントは続く。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（総務）	・何といても新型コロナウイルスの影響であり、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まらない限り、家庭内需要は続くと思われる。
		スーパー（ブロック長）	・新型コロナウイルスの先行きが読めず、感染者数が落ち着いたとしても、外食関連の落ち込みや観光業界などへの影響がまだまだ大きいと思われる。
		スーパー（販売担当）	・いろいろ不透明ではあるが、堅調に推移している食品や日用品は順調に感じる。気候の状況にもよるのではないかとと思われる。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス禍のため、新型コロナウイルスのワクチンなどの治療薬などが充実されるかどうかで大きく異なるが、今後2～3か月内での解決は望めない。エリア商品の充実と自宅需要の冷凍食品、総菜の品ぞろえを強化することが必要と考える。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス感染者数が減少せず、春以降も大幅な上昇はみられないと考えられる。本来ならこの季節は暖かくなり客足も活発化していく季節だが、今年に限ってはこのような状況にはならないように感じる。
		コンビニ（本部管理担当）	・緊急事態宣言の延長が示唆されているなか、直近の数か月で世間の情勢が変化するとは思えない。
		コンビニ（店員）	・暖かくなり、新年度が始まるから来店を期待したい。
		コンビニ（商品開発担当）	・緊急事態宣言により、巣籠りに関連した酒、菓子、デザートの販売が高まっている。来客数減少を単価で補うが、やはり厳しさを感じる。当面この流れは変わらないと予想する。
		家電量販店（店員）	・部品が少ないようで商品が潤沢にない。売上の伸びには上限がある。
		家電量販店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大に対する対策が、今後もしばらく継続されると思う。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者数が確実に減り落ち着けば、消費も回復してくると思うが、3～4月にはまだ難しいのではないかと。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンの話も多く出るようになり、そこまで後ろ向きな雰囲気は感じられない。
		乗用車販売店（従業員）	・全体的に自動車業界は景気が良くないのかもしれないが、特殊な車種の取扱もあるお陰で、それほど悪い影響は受けていない。今月は少し良くなかったが、客は買うべき物は買うし、行くべきところへは行くので、景気は変わらない。
		乗用車販売店（営業担当）	・世界的な半導体不足により、業界では減産の発表が相次いでいる。供給が間に合うまで半年近く掛かるのではという予想もあり、極端な落ち込みはなくとも緩やかな減少傾向が続くとみられる。
		その他専門店〔貴金属〕（経営者）	・緊急事態宣言が解除され、ワクチンの信頼性と安心が広く行き渡らなければ、回復は望めない。
		その他専門店〔雑貨〕（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種までは消費者の外出控えにより、現状の売上を維持していくと思われる。
		その他専門店〔書籍〕（店員）	・しばらくはまだまだ巣籠り需要もあると思うため、書店は前年よりも1～2割ほど売上アップで推移していくのではないかとと思われる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上高は前年比マイナス4.4%、来客数はマイナス11.1%である。新型コロナウイルスの影響で、売上高の減少以上に来客数の減少が大きい。不要不急の外出を控えていることが推測される。
		高級レストラン（経営企画）	・新型コロナウイルスの影響が全く読めない。ワクチンによる回復は期待するものの、相当程度の回復はまだ先ではないかと。
		観光型ホテル（経営者）	・客がキャンセルで消失している状態のため、これ以上悪くなることはないが、緊急事態宣言の解除、Go To Travelキャンペーン等が実施されなければ、このまま低空飛行で終わってしまう懸念がある。政府には適切な新型コロナウイルス対策と共に宿泊観光業界に対しての支援策を配慮してほしい。政府の対策なくして景気上昇はない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルスの第1波よりも営業を縮小しているのが現状で、全館休業もやむを得ない事態が近づいている。前年3月には既に新型コロナウイルス禍の影響を受けていたため、前年比ではなく前々年比で見えていくことになる。Go Toキャンペーンの再開、延長や各助成金等の補償の問題について早急に対処することを、国と自治体に望む。
		都市型ホテル（従業員）	・予約数から、景気は変わらないと見込む。
		都市型ホテル（総支配人）	・新型コロナウイルス感染症の今後が不透明で、予想が付かない。宴会は、3月分までキャンセルである。4月以降も毎年行われる集会も模様眺めとなっている。宿泊は直近にしか予約が入らず、行楽時期の春からゴールデンウィークの予約も全く入っていない。
		旅行代理店（経営者）	・まずは新型コロナウイルスの感染者数が減ることであり、減らないと何も変わらない。海外からの入国者の制限、オセアニアでは封じ込めで感染者数がほとんど出ていない。国内でも手軽なPCR検査キットが出回りつつあるので、Go To Travelキャンペーンに行く人や出張で県をまたぐ場合は、簡易PCRキットの検査結果でもいいので必ず携帯して旅行に出るのは良い。Go Toキャンペーンで割引してもらおうのでそれくらいの自己管理は必要だと思う。旅行に行きたいという声が上がっている。それまで何とか追加の家賃支援や協力金を、小さい規模の旅行会社にも実施してほしいと思う。
		旅行代理店（営業担当）	・旅行業を含む観光業界に新型コロナウイルスのワクチン効果が現れるのは、早くて半年後である。Go To Travelキャンペーン一時停止の解除が延長されたら、更に先延ばしとなるので、正直、打つ手がない状況である。オンライン・SNSツールでの情報発信拡大を進めているが、カンフル剤となるGo Toキャンペーンの再開がないと、とても無理である。
		タクシー運転手	・長い間入出が少なく景気が悪い状況が続いており、半年や1年前と比べてみても良くなってはならず、入出が少ない状況がまだまだ続くと思う。
		通信会社（サービス担当）	・今後も節約等で、安い回線への乗換えや不要な回線の解約が増えていくと思われる。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の開始は、いろいろ検討すべき面もあるため遅れそうに感じる。
		レジャーランド（職員）	・緊急事態宣言の解除のタイミングによって来場者数の増減は変化すると思われる。新型コロナウイルス禍が始まり1年が経過しており、比較対象となる前年の実績は悪いが、それと比較しても変わらず悪い。
		その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が不透明である。米中関係を始めた海外の情勢も不透明である。
		美顔美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収まるまでは、この状態が続くと思う。
		設計事務所（職員）	・新型コロナウイルス禍ということで、景気についても上向きとは感じられない。
		住宅販売会社（従業員）	・大きく変化する内容は見受けられない。当分横ばい状態が続くと思われる。
		その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・緊急事態宣言の最中で先行きが見えないが、期待も込めて変わらないと見込む。
		商店街（代表者）	・いろいろな業種でかなりのダメージを受けて、借入金がかなり増えていると聞いている。回復したとしても相当な負担が企業や個人にのしかかってくるので、そう簡単には戻っていかないと考える。いずれにせよ、緊急事態宣言が解除されないことには何ともならない。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が続く限りこの状態から抜け出せない。じわじわと悪くなると思う。
		百貨店（総務担当）	・春物が立ち上がる時期となるが、移動制限や外出自粛などもあり、引き続き売上面では厳しい状況である。また、接触を減らすため当社でもテレワークを実施しているが、駅に立地するためオフィスワーカーが減少すると総菜や弁当の売上が一層厳しくなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（販売促進担当）	・この自粛ムードがますます加速すると予測している。
		百貨店（販売担当）	・外出需要商品は再び売れなくなった。雨が少ないことも要因である。
		スーパー（店員）	・2月7日以降の緊急事態宣言の継続いかんでは、大きくマイナスに動くと思われる。年末の大雪の影響で、なすやほうれんそうなど一部の野菜で価格が高騰しており、それも影響してくる。
		スーパー（営業企画）	・緊急事態宣言の効果で新型コロナウイルスの感染者数が落ち着き始めれば、内食需要は今よりも低下することが予想される。
		衣料品専門店（経営者）	・外出を控える傾向がしばらく続くと思われる。
		衣料品専門店（売場担当）	・景気回復を期待したい気持ちはあるが、新型コロナウイルスの影響で業績が悪化する企業は増えてくると思われる。そうすると、従業員の賃金等も抑えられ、個人消費が伸びなくなり、景気が下降するという悪循環が発生するのではないかと考える。
		家電量販店（フランチャイズ経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が減ったとしても、すぐに医療崩壊が回避されるわけでもなく、ワクチン接種が行き渡る前にまたGo Toキャンペーンが始まった日には、今度こそ経済が崩壊するのではないかと。
		乗用車販売店（経営者）	・年度末の決算時期ではあるが、今は人の動きがそこまで大きくなるのが期待できない。
		乗用車販売店（従業員）	・前月の雰囲気から良くなるかと期待していたが、緊急事態宣言が出て来客数が落ち込み始めたことも心配な上に、半導体の供給遅れで新車の納期も延びており、すぐに売上に結び付かないため、先行きが見通せず困惑している。
		乗用車販売店（従業員）	・大手自動車メーカーの販売店は、前年の5月から全車種取扱になっており、前年はかなり好調な販売台数だったが、12月頃から販売台数が鈍化している。大体の客に行き届いた感があり、あとは値引き合戦になり1台当たり利益が大幅に下がっている。
		乗用車販売店（従業員）	・3月の年度末決算期を目前に控え、市場が盛り上がりを見せる時期ではあるが、客からは今後の収入の減少を心配する声が多く聞かれ、なかなか決断できないケースが多く感じられる。自分の望む車種・仕様で購入を決める客がほとんどのため納車までに時間が掛かるが、市場の山場は早い。新型コロナウイルスの感染対策をしっかりと実施し、1人でも多くの客と接客できるようにしたい。
		乗用車販売店（販売担当）	・再び緊急事態宣言が出たため、客からも不安がっている様子がうかがえる。今後は厳しくなると考えている。
		住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、商業施設を中心に工事の中止及び延期の物件が出てきている。また、時間が長引いており、先行きについても新しく投資をしようという客が減っている。
		一般レストラン（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり落ち着くまで、飲食店は難しい。
		その他飲食[ワイン輸入]（経営企画担当）	・取引先の中には閉店する客も散見されるようになった。政府からの支援金で経営に問題が生じていない客は多いが、春～夏に掛けて消費が戻らなければ、閉店・倒産する客が増えそうである。
		都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスへの対策が不足している。
		旅行代理店（経営者）	・Go Toキャンペーン事業停止によって全く受注がない状態で、この先の動向が見えないために期待ができない。
		旅行代理店（営業担当）	・これまでの後手の政策をみても、早期の経済回復は到底期待できない。
		通信会社（営業担当）	・今後は個人事業主からの解約は増えてくるように思う。
		テーマパーク職員（総務担当）	・国内でも新型コロナウイルスの変異種ウイルスが見つかっていて、新型コロナウイルスの感染者数がどうなるのかわからない状況である。ワクチンもどれほどの効果があるのかわからない。
		その他レジャー施設[鉄道会社]（職員）	・各自の新型コロナウイルスの感染症予防対策として、今後も公共交通機関の利用を控える傾向が継続すると思われる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		理美容室（経営者）	・まだまだ人の動きが改善しないため、景気は段々と悪くなると思う。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収まらない限り、どんな業種であれ、景気が良くなることはないと思う。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・福祉用具貸与の上限価格制度により、4月より値下げ改定となる。介護保険全体ではプラス改定となるが、福祉用具だけ3年に一度必ず貸与価格の値下げ見直しが発生する仕組みは制度上問題である。
		住宅販売会社（従業員）	・緊急事態宣言延長の可能性が大である。
	×	商店街（代表者）	・政策に希望がない。90%緊張したら10%の緩和が必要である。
	×	一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・緊急事態宣言が出ている状況では、先行きは非常に暗いと考ええる。
	×	百貨店（経理担当）	・緊急事態宣言の延長や新型コロナウイルスのワクチン接種の遅れによって経済活動の停滞が長期化し、その結果、企業の倒産や失業者が急増する事態に陥ると考えられる。
	×	スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの影響で、スーパーの来客数はとても減っているように見受けられる。
	×	スーパー（支店長）	・とにかく新型コロナウイルスで先はみえない。ただ耐えるだけでは時間の問題である。不安しかない。
	×	コンビニ（店長）	・緊急事態宣言の影響で、来客数、販売量共に落ちている。解除のめどが立ってもしばらくは景気が戻りそうにない。景気の下落がこれほど身に染みることは過去になかった。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染が収束しても、すぐには来客数が戻るとは思えず、ここ半年～1年先は景気が良くないと思う。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの変異種の報道やワクチン接種の遅れ、また、受験シーズンも控えており、まだまだ自粛生活が当面は続くと思う。
	×	乗用車販売店（経営者）	・例年同様だが3月が決算月で、3か月先の4月の販売量はいつもながら減少する。
	×	乗用車販売店（従業員）	・今回の新型コロナウイルスの第3波は明らかに国民の不安を大きくあおっていて、すぐには収まらないと思われるので、景気はかなり悪くなると予測される。
	×	その他専門店〔雑貨〕（店員）	・緊急事態宣言の下、このまま事態が収束しなければ毎年のようなフレッシュャーズ・新入学の数字は見込めないと思われる、かなり厳しい状況となる。
	×	一般レストラン（従業員）	・今後新型コロナウイルスのワクチン接種によって良い方向に向かえば良いが、それまで店が持つかどうか分からない。政府からの協力金や持続化給付金の追加を要望する。
	×	都市型ホテル（営業担当）	・悪いまま現状維持が続くと思われる。
	×	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種も他国と比較して遅れており、国内外の人の移動に関連したビジネスへの影響が今後も大きい。既にオフィス面積の減少なども始まっており、今後もオフィス街でテレワークの影響が出てくるので、当面は回復工事など撤退関連の工事が一時的に増えるが、一巡すればその後の需要はすぐに戻らない。
	×	旅行代理店（経営者）	・Go To Travelキャンペーン一時停止の解除時期や今後の政策が全く読めず、どのようになるか分からない。
	×	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息の見通しが立たず、この先も景気が悪くなると思う。旅行関連業界は大変である。
	×	タクシー運転手	・緊急事態宣言は、まだ2月7日以降どうなるか分からず、延長になるような気がする。新型コロナウイルスのワクチン接種が4月頃から始まりそうであり、そのワクチンの効果次第で段々と良くなるのではないかとと思うが、まだまだ先の見通しは暗い。
	×	タクシー運転手	・緊急事態宣言の影響である。
	×	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルス感染の状況は、先を見通せない悪化局面が続くと思われる。また、自粛生活の影響を受けていても支援を受けられない飲食店からの厳しい声を聞くようになり、これらの閉店が始まることで、更に悪循環が生まれてくるように思われる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスのワクチンが普及しないと、安心して活動できない。
	×	観光名所（案内係）	・新型コロナウイルスによる自粛要請が延びそうである。その後もどうなるかによって大分変わるであろうが、しばらくは自粛の影響が続く。
	×	パチンコ店（経営者）	・来客数の動きによる。
	×	美容室（経営者）	・イベントや見通しの明るいニュースがなく、当分外出を控える客が多くなるため、まだ景気は悪くなると思う。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響である。
	×	理容室（経営者）	・先の状況は今と同じで悪い。
	×	設計事務所（経営者）	・先の成果を得ようとすれば現在は種まきをしなければいけないが、その種まきもできない状態である。良くなる材料は一切ない。
	×	住宅販売会社（経営者）	・今回の緊急事態宣言による経済への打撃が、2～3か月後に影響が出てくるのではないかと心配である。
	×	住宅販売会社（従業員）	・新築が少なくなりリフォームも減少すると、不安でしかない。
企業 動向 関連  (東海)		-	-
		食料品製造業（経営企画担当）	・新しい年度を迎え、消費マインドも上向くことに期待したい。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・新規の見積依頼が多く成約率も高いので、しばらく景気は良くなる傾向である。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・少しずつではあるが、止まっていた北米自動車向け設備投資計画も動き始めた。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が今よりは良くなっていく。いろいろな意味での設備投資が増えてくるのではないかとということ、年度末のため多少は期待できる。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況によるが、人の動きに景気は左右されるので、収束度合いによって不透明感はある。暖かくなり、新型コロナウイルスのワクチンが効果を出して感染状況が収まる方向に向かえば期待できる。
		建設業（役員）	・大手自動車メーカーの業績が上方修正されたり、特別に落ち込みがないので、関連企業の多い当市では客の動きも年度末に向けて活発化すると考えられる。
		輸送業（エリア担当）	・主要都府県への緊急事態宣言による消費の低迷を受けて、荷物の量、毎日の物量は少しダウンしているが、これを考慮しなかった場合、12～1月に掛けて物量は上向いている傾向がある。新型コロナウイルス禍の緊急事態宣言は現実問題としてあるが、それを引くと伸び率は上向きになっていると思う。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・前回のときのように、緊急事態宣言が明ければチラシなどの受注が戻ってくると思われる。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・大変な世の中であるが暗い時期は明けると思うので、そのときのためにも体調面に留意し、仕事をやりすぎないように心掛けている。適度の休養を取り、新しいことにも目を向けようと思っている。3か月ほどは目一杯の仕事量である。ただ、新型コロナウイルスは本当に不明で展開も分からない。
		化学工業（営業担当）	・3か月では特に大きな需要増減の見込みはない。
		化学工業（総務秘書）	・新型コロナウイルスの感染者動向次第ではあるが、既に疲弊した会社・商店の廃業や倒産が顕在化すると悪くなる方向に進む。人々の考え方や生活の仕方が変化していくため、その変化を企業がつかみ始めると、景気は上向き傾向に変わると思う。
		一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量から見込む。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルス禍の影響が結果として全体にどのような影響を及ぼすかが見えないので、漠然とした不安感がある。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束して航空業界の景気が上向かないことには、もうしばらくはどうしようもない。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・中国向けや国内向けの車の市況は、3か月先も恐らく変わらないと思うが、半導体の不足が自動車生産に影響を及ぼしていることが気に掛かる。
		輸送用機械器具製造業（管理担当）	・緊急事態宣言の解除次第と思われる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（営業担当）	・衣食住や衛生面に関係してくる仕事のため、新型コロナウイルスの感染がひどくなって人と人との接触を今の緊急事態宣言下よりも更に強く制限されない限り、仕事の量自体は変わらないと思われる。ただし、預かり物件の維持管理等の作業は、出入りや外出が禁じられると仕事自体ができなくなる。当社の景気はそれほど変わらないであろうが、小規模な工事や外注等の仕事は、制限されて全くなくなる状況も考えられるため、難しいと思う。
		輸送業（経営者）	・半導体不足による自動車の減産など新しい不安はあるものの、全般としては大きな状況変化はないと思われる。
		輸送業（従業員）	・分からないという方が近いが、いずれにしても新型コロナウイルス騒動が落ち着くかどうかである。3月の繁忙期がどうなるか今のところ全く読めないが、準備だけはしておくつもりである。
		輸送業（従業員）	・巣籠り需要で個人物流は伸びて一部の運送業者に集中しているものの、企業間物流が鈍化しているということで、全体的な消費増加には結び付いていない。
		輸送業（エリア担当）	・緊急事態宣言が発出され通販が増えている。期限が延長されそうな動きであるため、まだこの増量は続くと思う。
		通信業（法人営業担当）	・自分の関係する光回線の受注も減少傾向が続いている。まだまだ元に戻るには長時間掛かるように感じる。新型コロナウイルスのワクチン接種にしても、半年や1年といった短期間でなく数年先の効果であろうか、マラソンに例えてまだ10キロ程度という学者もいる。慣れは怖いもので、このようなものかといった慣れや諦めがあるのかもしれない。
		金融業（企画担当）	・新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言は2月7日で終了する見通しも立たず、当面、国民の自粛は続くと思われる。景気が回復する見通しは立たない。
		不動産業（経営者）	・2月の天候は例年同様に晴れの日が多い予報ではあるが、今後も新型コロナウイルスの影響を強く受けて出費を控えることから、売上の厳しい状況は継続すると思われる。
		不動産業（経営者）	・今の状況は様子見の気配で変わらず、現状維持である。
		広告代理店（制作担当）	・収束しない新型コロナウイルス禍で地域内に変異種の感染者が確認されたこともあり、取引先としては、主にレジャーに関係する広告の発注を今以上に抑えると思われる。
		行政書士	・新型コロナウイルス関係で、不安定である。
		会計事務所（職員）	・緊急事態宣言で営業時間を8時までとされた飲食店では、宣言が延長されるようなので、客の回復は期待できない。競技会も再開の見通しが不透明である。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・新型コロナウイルスの影響で、案件になるまでの関係者の作業が進捗していない。中止そのものではないため、緩やかではあるが案件は継続している。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・緊急事態宣言の影響が非常に大きく、全ての産業に影響を及ぼすほどである。2～3か月先の景気はやや悪くなると思われる。
		金属製品製造業（従業員）	・春以降は毎年仕事が落ち着くが、今年は例年以上に案件の動きが見えていないので、不安感が強い。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・予算縮小に伴い、今後生産量にも影響が出ると思われる。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・新型コロナウイルスの出口はまだ見えず、引き続きサービス業やその周辺業界で停滞が続く。体力のない企業の倒産が増えると思うが、新型コロナウイルス収束以降には、新しいビジネスが広がることが期待できる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・まだまだ続く新型コロナウイルス禍で、収入が減少し消費が伸び悩み、販売量も減少すると思われる。また、鉄鋼メーカーの値上げのアナウンスが届いており、今後価格が上昇することが見込まれるため、販売単価にも転嫁せざるを得ない環境になってきている。
		建設業（経営者）	・とにかく政治家の資質による。人柄が良くても指導力や判断力の面で日本のリーダー達には安心できず、将来が不安である。
		通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン効果が見込めれば、期待を込めて明るい材料になり人々の気持ちも上向く。ただし、一般接種は5月ということで長期的な展望であり、直近としては景気は落ち込んでいくばかりと推測する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（従業員）	・足元の景気低迷や経営者の不安という部分、新型コロナウイルスの影響による時間短縮等の規制があることにより、景気の回復は非常に難しいという声をよく聞く。
		公認会計士	・給付金等の一時しのぎでは耐えられなくなった中堅中小企業の破綻や廃業が増加する。テレワーク等で人材・経済交流がなくなった影響が、多くの産業に現れてくる。低生産性や後継者不在等の根本的な問題の解決には時間が掛かる。
		会計事務所（職員）	・緊急事態宣言が発出されたことで、来客数の減少による既存の取引先の売上減少が予想される。取引先を増やすにも営業がしにくい状況で難しい。何か新しく利益を確保する手段を見付けなければ、悪化していくと思われる。
	×	食料品製造業（営業担当）	・緊急事態宣言の解除の見通しが立たないなかで、今後更に受注量が減少する。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が続いており、まだ終息する確証がないので、絶対に景気は更に悪くなる。雇用、倒産の面でとても不安がある。周りでも会社を畳むというところがちらほらあり、今後増えていくのではないかと思われる。中小企業や個人事業主は、本当に大変であると思う。
	×	鉄鋼業（経営者）	・製造業は新型コロナウイルス発生以降の影響が大きく、いまだ回復が全体では見えない。当社の主要客である機械製造業では、今年も前半の動きは非常に悪く、夏場以降に動きがあるかどうかという状況にある。
	×	金属製品製造業（経営者）	・引き合いの減少が、今後受注量の減少に影響すると考える。
	×	通信業（法人営業担当）	・新型コロナウイルスワクチンは、効用はおるか供給さえ不透明であり、この状況が長引けば、消費の更なる冷え込みや小規模店舗の倒産は必至である。
雇用 関連 (東海)		人材派遣会社（営業担当）	・4月採用に向けて各社が求人を増やしてくることを見込んでいる。また、求職者もそれに合わせて動き出し、転職市場は多少改善すると考える。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・自動車の国内販売、中国や北米への輸出増加を踏まえ、今後良くなると予想をするが、新型コロナウイルス感染症第3波の推移及び半導体問題が不安要素として懸念される。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・引き続き不確実性が高い環境ではあるが、4月入社の対象者獲得に向けて、各社は推進していくと推察する。
		民間職業紹介機関（支社長）	・現状の要因に加えて、新型コロナウイルスの感染者数の低減傾向が要因となる。
		人材派遣会社（経営企画）	・期末特有の動きの可能性があり、様子見である。
		人材派遣業（営業担当）	・新型コロナウイルス禍により、当面回復の兆しは見えない。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染が収束しないと何も変わらない。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まるまで余り変わらないと思う。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・緊急事態宣言発出により採用が鈍化している企業も見受けられる。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・地域の景気は大きく落ち込んだままである。各企業の努力で持ちこたえているが、3か月間で上向き兆しはない。
		職業安定所（所長）	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の収束が見通せない。自動車関連の持ち直しや巣籠り需要で伸びている産業もあるが、新規求人数は減少が続いており、状況は厳しい。
		職業安定所（職員）	・自動車産業については上向きの傾向にあると思われるが、世界的な半導体部品の不足が今後どのような影響をもたらすかにより、悪くなる可能性もある。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響が見通せないため、先が見通せない。
		職業安定所（次長）	・回復を見込める材料となる要素がない。
		職業安定所（次長）	・新型コロナウイルス感染症第3波により先行きに不透明感が増し、全産業で新規求人数の減少が続いている上、2度目の緊急事態宣言により、一層の停滞感がある。
	その他雇用〔広告代理店〕（求人広告担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第で変わってくると思う。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況に応じて左右されるが、当面はこの状況が続くと予想される。
		人材派遣会社（企画統括）	・2回目の緊急事態宣言が発出されて新型コロナウイルスの終息の時期が見えなくなり、不透明感がますます強まった。
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったとしても、引き続き感染リスクはあると思うので、しばらくこの状況が続く。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染も拡大し、厳しい状況が続く。
		職業安定所（次長）	・介護、建設や警備など人手不足業種からの求人は多いものの、県独自の緊急事態宣言の発出や隣県での緊急事態宣言の再発出により、その他の業種では採用を手控えている様子がある。
		民間職業紹介機関（窓口担当）	・2か月後、3月末の契約更新時期はメーカー系の終了者の見込みが多く、その後の景気回復の見込みが立っていない。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・医療系の本学部では、医療機関の経営状況が採用に顕著に反映される。新型コロナウイルスによる影響か、内定確定が前年と比べて遅く、また、同じ病院での採用数も減少している状況である。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・4月は、主要客における請負取引予算の削減で多くの業務終了が発生し、所属拠点のエンジニア稼働率が現状の約90～70%台にまで低下する可能性がある。
	×	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・新型コロナウイルス禍が収まってほしいと思っているが、収まりそうにないというマインドの人が大半である。政府の対応も後手を踏んでおり、期待できそうにない。

#### 7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北陸)		コンビニ（店舗管理）	・特段、上向きになる要素は思い当たらないが、今月が悪過ぎたので、それと比べれば良くなる。
		商店街（代表者）	・これ以上悪くなる材料があるのか分からない。商店街加盟店の関連先の倒産があれば連鎖で悪くなる可能性はあるが、今をしのげば必ず良くなると期待している。
		スーパー（店舗管理）	・駐車場の確保が進めば強化販促も打ちやすくなり、集客につなげられる。今は積雪により歩道も一部埋まっている状況で、交通手段も回復していないため、安全面の観点からも強化販促が打ちづらい。県指定の排雪場所も確保できていない状態なので、自然に溶けるのを今は待つしかない状態である。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響が多少和らぐとみている。
		乗用車販売店（経営者）	・業界全体としてこの時期は、販売量が多くなる時期と捉えているので、徐々に客の動きも良くなると考える。
		乗用車販売店（従業員）	・車両販売、整備共に繁忙期であるため、期待している。
		乗用車販売店（役員）	・冬も終わり暖かくなってくることや、ワクチン接種が進むことで新型コロナウイルスの感染範囲が縮小していき、人々の消費活動も徐々に回復していくと考える。
		住関連専門店（役員）	・新型コロナウイルス感染症次第ではあるが、今月の大雪と外出自粛要請で、様子見の客が多い。先行きがまだ不透明であることは否めないが、3月の需要期には期待したい。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・やや良くなると言っても、雪のため減少した売上が戻るだけで、今までずっと続いていた停滞状態に戻るだけのことである。
		一般レストラン（統括）	・良くなるには3つの条件がある。首都圏の感染者数が減ること、新型コロナウイルスの報道が減る、又は明るい報道に変わっていくこと、そしてワクチン接種が始まり、副作用など悪い報道が出ないことである。これらの条件がそろえば、4月頃から消費者が動き始め、景気が上向きになると考える。
	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、今後Go Toキャンペーンが再開されれば、例年並みの売上は確保できるとみている。	
	タクシー運転手	・飲食店への営業時間短縮の要請が、1月末日で終了する。	



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（営業担当）	・3月頃より、学生向けの新規受付数が増えてくると見込んでいる。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が予定どおりに進めば、気持ちが明るくなり、消費も増えてくるとみている。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	・1月は年始の初売りからしばらくはとても悪く、新型コロナウイルスの影響で会食の機会が減っているのだからという状況である。その後は大雪の関係で多少落としている。新型コロナウイルスの状況が良くなれば、売上が上がってくるとみているが、今後の大雪等への懸念もある。鍋の食材等の動きはあるが、安物買いが多い感じがしている。
		一般小売店〔事務用品〕（店員）	・今後も事務所のオフィスじゅう器関連の整備が進まない。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	・新型コロナウイルス禍の影響などを含め、大きくは変わらないだろうとみている。
		百貨店（販売担当）	・新型コロナウイルスの影響は継続すると考えるが、我慢も1年を越えて世の中はやや落ち着き、新しいものに目がいくとみている。資産価値となる美術品などは高額でも好調に推移しており、ゴルフやアウトドアなどで遊ぶ関連の商品や家で過ごす商品は、前年を超えて売れている。この傾向はしばらく継続し、店頭の見せ方や品ぞろえの変更により、減少を抑えることが可能と考える。しかし、各メーカーは商品製造を大幅に減らしており、商品確保がやや困難になる可能性がある。リニューアルや改装オープン、限定商品、限定販売など、新たな起爆剤を導入し、県外へ買物に行く傾向が強い県民が地元志向になれば、来店頻度の増加が期待できる。
		スーパー（店長）	・先行きが見通せない以上、状況は変わらない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの状況が一気に改善することがないと仮定すると、大きな変化はないと考える。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの状況が良くならない。
		衣料品専門店（経営者）	・今後は新型コロナウイルスの影響次第で、売上の予想はともてできるような状況ではない。
		衣料品専門店（店舗運営）	・先が見通せない状況であるので、まだしばらくは買物に慎重になる傾向が続くと考えている。
		家電量販店（本部）	・緊急事態宣言により感染を抑え込まない限り、状況は変わらない。また、新型コロナウイルスのワクチンもまだ先なので、状況は変わらない。
		自動車備品販売店（役員）	・新車の納車遅れが大きく商売に影響している。また、自動車での遠出を自粛しているのが、メンテナンス関連も落ちている。今は必要最低限の商品購入で出費を抑えており、この先数か月この傾向は変わらないとみている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルス感染者数の推移、医療体制のひっ迫度合いなど、短期的な先の改善見通しが立たず、依然として消費者の行動抑制が続く限りは、厳しい状況が続くと考える。一方で、消費者の行動変容によって消費内容に変化がみられることから、提供内容や提供方法など、変化に適應したスタイルの構築を急いでいるが、短期間では難しい面があるため、直近2～3か月での改善は難しいとみている。
		高級レストラン（スタッフ）	・頼みの綱のGo To Eatキャンペーンのプレミアム付食事券が一時販売停止となる。再販売が始まり、緊急事態宣言が解除されない限り、集客の環境が改善することはないと考える。
		一般レストラン（店長）	・これ以上悪くなりようがない。
		スナック（経営者）	・新型コロナウイルス感染症により生活様式が変わりつつある状態では全く先が読めず、四苦八苦する状況が続くそうである。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスにより、厳しさが継続するとみている。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明である。
		通信会社（職員）	・新型コロナウイルスの先行きが見えないなかで、新たな集客キャンペーンの効果が見込めない。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で来店人数を制限しており、販売数に大きな変化がみられない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（役員）	・商戦期を迎えて契約数の増加を見込んでいるが、新型コロナウイルスの影響を考えると、前年同期並みの契約数だとみている。
		パチンコ店（経理）	・状況が変化する大きな要因がない。
		住宅販売会社（従業員）	・月末に問合せが増え、商談も増えている。新型コロナウイルスも落ち着いてきた感じがするので、春に向けて動き出すのではと期待している。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの影響による個人の所得減少が収まらないと、改善は難しいと考える。
		住宅販売会社（営業）	・新型コロナウイルスの感染拡大に一定のめどが付かない限り、しばらくは現在の低調が続くものとみている。
		百貨店（売場主任）	・2～3月に渡り、アパレルブランドを中心に撤退ラッシュの第2弾が始まる。前回の第1弾の際は、新規ブランド導入やポップアップストアの出店で何とかしのいだが、今回は新規出店に意欲的なブランドは少なく、交渉は苦戦している。空きスペースが発生すれば状況は更に悪化する。
		百貨店（販売促進担当）	・衣料品のものづくりに影響が出ており、春物や新作などの投入が不透明である。また、入学や卒業といった式典や行事が不透明で、セレモニーウェアなど関連した商品の動きが鈍化するとみている。
		コンビニ（営業）	・新型コロナウイルスの影響に変化がなく、中小企業も含めて景気悪化の影響が今後表面化してくるのではないかと考える。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス禍のため、県外への新生活需要が見込めない。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス禍の影響で、今後の先行き不安による消費の冷え込みを、客の応対から体感している。
		旅行代理店（支店長）	・緊急事態宣言発出の対象地が増え、更に景気に影響を及ぼしている。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染拡大は収まる傾向がみえない。Go To Travelキャンペーンが始まらないと観光客が来ず、厳しい状態がしばらく続きそうである。
		競輪場（職員）	・選手の新型コロナウイルス感染者が増えるようなことがあれば、発売できるレースがなくなり、売上が減少すると考える。
		その他レジャー施設 [スポーツクラブ] (総支配人)	・新型コロナウイルスの市中感染者が毎日出ているなかで、今まで以上に自粛に向かっていると考える。大雪は2週間たった今も影響が出ている。
		住宅販売会社（従業員）	・緊急事態宣言や感染拡大警報の発出で、客の動きが鈍くなるとみている。
	×	商店街（代表者）	・Go Toキャンペーンで一旦活気を取り戻したが、中止となった反動が大きい。今後も再開と中止を繰り返すと考えられ、それに慣れてしまって景気が停滞してしまうことが何より怖い。
	×	商店街（代表者）	・緊急事態宣言が解除されない限り、安心して出歩ける環境ではない。
	×	一般小売店[鮮魚] (役員)	・今後、景気が回復する気配は全くない。前年の繰り返しかと思うとゾッとす。Go Toキャンペーンも東京オリンピックも無理だとみている。
	×	コンビニ（店長）	・社会の流れが変わるなか、以前のような生活形態に完全に戻るとは、新型コロナウイルスが終息したとしても考えにくい。事業継続のため、人員削減や効率重視の事業縮小も視野に入れて模索している。
	×	観光型旅館（スタッフ）	・この先3か月の予約保有状況は、10月時点で前年比114%、11月時点で前年比96%、12月時点で前年比85%だったが、1月はGo To Travelキャンペーンの一時停止とその後の緊急事態宣言の影響で、前年比36%と大幅な減少である。緊急事態宣言が解除され、Go To Travelキャンペーンが再開しないと非常に厳しい状況となる。
	×	テーマパーク（役員）	・緊急事態宣言が解除されず、Go To Travelキャンペーンの停止が続く限りはほぼ収入が見込めない状況であり、現状より更に厳しくなると考える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
企業 動向 関連  (北陸)		一般機械器具製造業 (経理担当)	・国内企業の設備投資が回復基調となっている。さらに、諸外国では一部のロックダウンを除き、経済活動が順調に回復してきており、経済刺激策を講じている国々もその効果が出始めている。そのため輸出増加につながっており、順調に回復しているとみている。
		不動産業(経営者)	・法人関係の問合せは全く動きがない。動きがいつ出るのが見通しが立たないなかではあるが、先行きは良くなるとみている。
		精密機械器具製造業 (役員)	・今のところ今年前半の生産計画数は、現状キャパシティの100%を超えている状況である。しかし、一方で新型コロナウイルス感染拡大からの悪影響を不安視する面もある。
		建設業(経営者)	・年度末をめがけての工事発注が増えるのではないかとみている。
		通信業(営業)	・今後の新型コロナウイルス感染拡大の影響に左右されるものの、現状では北陸は爆発的な感染拡大状況ではない。業種によるが首都圏と比較して影響もやや小さく、このまま推移するとみているが、12月で一旦終了した補助金施策が2月以降予算化し、継続措置となれば、景気は現在以上に良くなると考える。
		税理士(所長)	・現在、大きな関心事としては新型コロナウイルスワクチンの問題がある。日本はともかく、中国では感染が抑えられており、欧米でもワクチン接種が進めば、人の交流が一気に動き出すとみている。2～3か月たつと、ビジネス往来がかなり増えるとみられ、いろいろな設備関係も動き出すという期待感がある。まず、ビジネスが観光より先に動き出すのではないかと期待がある。
		食料品製造業(経営企画)	・全て新型コロナウイルス次第である。当面は事態が好転するとは考えられず、一進一退の状況が続くだろうとみている。
		プラスチック製品製造業 (企画担当)	・まだまだ予断を許さない状況が続くと考える。本格的な回復にはかなりの時間を要するとみられ、先行きは不透明である。
		金属製品製造業(経営者)	・2～3か月先の分の注文状況をみて変わらないと考える。
		新聞販売店[広告] (従業員)	・1月も前年同月と比べマイナスである。9日からの豪雪災害により、1週間程度チラシの納品が間に合わず、キャンセルが生じて売上が損失している。その分が生じなければ、前月と同様の売上水準になっていた。新型コロナウイルス禍前の売上に完全には戻らないとみているが、ここ4か月は前年比12%減少程度で推移しているため、この辺りまでが復活の上げ止まりかとみている。
		一般機械器具製造業 (総務担当)	・欧米市場からの受注の行方がみえない状況であり、大変厳しい。今年も引き続き一時帰休を継続している。
		金融業(融資担当)	・緊急事態宣言が発出され、新型コロナウイルス感染者数は高止まりしている。不要不急の外出自粛により経済活動が停滞し、持ち直しつつあった消費についても落ち込みが見込まれる。宿泊や飲食は引き続き厳しい状況が続く。
		司法書士	・プラス要素として北陸新幹線延伸における開発事業があるものの、現状のままでは飲食業者や旅館業者の体力勝負が続くと、同業者を心配する話を聞く。
		×	建設業(役員)
	×	輸送業(役員)	・まだ新型コロナウイルスは終息しそうにない。
	×	金融業(融資担当)	・緊急事態宣言が続くなか、取引先の売上回復の見通しが再び立たない状況になっている。既に経費削減を進めており、経営努力も限界にきている。
雇用 関連  (北陸)		-	-
		人材派遣会社(社員)	・新型コロナウイルス次第ではあるが、時期的なことを考えれば人の動きが活発になる時期であり、求職者、求人数が増加すると考える。回復を期待する。
		人材派遣会社(役員)	・今の状態のまましばらく続きそうである。
		新聞社[求人広告] (営業)	・何事も新型コロナウイルスに左右されている感じがする。感染の波は現状より改善していると考えられるが、経済活動が上向きになる要素がない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種の見通しが曖昧で、当面この不安感や停滞感は継続するのではないかと考える。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの終息がみえないことから、前月より求人数の伸びが鈍化している。
		民間職業紹介機関(経営者)	・新型コロナウイルス禍が収まらなると、企業の求人や採用は下火である。東京オリンピック開催の行方も雇用に大きく影響を与えそうである。
		学校〔大学〕(就職担当)	・緊急事態宣言の発出により、求人数の落ち込みを見込む。
	x	-	-

## 8. 近畿(地域別調査機関:りそな総合研究所株式会社)

(-:回答が存在しない、\*:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)		-	-
		一般小売店〔鮮魚〕 (営業担当)	・3月の購入予約は結構入っているため、緊急事態宣言が解除されればもちろん良くなる。
		百貨店(売場主任)	・緊急事態宣言の発令で確実に来客数が減少しているため、解除後には増加傾向に戻ると考えている。
		百貨店(外商担当)	・2~3か月後には、新型コロナウイルスのワクチンが日本に入荷し始めると予想されるため、客の購買心理も徐々に上向いてくる。
		百貨店(販促担当)	・新型コロナウイルスの影響が大きく出ること避けられない。感染が1年以上続くなか、感染第3波では自粛要請の効果がないうちに、開放感を求める傾向が高まると予想される。ただし、新型コロナウイルスのワクチン接種への期待や、冬から季節が変わることでの感染状況の好転も期待できる。身近な楽しみを求める傾向が強まることに期待し、開放感や気分の一掃をキーワードに展開したいと考えている。
		百貨店(外商担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種の見通しや、感染拡大の収束の兆しなどにより、消費マインドの改善が期待できる。
		百貨店(特選品担当)	・先行き不透明というのが正直なところであるが、気温が暖かくなれば、緊急事態宣言下の今よりも少しは良くなる。
		百貨店(営業推進担当)	・新型コロナウイルスのワクチンにつき、高齢者への接種が始まれば、感染収束に向けた動きと捉え、若干ながらも自粛の動きが弱まると予想される。ただし、移動距離が伸びるなどの動きは当面先とみられ、個別業界内での消費の積み増しに限られる。
		スーパー(店員)	・創業祭などのイベントが続くため、売上の増加が期待できる。また、新型コロナウイルスの感染も収まり、行動範囲が広がることで、来客数が増えると予想される。
		コンビニ(経営者)	・今が底の状態であり、緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種も始まれば、少しは来客数が増えることが期待できる。
		衣料品専門店(販売担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まれば、少しずつ人の動きが改善し、少し購入意欲が湧いてくると感じる。
		家電量販店(店員)	・緊急事態宣言が解除になれば、更に来客数が増えるように感じる。客は規制から解放されれば、ステイホームのストレスが買物への意欲に変わり、販売が増えると予想される。
		家電量販店(企画担当)	・新生活需要と新型コロナウイルス禍での新しい生活様式にあわせ、巣籠り需要やテレワークの推奨商品にポイントを加算し、グリーンポイント制度も追加する。経済のプラスになるように、購入を検討してもらえることを期待している。
		乗用車販売店(販売担当)	・購買意欲の高い客が多いと感じる。今後は第1四半期の決算月に向けて、客の動きも活発になると予想される。
		高級レストラン(スタッフ)	・これ以上悪くなることはない。
		高級レストラン(企画)	・新型コロナウイルスの感染第3波の収束や、Go To Travelキャンペーンの再開によるプラスの影響が期待される。
		都市型ホテル(総務担当)	・緊急事態宣言期間が2月7日で終了するかどうか分からないが、新型コロナウイルスの新規感染者数は若干減少しており、3~4月には今よりも客が増えることを期待している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		都市型ホテル（フロント）	・新型コロナウイルスのワクチン接種によって新規感染者数が減少傾向となり、出張者や旅行者も少し増えると予想している。
		タクシー運転手	・2月末から医療従事者を対象に、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まれば、どのような展開になるのかは、はっきり分からない。期待としては、ワクチン接種後は感染しないという情報が広がれば、景気の押し上げもあり得ると期待したい。
		通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響は、地域における消費のトレンドも大きく変えた。買物や行政手続き、銀行取引など、Webで済ませられるものは、リアルからシフトしていくという変化の兆しがみられる。
		通信会社（企画担当）	・緊急事態宣言中につき、アミューズメント施設は最悪の状況である。今後、緊急事態宣言が解除されれば、改善に向かう見込みである。
		その他レジャー施設 〔複合商業施設〕（職員）	・緊急事態宣言がいずれ解除され、新型コロナウイルスのワクチンの投与が始まれば、幾分は落ち着くと予想される。ただし、経済の実態よりも高めの株価が崩れれば、またマインドが下降するほか、東京オリンピックの中止なども心配である。
		その他住宅〔情報誌〕 （編集者）	・不動産の購入に際し、新型コロナウイルスによる生活スタイルの変化がきっかけとなりつつあり、まだ裾野が広がる可能性がある。ただし、購入できるケースとできないケースで二極化し始めており、先行きの不透明感が残る。
		商店街（代表者）	・しばらくは平常に戻らないと考えている店が大半である。
		一般小売店〔花〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がどこまで続くか、先が見通せない状態のため、景気回復の見込みは薄い。
		一般小売店〔衣服〕 （経営者）	・緊急事態宣言が延長する見込みであるため、現状から変化することはない。
		一般小売店〔菓子〕 （営業担当）	・2月も引き続き、緊急事態宣言の影響で期待できない。1日も早い新型コロナウイルスの感染収束を待つしかない。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの感染拡大が、春先には若干沈静化すると予想される。ただし、1～2月の売上の一層の厳しさは想定外であり、業種によっては企業の体力が更に奪われる。それに伴い、仮に感染拡大が沈静化しても、企業の雇用情勢の悪化が予想される。一般消費者も積極的に消費するとは考えにくく、回復するまでには、ある程度の時間が掛かる。
		百貨店（企画担当）	・2月7日までの期限で発出されている、緊急事態宣言が延長される可能性があり、先行き不透明な状況がしばらくは続く。新型コロナウイルスによる影響は、全ての国民へのワクチン接種が完了するまでは、好転することはないと感じる。
		百貨店（服飾品担当）	・徐々に新型コロナウイルスの感染者数が減ることで、少しずつ回復傾向に入ると予想されるものの、厳しい状況は続く。冬から春に掛けての商戦は、大きなモチベーション需要に支えられている部分が多い。今年は卒業や卒園、入学、入社に伴う需要が確実に減少するため、衣料品などの買換え需要は伸びないと予想される。一方、バレンタイン商戦など、自家需要にウエイトを置いた商戦には期待できるほか、高級ブランド関連も好調が続くそうである。
		百貨店（サービス担当）	・来月以降も緊急事態宣言が継続される可能性が高く、来客数の増加は見込めないが、百貨店に対する需要は変わらない。
		百貨店（販売推進担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったとしても、当面は積極的な集客策を実施できない。イベントや宣伝などの経費を削減し、デジタルトランスフォーメーション分野への投資を拡充していかなければならない。
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、感染者数が減少するまでは変わらない。感染者数が少なくなった時点で、以前のようなGo Toキャンペーンを導入という流れができれば、サービス関連も少し良くなると予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（商品担当）	・世界各国で始まったワクチン接種や感染対策の徹底により、新型コロナウイルスの感染が沈静化に向かえば、消費マインドは大きく改善する。ただし、経済が立ち直るまでには少々時間が掛かると予想される。効果的な感染予防策の定着によるインバウンドの復活や、東京オリンピックの開催の実現も景気浮揚の大きなポイントとなりそうである。
		百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいる国からの情報で、国内客の心理に大きな影響が及ぶ。国内での接種のスケジュールが不透明ななか、あと1か月は小康状態が続く、当面は大きな改善には至らないと予想される。
		百貨店（マネージャー）	・先行きが見えないなか、売上が拡大するには来客数が増えることが必要となるが、買物に対するモチベーションは低いままとなる見込みである。リベンジ消費が顕在化するのには、新型コロナウイルスのワクチン接種が完了し、国民に安心感が戻る夏以降と予測している。
		百貨店（売場マネージャー）	・緊急事態宣言は2月7日までとなっているが、延長の可能性はある。また、当社も30分の時短営業を行っており、今後も継続する予定である。
		百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスのワクチン接種には、まだ時間が掛かりそうであるほか、変異したウイルスの感染が広がりそうである。感染者数に歯止めが掛からず、悪い状況が続くと予想される。
		スーパー（経営者）	・3～4月は新型コロナウイルスのワクチン接種が一部で始まる程度と予想され、ファミリー層の不安はまだまだ解消されない。テレワークや時短などで働き方も大きく変わっているため、前年のような異常値にはならないものの、例年に比べると家庭での内食需要は堅調に推移しそうである。
		スーパー（店長）	・前年の2月頃から新型コロナウイルスの影響が出始めたため、前年比では、これまでのような大きな伸びは見込めない。
		スーパー（店長）	・今後は新型コロナウイルスのワクチンの効果次第であるが、今が景気の底と考えられる。現状は業種による明暗がはっきりと分かれており、これから迎える決算期が正念場となる。
		スーパー（店員）	・天気が良くて暖かい日は、新型コロナウイルスに関係なく、来客数が割と多い。状況は余り変わらないと感じる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。新型コロナウイルスのワクチン接種のタイミングで変化する可能性もあるが、来客数が急に増えることはない。
		コンビニ（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの悪影響が続くような気がする。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況がどうなるか、見通しが立たない。
		コンビニ（店員）	・旅行客がいらないため、来客数は余り変わらない。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルス禍で、客の気持ちも下向きとなっているため、購買意欲が上がらず、横ばいの状態が続く。
		家電量販店（経営者）	・新型コロナウイルス禍が3か月で落ち着くことはなく、消費意欲がアップすることは考えにくいいため、景気は停滞すると予想される。
		乗用車販売店（経営者）	・1月は1週間ごとに来客数の傾向が変わり、全く読めないほか、今後改善する兆しもない。
		乗用車販売店（販売担当）	・緊急事態宣言の延長が報じられていることもあり、当面好転することはない。前回の緊急事態宣言時にはマイカーの需要が増えたというデータもあったが、テレワークの推進もあり、需要の回復には時間が掛かりそうである。
		その他専門店 [ 医薬品 ]（経営者）	・新型コロナウイルスに振り回されている。今後は緊急事態宣言後の感染者数の推移で状況が変わってくるが、平時に戻るまでにはまだまだ時間が掛かる。
		その他専門店 [ 宝石 ]（経営者）	・米国大統領が交代し、今後は日本との駆け引きが始まるほか、米国と中国の関係にも左右される。
		その他専門店 [ 宝飾品 ]（販売担当）	・新型コロナウイルスのワクチンが普及するまでは、販売側がどれだけ対策を講じて、感染への不安はぬぐえず、購買意欲も停滞したままとなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・新型コロナウイルスの感染が収束するとは思えないため、引き続き医療関連商品の売行きは良くなる。
		その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染収束が見通せないなか、特に繁華街への来街については、慎重な状況が続くと考えざるを得ない。
		一般レストラン（経営者）	・営業の時短要請については、緊急事態宣言中は補助金などが出るが、解除後は補助がない。また、客足が戻るまでには時間が掛かるため、閉店せざるを得ない店舗が増えそうである。解除後に急に警戒心がなくなったり、ワークスタイルが変わるわけではないため、2～3か月後に景気が良くなるとは考えにくい。
		一般レストラン（店員）	・時短営業のため、来客数、売上共に減少している。今後、時短営業が解消されても、新型コロナウイルスの感染が続く限り、今と同様に来客数は減少する。
		一般レストラン（企画）	・全く先のみえない戦いである。落ち着きどころがみえず、新型コロナウイルスの感染者数に全てが一喜一憂している。ワクチンの接種で状況が変わらなければ、厳しさは更に増すと予想される。
		観光型ホテル（経営者）	・緊急事態宣言が解除されても、しばらく宿泊需要が戻るとは考えられないため、今後2～3か月は全く期待がもてない。
		観光型旅館（経営者）	・先の見通しが全く立たない。手を打てば打つほど、痛手が大きくなる。
		都市型ホテル（販売促進担当）	・2月初旬に緊急事態宣言が解除されるか、延長されるかで、多少は影響が変わる。ただし、前年の夏頃からの流れをみると、解除されてもすぐに客は戻らない。
		都市型ホテル（管理担当）	・緊急事態宣言がいつ解除されるか、感染がいつ抑えられるかが今後の焦点となるが、急激に回復するとは、到底考えられない。
		旅行代理店（支店長）	・少し暖かくなれば良くなると回答したいところだが、実態は変わらない。新型コロナウイルスのワクチンや治療薬の認可や運用のみが、この状況を救う唯一の方法であり、その見込みが立つまでは変わらない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染が減らない限り、良くならない。早く収束してほしい。
		通信会社（社員）	・携帯電話の販売が、完全にインターネット経由の低価格プランに移行すると、更に来客数が減る。
		観光名所（経理担当）	・新型コロナウイルスがインフルエンザなどと同じ感染傾向をたどるとすれば、3月末頃には感染の拡大傾向は収まると予想される。ただし、新型コロナウイルスのワクチン接種は優先度の高い医療従事者や高齢者止まりで、病院の空き状況が改善するまでには至らないと予想している。
		観光名所（企画担当）	・テレビなどでは、繁華街での人出が増加したと報じられているが、集客施設にはほとんど来なくなっている。緊急事態宣言の延長も考えられ、全く先がみえない状況である。
		遊園地（経営者）	・新型コロナウイルスの感染第3波によって業績が急減速し、緊急事態宣言の発令で更に悪化した。感染状況が改善しない限り、回復は見込めないため、雇用を維持しながら損失を抑えることに注力するしかない。ただし、既存の事業は移動や密集を前提とした業態であるため、新型コロナウイルス禍と共存する方法を見いだすことは容易ではなく、先行きは極めて不透明である。
		競艇場（職員）	・新型コロナウイルスによる外出の自粛要請などで、電話投票とインターネット投票の会員数が急激に増えたこともあり、売上は全国的に伸びている。しばらくはこの状態で高止まりすると予想されるが、いつまで続くかは読めない。
		その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・これだけ新型コロナウイルスの感染が広がり、日常の行動が制限されるなかで、従来どおりのイベントの開催は難しい。この最悪の状況がいつまで続くのか予想できないなかでは、最悪の状況が続くと考えて行動するしかない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他レジャー施設 [ 球場 ] ( 経理担当 )	・大阪では緊急事態宣言が再発令され、2月はコンサート、3月からはプロ野球のオープン戦や公式戦が予定されているが、新型コロナウイルスの感染状況次第では、中止や無観客となる可能性がある。今のところ、3か月後の状況は不透明なため、現状と変わらないと予想している。
		その他レジャー施設 [ 飲食・物販系滞在型施設 ] ( 企画担当 )	・緊急事態宣言が解除されたとしても、まだまだ安心して外に出歩く心境にはなれない。
		美容室 ( 店員 )	・予約状況は安定している。
		その他サービス [ 学習塾 ] ( スタッフ )	・例年以上に退会者やオンライン受講の希望者が多く、保護者の不安が感じられるため、しばらくは様子見が続くと予想される。
		住宅販売会社 ( 従業員 )	・マンションディベロッパー各社は事業用地の取得目標が達成できていないため、年度末に向けて、開発用地の取得競争が激しくなる。
		住宅販売会社 ( 総務担当 )	・新型コロナウイルスの感染収束につながるワクチン接種が進まなければ、現状維持が精一杯となる。
		一般小売店 [ 時計 ] ( 経営者 )	・2～3か月先に緊急事態宣言がどうなっているのか、日常生活が取り戻せているのかが大きな鍵になる。ただし、新型コロナウイルスによって生まれた不公平感や格差は、気持ちの上でもなかなか埋まらないため、先行きを楽観視することはできない。
		百貨店 ( 売場主任 )	・新型コロナウイルスの影響下、株高傾向で宝飾品や輸入ブランド、食料品は安定的な売上が期待されるものの、一般衣料品の購買は、更にインターネット通販にシフトすると予想される。
		スーパー ( 店長 )	・新型コロナウイルスの感染は、しばらく収まらないと予想される。倒産や廃業、失業者が今後も増えるため、生活防衛に走る消費者は今後更に増えそうである。
		スーパー ( 店長 )	・職を失う人が増えてくると予想され、今後も節約の動きが加速する。
		スーパー ( 企画担当 )	・新型コロナウイルス関連の需要が更に落ち着き、巣籠り需要も減少することが予想される。
		スーパー ( 企画担当 )	・前年度は新型コロナウイルス感染の影響もあって、売上が大きく伸びた年であった。ただし、前年を上回る既存店舗の営業実績も、実際には厳しい状況にあるため、改装や新規出店を行うことで全体の底上げを図る。
		スーパー ( 経理担当 )	・新型コロナウイルスの感染状況、緊急事態宣言の延長といった不透明な要素が多いほか、所得の減少や倒産の増加などにより、景気の悪化が懸念される。一定の感染状況が続くという前提に立てば、悪い材料の方が多い。
		スーパー ( 販売促進担当 )	・緊急事態宣言の延長もあり、しばらくは巣籠り需要が続くと予測している。ただし、新型コロナウイルス禍が明けたとしても、体力が減っている企業も多く、経済活性化には時間を要すると考えられる。
		スーパー ( 開発担当 )	・緊急事態宣言による飲食店の営業の時短要請もあり、入出が減っている。解除されるまでは良くならない。
		スーパー ( 社員 )	・新型コロナウイルス禍が再び拡大、長期化するなか、今後は収入が減少した世帯を中心に、内食疲れのような動きが起こることを危惧している。
		コンビニ ( 店長 )	・失業率も上昇しているなかで、売上と利益が増えるという予測は立てにくい。
		衣料品専門店 ( 店長 )	・緊急事態宣言が1か月延長される方向で調整中であることから、底ばいの動きが続くと予想される。
		衣料品専門店 ( 営業・販売担当 )	・来客数が増加しない限り、売上の増加は見込めない。
		家電量販店 ( 店員 )	・在宅特需が落ち着けば、家電を購入する動きは減少してくる。基本的には故障がない限り、購買力の低下は避けられないと予想している。
		家電量販店 ( 店員 )	・今後、学生や就職のための新生活需要も期待されるが、新型コロナウイルスの影響がどれほど出るかで、売上も左右されると予想される。
		家電量販店 ( 営業担当 )	・緊急事態宣言が2月7日で解除されるとは思えない。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		家電量販店（人事担当）	・進学や就職も地元志向がやや高まっており、新生活に必要な製品の売行きが鈍い。
		乗用車販売店（経営者）	・緊急事態宣言の発出により、経済活動が制限されている。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響でメーカーから新車が入荷されず、交換部品の調達にも影響が出てきている。来客数も減少している。
		乗用車販売店（経営者）	・緊急事態宣言の発令による営業の時短要請もあり、街に活気がなくなっている。飲食関係以外の業種も、持続化給付金が打ち切られると、存続できない企業が出てくる。まだまだ感染収束の糸口も見当たらないため、景気は悪くなると予想される。
		乗用車販売店（営業担当）	・1回目の緊急事態宣言によるダメージも出てくる頃である。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・マスクを着用している効果で、今冬は余り医薬品が動いていないため、売上は厳しい。今後は通常の生活に戻ったとしても、個人の収入が減っているため、経済が活性化するにはかなりの時間が必要になる。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・緊急事態宣言の延長による悪影響の長期化で、現在よりも景気は悪化すると予想される。
		その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・大企業のテレワークやホテルの休業などで、完全に人の動きが止まっている。自販機はただの箱になっており、回復は見込めない。
		観光型旅館（経営者）	・今後も社会の雰囲気左右される。Go To Travelキャンペーンの再開なくしては、景気は良くならない。新型コロナウイルスとインフルエンザ関連の超過死亡数の比較を発信するなど、新型コロナウイルスはもう怖くないという冷静な判断のもとで、景気回復を期待したい。
		都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が減少する兆しは、今のところは全くみえない。
		都市型ホテル（客室担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の防止に向けて、ワクチンの接種が課題となる。今後は新型コロナウイルスを制し、経済を回すことが急務であるが、東京オリンピックの開催は現時点で不透明である。
		タクシー運転手	・企業関係のハイヤー予約が全てゼロであり、予約後のキャンセルも続出している。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で消費が低迷する。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くかわからず、先が読めないものの、今の状態が6月頃までは続く予想される。
		競輪場（職員）	・新型コロナウイルスの感染第3波が到来しているなかで、今の状況から判断すると、今後も大きくは変わらない。ただし、感染第3波の収束がみえない状況から、仮に緊急事態宣言が延長されれば、悪化する可能性は多分にある。新型コロナウイルスのワクチン接種が、早ければ2月下旬頃から始まるため、感染が収束に向かうことを期待したい。
		住宅販売会社（経営者）	・今後は社会全体、当地域共に、雇用者数の減少が見込まれる。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・企業の倒産や労働者の解雇が増加すると予想される。
		その他住宅〔展示場〕（従業員）	・住宅展示場の場合は、来場者数が契約数とは比例しないものの、不要不急の外出は避けるという意識があるため、今後も展示場への来場者数の増加は見込めない。
		その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種で好転すれば良いが、今の政府の姿勢では、恐らく一般市民が接種するスケジュールも遅れるため、今年も厳しい状況が続くと予想される。
	×	一般小売店〔貴金属製品〕（従業員）	・東京オリンピックの中止が懸念される。
	×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着かないことには、以前のような通常の販売は成り立たない。ただでさえ販売量は年々落ち込むなか、新型コロナウイルスの感染収束の出口は全くみえない。今後はとてもではないが楽観視できない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	一般小売店〔野菜〕 (店長)	・今後3～4か月で状況が良くなるとは思えない。新型コロナウイルスのワクチン接種もすぐに効果が出ると思えず、東京オリンピックの開催も含めて先行き不透明である。当店もいよいよ閉めようかと考えている。
	×	一般小売店〔花〕(店長)	・新型コロナウイルスの影響を筆頭に、先行きのみえない状況である。
	×	一般小売店〔呉服〕 (店員)	・呉服については、継続的に購入がみられるときはよいが、少し動きが止まると、必需品ではないため購入されない。
	×	百貨店(売場主任)	・昨春は特別定額給付金などの効果で、巣籠り需要が伸びる傾向にあった。今回は長引く新型コロナウイルスの影響で、実収入やマインドにも影響が出ており、財布のひもが非常に固くなってきたことが実感される。
	×	百貨店(企画担当)	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、まだ現在の傾向は続く。特に、百貨店の主力販売商品であるアパレルはかなり厳しい。取引先からの撤退の申入れも増えることが予想され、今までのような商品構成での販売はできなくなる。
	×	百貨店(宣伝担当)	・数か月では感染状況が劇的に改善するとは思えない。取引先が生産や買い付けを絞るなど、春夏商材の入荷に影響がはじめており、厳しい状態が続くと予想している。
	×	スーパー(経営者)	・緊急事態宣言で観光業や飲食業が休業となっており、そこで働く人たちの消費も落ち込んでいるように感じる。
	×	コンビニ(経営者)	・経営困難な企業も今は資金の借入れができていますが、どの程度の収支で事業が継続できるのか、かなり厳しい状況にある。新型コロナウイルス禍で売上が伸びている企業はあるが、その割合はごく一部であると感じる。
	×	コンビニ(店長)	・新型コロナウイルスの感染収束を期待して、何とか頑張ってきたが、客からは、長過ぎてもう耐えられないといった話を毎日のように聞く。当店も、単価や来客数に影響を受けそうな予感がある。
	×	コンビニ(店員)	・新型コロナウイルスの感染が落ち着く見込みが全く立たないため、生活困窮者が増えていく。支出を必要最低限に抑えて生活する人が増えれば、コンビニは厳しい状況になることが予想される。
	×	衣料品専門店(経営者)	・婦人服店であるが、緊急事態宣言を出すのであれば、休業要請を出してもらえと家賃の負担だけで済むが、そうでなければ人件費などの負担が増えるだけである。緊急事態宣言以降、売上がゼロの日が何日も続いている。
	×	衣料品専門店(経営者)	・緊急事態宣言が、2月7日に予定どおり解除され、客足が戻るとは考えにくい。それでも秋冬物のクリアランスセールを仕掛けざるを得ない。とにかく、緊急事態宣言が早く全面解除となることを祈るばかりである。
	×	住関連専門店(店長)	・インテリア業界では、数か月や1年前から計画を立てる客が多いが、新規客が増えるはずの時期に減少している。新型コロナウイルスで不安な時期のため、計画自体を先延ばしするなど、消費者の慎重な姿勢がうかがえる。
	×	その他専門店〔食品〕 (経営者)	・新型コロナウイルスのワクチンが完成するまでは、先が見通せない。
	×	その他小売〔インターネット通販〕 (経営者)	・商店街はこれから先、シャッター通りになっていく。
	×	一般レストラン(経営者)	・補助金の支給がない職業は厳しい。新型コロナウイルスの感染が収束するまでに、閉店がこれからも増えると予想される。
	×	その他飲食〔ファーストフード〕 (店員)	・緊急事態宣言の影響で、来客数がかかり減っている。営業の時短要請もあり、他の飲食店も困窮している。
	×	その他飲食〔ジャズバー〕 (店員)	・新型コロナウイルスの影響で、客の来店は激減している。
	×	都市型ホテル(スタッフ)	・新型コロナウイルスの感染対策は万全であるが、緊急事態宣言によって一部休業せざるを得なくなった。ランチ需要は高まっているものの、5名以上の宴会や会食が受注できない。会議も順調に受注できているが、売上は伸びず、宿泊需要も弱まっているなど、見通しが立たない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	旅行代理店（役員）	・旅館やホテルの休業、航空機の減便、列車の運休などで人の移動が激減している。また、Go To Travel キャンペーンの再開も、直前まではっきりしないため、客も動きにくい状況にある。
	×	テーマパーク（職員）	・2月7日までの緊急事態宣言が延長されるかどうかにもよるが、一度冷え切った外出意欲に再び火をつけるのは、とにかく大変である。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で非常に暇である。高齢者は外出を控えるべきだと、政府が言い過ぎており、美容室は完全に暇となっている。
	×	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染収束が見通せない状況で、徐々に消費は落ち込んでいく。
企業 動向 関連  (近畿)		木材木製品製造業（経営者）	・前年の10月頃から新規事業を手掛けている。訪問営業やサンプルの提供で評価を依頼したところ、商品としては非常に可能性がありそうである。今後は日本で独自の市場を早期に立ち上げ、商品を定着させたい。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスに有効な製品が効果を発揮することを信じて、良くなることを期待したいが、1人でも社内で感染者が出れば、期待もしばんでしまう。
		輸送用機械器具製造業（役員）	・新規搬送コンベアに対する、見積りなどの引き合いの増加傾向が続いている。特に、自動車部品関係の会社の動きが増えている。
		広告代理店（営業担当）	・緊急事態宣言が春に解除され、Go To Travel キャンペーンも再開してくれば、回復が進む見込みも高まる。ただし、全ては今後の新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		食料品製造業（営業担当）	・今後は、新型コロナウイルスの感染拡大と収束が繰り返す形となる。その都度、環境の変化に迅速に対応するのは難しい。
		繊維工業（団体職員）	・とにかく新型コロナウイルスの影響が大きいので、1日も早く収束することを願っている。
		繊維工業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くなかで、先の状況を判断するのは非常に難しいものの、現在の緊急事態宣言が大きな効果をもたらすとは考えにくい。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・先の見通しが立たない。
		化学工業（経営者）	・今後3か月間では、一般の人に対する新型コロナウイルスのワクチン接種もまだ始まらないため、良くなる要素は見当たらない。一方、政府の施策によって取引先の倒産も発生していないため、しばらくは現在の状態が続くと予想される。
		化学工業（企画担当）	・年末は巣籠り消費の影響もあり、一時的に需要が回復したが、今後数か月は例年でも需要が低迷する時期となる。また、新型コロナウイルスの感染収束時期も読めない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・緊急事態宣言のなか、大きなプロジェクトは延期になっている。3月の期末以降、4月の受注は落ち着いているが、緊急事態宣言が終了すれば景気は上向くと予想される。
		窯業・土石製品製造業（管理担当）	・受注量や販売量が減少してきており、景気動向は下向きである。しばらくはこの状況が続くと予想されるが、一部地域で緊急事態宣言が解除される可能性もあり、現状より更に悪化することはない。全体としては変わらないと予想される。
		金属製品製造業（経営者）	・自動車関連では半導体不足による減産の噂はあるが、3月末までは現状維持の状態が続くと予想される。
		一般機械器具製造業（経営者）	・この超不況の状態は、まだまだ続くと予想される。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・受注や引き合いが増えてこないため、2～3か月先の売上は減少する。
	電気機械器具製造業（経理担当）	・事業の特徴として、部品の発注が2か月程度先行するため、内示のあるケースも多いが、そのような心配が全くない。	
	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・緊急事態宣言前と比べても、販売に大きな影響が出ていないため、仮に今の状況が続いたとしても、業況は変わらないと予想される。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（経営者）	・現状は厳しくても、体力のある企業は新型コロナウイルスの感染収束後を見据えて、今必要な計画を粛々と進めている。延期してもよい計画は凍結、延期するなど、明確な方針のもとで計画を進めている。
		輸送業（営業担当）	・電子部品や金属関連の工場で、出荷量がかなり減っている。材料の入荷も減っているため、今後は更に減りそうである。
		金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、人の動きが悪い。感染者数が減少し、緊急事態宣言が解除となれば、人の動きが戻り、状況は回復すると予想される。
		広告代理店（営業担当）	・前年以降、Web媒体、紙媒体共に、広告売上は前年の水準を下回り続けている。
		司法書士	・新型コロナウイルスの感染者数が高止まりするなか、ワクチンの効果が出るのはまだまだ先となるため、2～3か月後はまだ厳しい状況が続く。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まることで、最悪の状態を脱することができると予想される。ただし、依然として若年層を中心に感染は止まらず、新型コロナウイルスとの共存生活が続くそうである。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・通常商品の動きはあるが、新たな注文は入ってこない。
		その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	・消費マインドの変化に左右されるが、当面は社会情勢にあわせて、かなり厳しい状況が続くと予想される。
		その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されたとしても、新型コロナウイルスの感染が収束するわけでもなく、急に回復することはない。また、ワクチンを接種できたとしても、元どおりになるまでにはかなりの時間を要する。
		食料品製造業（従業員）	・例年であれば、春は展示会などで新製品をアピールできるが、そういった機会も失われている。訪問もできず、商談もできない状況が続いているため、なかなか前に進まない状況が続く。
		出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・2回目の緊急事態宣言の影響で、想定していた回復時期が遅れるため、もうしばらくは我慢の時期が続く。
		化学工業（管理担当）	・半導体不足で自動車の生産が減少すれば、当社の出荷量も減少する可能性が高い。
		金属製品製造業（営業担当）	・建築関連は引き続き厳しい状況が続くと予想される。一方、自動車関連も4月以降は不透明感が増している。
		一般機械器具製造業（設計担当）	・日本全体として、経済がうまく回りそうにない。
		その他製造業〔履物〕（団体職員）	・緊急事態宣言の発令後も、依然として新型コロナウイルスの感染収束の見込みは立たず、先のみえない苦しい状況が続いている。
		建設業（経営者）	・緊急事態宣言が出ているため、役所協議の遅れなどで着工が伸びる可能性がある。緊急事態宣言が延長されると、更に影響が出る可能性もある。
		建設業（経営者）	・春になって新型コロナウイルスの感染が一段落しても、外出自粛の影響によって沈滞ムードが続くことが懸念される。
		輸送業（商品管理担当）	・1～2月は例年売上が減少するが、今年は酒の配達がほとんどなく、売上が減少している。今後2～3か月も同じ状況が続く。
		輸送業（営業担当）	・家具部門は何とか利益が出ているが、飲料部門は酒店からの卸売の注文がほぼない状況であり、全体としてはマイナスが続いている。この状況が続けば、会社の存続も厳しくなる。
		金融業（副支店長）	・緊急事態宣言の解除時期の遅れが予想され、飲食店を中心に、景気の回復はなかなか見込めそうにない。消費者が巣籠りを余儀なくされる状況は、当面続きそうである。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・緊急事態宣言の発令により、折込収入が悪化している。
		その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響で、悪い状況が続いている。
	x	繊維工業（総務担当）	・消費者向け催事は、密集を避ける動きから集客が減少しているほか、規制地域からの参加を控えてほしいといった声も出ている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	通信業（管理担当）	・新型コロナウイルスの影響で雇用情勢が悪化し、解雇が増える。
	×	不動産業（営業担当）	・緊急事態宣言が延長されると予想されるため、景気はますます悪くなる。
	×	経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの影響が全てである。緊急事態宣言が出ているが、感染者数は増加の一途であり、回復の見通しが立たない。政府もこれといった対策を打っておらず、お願いの一边倒であるなど、頼りにならない。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染収束が全てである。
雇用 関連  (近畿)		人材派遣会社（役員）	・新型コロナウイルスへの対応が、科学的、現実的な内容に変化することを期待している。
		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	・緊急事態宣言の解除は、予定されている2月7日から延長される可能性があるものの、2～3か月先には解除される。企業活動の平時への移行による活発化に伴い、幅広い業種で求人が戻り、景気は回復へと向かうと予想される。ただし、このタイミングで東京オリンピックの中止が決まれば、株価の下落や景気に対するマインドが一気に下がり、景気が下向き可能性がある。
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が一定数に落ち着くまで、緊急事態宣言は延長される。ワクチンの接種によって、感染者数の拡大が早く抑えられることを期待したい。
		人材派遣会社（営業担当）	・休業や派遣契約の終了など、大きな影響を受けた時期は既に終わっており、一旦縮小した業績の中で進んでいく。企業各社による対応は、一時的には落ち着いた印象がある。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・東京オリンピックが開催されたとしても、景気浮揚の起爆剤にはなりそうになく、2～3か月後に現在の状況が好転しているとは思えない。ただし、これ以上悪くなることもない。
		職業安定所（職員）	・自動車関連の製造は求人の改善が見受けられるが、卸売や小売、飲食、宿泊業の求人が抑制されているため、景気全体としては変わらない。
		民間職業紹介機関（職員）	・緊急事態宣言後は、大手企業の建設現場を中心に、現場の入場規制や工事の延期などが行われているため、下請事業所からの求人が減少している。新型コロナウイルスの感染抑制につながるワクチンの接種や、効果的な治療薬の開発が行われるまでは、以前のような求人数の回復は見込めない。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・引き続き、新型コロナウイルス関係の求人の特需があると予想される。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・ここ数か月で大きく変わることはないが、3月の新卒採用情報の解禁に向けて、今ちょうど企業の動きが加速している。就活イベントの出席依頼が増える時期ではあるが、オンライン化や規模の縮小により、前年に比べて出展枠の少ない点が、就職情報会社の課題となっている。
		人材派遣会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染収束次第であり、ワクチンの接種がいつになるかに左右される。新年度を迎えても、すぐに右肩上がりとなることはなさそうである。
		人材派遣会社（支店長）	・新型コロナウイルスの感染次第であるが、4月は一旦落ち込むと予想される。
		職業安定所（職員）	・緊急事態宣言が解除される見通しが立たないため、かなり厳しい状況が続く。
		職業安定所（職員）	・新規求人数が減少傾向となるなど、企業の採用意欲が低下している。求職者も雇用保険の個別延長給付が終了しても、新型コロナウイルスへの懸念から就職活動に消極的になっており、雇用環境の改善の兆しを感じられない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの感染者数の推移や、ワクチン接種の動きが不透明である。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの影響で、まだまだ先が見通せないため、期末の動きは悪くなる。
	×	職業安定所（職員）	・大阪では、雇用調整助成金の相談件数が12月よりも増加した。緊急事態宣言の前後から、ハローワークの窓口には、飲食店を中心とした事業主からの相談が増えている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	学校〔大学〕（就職担当）	・求人数の推移や、新型コロナウイルスの影響を伝えるニュースの動向などから、ますます厳しくなると予想される。

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (中国)		商店街（代表者）	・暖かくなれば新型コロナウイルスの影響が弱まり、自粛ムードも緩和するため、景気はやや良くなる。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスのワクチンが開発され、その効果が現れてくれば、客の購買意欲が高まり、来店回数も増加する。
		スーパー（営業システム担当）	・今後も新型コロナウイルスに対する警戒が続き、内食需要は高い水準を維持する。
		衣料品専門店（代表）	・自粛期間が終われば、人の動きがやや活発になる。
		家電量販店（販売担当）	・1人暮らし向け商戦と決算期で景気はやや良くなる。
		乗用車販売店（統括）	・新型車の販売が好調で、今後も景気は良くなる。
		乗用車販売店（店長）	・サービスを中心に予想以上に来客数が増加するなど景気回復に向けての明るい要素が出てきていることから、今後、景気はやや良くなる。
		乗用車販売店（店長）	・新型車が高評価を得ており、今後、自粛ムードがある程度は緩和されるので、景気はやや良くなる。
		自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、緊急事態宣言が解除されれば、景気は良くなるが、国民に行き渡るのは夏頃なので、7～8月頃までの景気回復は僅かである。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば景気は上向く。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・現在、緊急事態宣言が発令中だが、一方でワクチン接種報道といった明るい話題も出始めており、今後、新型コロナウイルスが終息し、緊急事態宣言が解除されれば、景気も上向く。
		一般レストラン（店長）	・時短営業が終われば多少は人の流れも良くなる。現状、新型コロナウイルスがある程度落ち着いてきており、今後は外出する人が増加する。楽観視はできないが、今が底である。
		都市型ホテル（企画担当）	・謝恩会や卒業式など年度末に集中するイベントが軒並み中止になり、これらを取り巻く消費需要の減少の影響は大きく、個人客に限定した需要を取り込むしかない状況である。ただ、新型コロナウイルスの感染者数が減少し、Go To Travelキャンペーンが再開すれば、需要が回復する。
		都市型ホテル（企画担当）	・今が景気の底であり、今後、景気はやや良くなる。
		タクシー運転手	・2～3か月後には新型コロナウイルスの治療薬や予防薬等が開発され、景気は現状よりは良くなる。
		通信会社（営業担当）	・拡大傾向にあった新型コロナウイルスがやや落ち着きを見せており、今後、飲食店の時短等自粛要請がなくなれば、景気は好転する。
		競艇場（企画営業担当）	・2～3か月後は券の発売時間が長くなるため、売上も増加する。
		住宅販売会社（従業員）	・暖かくなってくれば、新型コロナウイルスの終息の見通しが立ち、景気も回復基調に転じる。
		住宅販売会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が多少緩和するため、景気はやや良くなる。
		商店街（理事）	・新型コロナウイルスの動向によるが、景気は変わらない。
	商店街（代表者）	・地方でも新型コロナウイルスのクラスターが多発しているため、客が外出を控えるようになっており、今後も売上に影響を与える。	
	一般小売店〔食品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの動向次第だが、景気回復まではしばらく時間が掛かる。	
	一般小売店〔印章〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まってすぐには効果が期待できない。	
	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・客の動きがはっきりせず、今後も景気は変わらない。	
	百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスが完全に終息しない限り、景気は変わらない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（営業担当）	・春先まで新型コロナウイルスの影響が続くと、リモートワークにより客が高額商品であるジャケットやスーツを着る機会が減り、購入しなくなるため、客単価が増加しない。また、集客も厳しい状況が続くため、景気は変わらない。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、特別な行事等の需要の低迷が続く。今後、商品供給や販売員の確保も厳しくなるため、景気は良くならない。
		スーパー（店長）	・自分の店、競合各社、周辺の異業種の現状から考えると、今後も景気が良くなる要素はない。
		スーパー（店長）	・客の買上点数が増加しても、来店頻度が変わらないため、売上が変わらない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明なため、今後も状況は変わらない。
		スーパー（店長）	・景気は新型コロナウイルス次第だが大幅に落ち込むことはない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスが終息するまでは今の状況が大きく変化することはない。
		スーパー（総務担当）	・現在、特に変化がないので、今後も現状を維持する。
		スーパー（業務開発担当）	・暖かくなり、新型コロナウイルスが少し落ち着けば、来客数が回復する。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスへの不信感がなかなか拭い切れないため、今後も景気は良くならない。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、景気は良くならない。
		コンビニ（支店長）	・今後も景気は変わらない。
		コンビニ（副地域ブロック長）	・新型コロナウイルスのワクチンの効果があれば、世の中の動きは活発になるが、自粛が続けば、景気は悪化する。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響が続く限り、景気が良くなることはない。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、客が外出を控え、新規の来客数が激減している。今後は決算を迎え、少しは上向くが、大きな変化はない。
		乗用車販売店（業務担当）	・新型コロナウイルスの影響で先行きが不透明である。
		乗用車販売店（営業担当）	・商品やイベントから考えても、景気が良くなる要素がない。
		自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、安定した売上は見込めない。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンに期待しているが、外出が以前のようにするにはまだまだ時間が掛かる。
		高級レストラン（事業戦略担当）	・Go Toキャンペーンが再開しないと需要が戻らない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の実効性が担保されれば、客の安心感につながり、外食需要につながるが、もう少し時間が掛かる。
		一般レストラン（経営者）	・今のままでは、送別会、歓迎会、卒業式、入学式等の宴会での利用が期待できないため、景気は変わらない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの状況が少し改善するが、景気はすぐには良くならない。
		スナック（経営者）	・まだまだ良くなる兆しがなく、当面は業界をどう守るかが先である。
		観光型ホテル（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が減少しないと景気回復は見込めない。
		観光型ホテル（副支配人）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、現状がしばらく続く。
		都市型ホテル（総支配人）	・例年であれば卒業旅行や入学、就職、転勤などで人が動き、需要が高まる時期を迎えるが、今年は緊急事態宣言やGo To Travelキャンペーンの一時停止期間の延長が予想され、予約が伸び悩んでいる。今後も新型コロナウイルスのワクチン接種の計画が定まらないため、好転は難しい。
		旅行代理店（経営者）	・当分は自粛して景気が良くなるのを待つだけである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（支店長）	・各事業者の営業や外出自粛が功を奏し、新型コロナウイルスのワクチンの有効性などが確認され、新型コロナウイルスをある程度抑え込める見通しが立てば、少しずつではあるが、状況が改善し、旅行需要も動き出してくる。
		タクシー運転手	・景気の悪い状況が続く。
		タクシー運転手	・これから暖かくなっていくので、タクシーの利用客も多少は増加するかもしれないが、景気はほとんど変わらない。
		通信会社（経理担当）	・引き続き先がみえない状況が続く。
		テーマパーク（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
		テーマパーク（管理担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
		観光名所（館長）	・新型コロナウイルスの動向に左右されるが、景気は変わらない。
		観光名所（館長）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、景気は上向かない。
		ゴルフ場（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息すれば、景気は良くなっていくが、現状では期待できない。
		その他レジャー施設 [温泉センター]（担当者）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加、緊急事態宣言の発令で、新型コロナウイルスがいつ終息するか分からない状況で、今後も景気は変わらない。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染対策をしても、回復することが難しく、まだまだこの状況が続く。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの終息の見通しが立たなければ、客が住まいなどを建てる気持ちにならない。
		商店街（代表者）	・客がどうしても必要な商品しか買わず、商品を見ても買わないという状況で、今後も景気は良くならない。
		一般小売店[茶]（経営者）	・緊急事態宣言の発令で、先行きが不透明となったため、景気はやや悪くなる。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明で来客数の回復の見通しが立たない。また、春以降の商品も十分に確保できない見通しであるため、景気回復にはまだまだ時間を要する。
		百貨店（営業企画担当）	・緊急事態宣言の発令で、新型コロナウイルスの先行きが不透明となったため、今後も景気は悪化する。
		百貨店（売場担当）	・今後も厳しい状況が続き、取引先だけでなく、自店舗の存続も危ぶまれる。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスによる来客数の減少が売上の減少につながりやすい店舗なので、今の状態が続けば、余り良い方向に向かわない。婦人、紳士衣料の苦戦がかなり続いていて、上昇のきっかけが出てこない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの発生からほぼ1年が経過するが、今後は来客数だけでなく、売上も徐々に減少する。
		スーパー（販売担当）	・客が自粛モードにあり、客単価が低下するなど消費意欲が落ち込んでいる。新型コロナウイルスが終息しない限り、景気の回復を実感するのは難しい。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加で来客数が減少しており、今後も感染者数が増加すると、景気は悪くなる。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、景気は回復しない。
		スーパー（財務担当）	・緊急事態宣言解除後、外食の増加や景気悪化による所得減少のための客の節約により、既存店の売上が減少する。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気はやや悪くなる。
		家電量販店（店長）	・例年であれば新生活需要で売上が期待できる時期であるが、今年は新型コロナウイルスの影響で売上が減少する。
		家電量販店（企画担当）	・店舗が繁華街にあるため、繁華街の夜のにぎわいがなくなると、景気は悪くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・3月の決算期以降は景気が悪くなる。
		その他専門店[布地]（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気はやや悪くなる。
		その他専門店[土産物]（経営者）	・飲食店の営業時間短縮などマイナス要因しかなく、今後も新型コロナウイルスが終息するめどが立たないため、景気はやや悪くなる。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスが終息する見込みがないため、景気はやや悪くなる。
		通信会社（企画担当）	・前年からの新型コロナウイルス禍での営業自粛が長引いて、先行きに対する不安感が徐々に強くなっており、新型コロナウイルスのワクチン接種への期待感も余り高くない。在宅のスタイルに慣れてきたが、通常なら出てくる新年度、春先、ゴールデンウィーク時の需要について明るい見通しが立たないため、景気は良くならない。
		放送通信サービス（総務経理担当）	・新型コロナウイルスが長期化していることが今後家計に大きな影響を与えるため、景気はやや悪くなる。
		通信会社（工事担当）	・新型コロナウイルスの影響が続き、売上が減少する。
		テーマパーク（業務担当）	・例年であれば、春の花のシーズンに入り、多くの来園が見込める時期になるが、新型コロナウイルスの先行きが不透明なため、景気はやや悪くなる。
		美容室（経営者）	・人通りがかなり少なくなり、夜も8時以降は店がガラガラになっている状態で、今後も景気は悪くなる。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルス禍で、消費者に建築という大きな買物に対しての動きがなく、民間企業も建築への投資を見合わせている状況で、今後も景気は良くならない。
		設計事務所（経営者）	・来客数がしばらく低調に推移していくため、景気はやや悪くなる。
		住宅販売会社（営業所長）	・ニューノーマル社会の到来で、これまでの事業の継続が正しいのか不透明感が強くなっていく。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響で、駅前通りの人も少なく、閑散としている。客が外出を控えている現状では、今後、景気が良くなるとは考えにくい。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響で景気は悪くなる。
	×	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・これまで我慢してきた小売店舗の体力が限界にきており、倒産、廃業する店舗がますます増加する。
	×	百貨店（販売計画担当）	・労働分配率の低下が加速するため、景気は悪くなる。
	×	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くと、来客数が更に減少し、景気は悪くなる。
	×	衣料品専門店（経営者）	・今の状態が続くと、客の着物離れが進み、元の状態に戻らなくなる。
	×	その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	・今後、PCR検査やワクチンの接種が普及しても、実際に安全が確認されるまでは、まだ時間が掛かり、新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は悪くなる。
	×	その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	・新型コロナウイルスの影響で景気は悪くなる。
	×	通信会社（広報担当）	・このまま新型コロナウイルスの影響が続けば購買意欲は落ち込み、景気は悪くなる。
	×	美容室（経営者）	・客の新型コロナウイルスに対する警戒心が続くため、今後も景気は悪くなる。
企業 動向 関連  (中国)		*	*
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、引き合いが堅調なため、生産が回復する。
		鉄鋼業（総務担当）	・今後も受注の回復傾向が続く。
		非鉄金属製造業（業務担当）	・電子、電池材料関係の受注が伸びる。
		輸送業（支店長）	・電子商取引やフリーマーケットサイトなどでの取扱個数は今後も増加する。今後も景気状況にかかわらず、少量多頻度の個人市場を中心に一定の荷動きが出てくる。
		通信業（営業企画担当）	・新型コロナウイルス感染拡大の動きも落ち着き、年度末までに利用がかなわなかったデータセンターでのサーバー構築や更新の動きが一気に発生する可能性が高いため、景気はやや良くなる。
		不動産業（総務担当）	・3月までは来客数や成約件数が前年並みとなる。
		木材木製品製造業（経理担当）	・緊急事態宣言の解除や新型コロナウイルスのワクチン接種の実施状況によるが、景気は1月よりは少し回復して横ばい状況が続く。
		化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明なため、今後も状況は変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		化学工業（総務担当）	・受発注については予定どおりであるが、総じて様子見の動向が見受けられるため、景気は変わらない。
		鉄鋼業（総務担当）	・特に大きな物件もないため、景気は横ばいで推移する。
		建設業（総務担当）	・新型コロナウイルス禍での営業活動の自粛がマイナス要因となっており、今後も景気は変わらない。
		輸送業（総務担当）	・緊急事態宣言を受け、客からの受注量の減少を想定したが、現時点では大きな変化がないため、今後も景気は変わらない。
		通信業（営業担当）	・今後の新型コロナウイルスの動向にもよるが、年度末に向けた引き合いが少ないことから、景気は良くならない。
		金融業（融資企画担当）	・地元完成車メーカーの世界販売の低迷が当分続くため、地元部品メーカーの受注はこの先数か月は伸び悩む。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、受注量や販売量は上向かない。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスを脅威と感じており、仕入先等への訪問も自粛している。今後ますます新型コロナウイルス感染が拡大する可能性があるため、景気はやや悪くなる。
		食料品製造業（総務担当）	・緊急事態宣言が再発令されたことで、今後ますます外食産業や飲食業が厳しい状況になるため、食料品製造業の景気もやや悪くなる。
		繊維工業（監査担当）	・人の動きが悪くなり、販売機会が減少することで、売上も悪化する。
		金属製品製造業（総務担当）	・受注の見通しは現状と変わりなく、引き合いがあっても2022年であり、このまま推移すれば今年は前年以上に厳しくなる。また、鉄原材料価格の高止まりも懸念している。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・前年末から年明けに掛けて新型コロナウイルスの感染者数が大幅に増加したことで、今後の見通しが立たない状況にあるため、景気はやや悪くなる。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・主要客からの日当たり受注内示量は、3月は今月と同程度であるが、4～6月は1割程度減少しているため、景気はやや悪くなる。
		建設業（経営者）	・新規案件が減少しており、また、多くの会社が様子見で最低限の修理工事しか発注しないため、景気はやや悪くなる。
		輸送業（総務・人事担当）	・6月くらいまで受注量が減少するため、景気はやや悪くなる。
		会計事務所（経営者）	・年度末に向けての業務が終了し、一旦状況は落ち着く。新型コロナウイルスのワクチン普及や東京オリンピックの開催可否が景気に大きく影響する。
	×	農林水産業（従業員）	・今後、閉店したり廃業したりする企業が出てくるため、景気は悪くなる。
	×	一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きから判断すると、景気は悪くなる。
	×	輸送用機械器具製造業（財務担当）	・新たな景気回復要素が見当たらないため、当面は景気は良くならない。
	×	金融業（貸付担当）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明で、企業の業績悪化が予想されるため、景気は悪くなる。
雇用 関連 (中国)		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響で悪化した景気の底が見え始め、飲食業以外の景気が上向きに転じる。
		人材派遣会社（経営戦略担当）	・新型コロナウイルスの影響が緩和し、経済全般で回復傾向を示していく。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・今後の新型コロナウイルスの動向によるが、現状では変わらない。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の防止が進めば企業の求人意欲は高まるが、感染拡大に歯止めが利かないと、求人意欲は低下し、景気は更に悪化する。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人数が減少しているが、働き方の変容が定着しつつあり、一部業種では改善の方向にある。ただ、新型コロナウイルスの影響で、県内事業者の80%以上が業務に支障が生じており、今後も中長期的な展望が開けない状態にあるため、景気は良くならない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（事業所担当）	・雇用調整助成金等の申請は減少に転じているが、新型コロナウイルス感染症の影響は多業種にわたっている。雇用環境は、新型コロナウイルスの感染拡大が続き、先行きが不透明なことから見極めの状態となっている。雇用保険関係を前年と比べると、12月の適用事業所数は前年比2.6%の増加、12月の被保険者数は前年比0.2%の増加となっているが、12月の資格喪失者数も前年比8.2%の増加となっている。求職者数を前年と比べると、12月の新規求職者数は前年比2.6%の減少となっているが、11月の有効求職者数は前年比16.2%の増加、12月の有効求職者数も前年比19.6%の増加となっている。
		職業安定所（雇用関連担当）	・新型コロナウイルスの影響で、多くの業種の先行きが不透明なため、景気は良くならない。
		民間職業紹介機関（職員）	・緊急事態宣言の再発令を受け、地方においても、外出自粛や外食控えなどが続き、人々が外へ出て何かをするという気分にならないため、景気は変わらない。
		民間職業紹介機関（求人・人材採用担当）	・採用活動は様子を見ながらという企業や今は採用できる状態ではないという企業が多い状況であり、2～3か月では状況は変わらない。
		学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・2022年度入社予定の学生を対象とした採用活動が3月以降に本格化するが、新型コロナウイルス禍では、企業の採用意欲も高まらない。
		その他雇用の動向を把握できる者	・新型コロナウイルスの状況に変化がなく、飲食業を中心に先行きが全く見通せないため、景気は変わらない。
		人材派遣会社（支社長）	・景気が良くなる要因が見当たらず、年度末繁忙を迎える企業も新年度には落ち込む可能性があるため、景気はやや悪くなる。
		人材派遣会社（支店長）	・新年度に入るが、企業も異動を控えるなど最小限の動きにとどめるため、景気はやや悪くなる。ただ、新卒の採用もあり、体制を整えば現状維持が見込まれる。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明である。一部業界は売上を大幅に伸ばしているが、小売業界や飲食業界などの売上は軒並み落ち込んでいる。新卒採用についても、採用は若干名でもするが、これまで利用していた合同説明会など直接対面で会うものは極力リスクを減らすため実施せず、就職サイトを利用してWeb中心に実施する方向にシフトする企業が目に見えて多くなっている。
		職業安定所（所長）	・11月までは宿泊業を中心に業績が回復傾向にあったが、Go To Travelキャンペーンの一時停止により休業を再検討する企業が出てきているため、景気はやや悪くなる。
		学校〔大学〕（就職支援担当）	・先行きが不透明なため、景気も徐々に悪化する。
	x	-	-

#### 10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (四国)		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスが終息しても、すぐに現状は変わらないと思うので、夜の街関連等の消費がスーパーに回る傾向は続くのではないかと考えている。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス禍のなかでも新生活や各社の新料金プラン導入で市場の動きが活発になると想定している。
		商店街（代表者）	・第3波が少し収まっていることと、ワクチン接種の情報がかなり入っていることから、消費マインドが上昇してくるようになると思う。
		スーパー（店長）	・気温の上昇やワクチン接種の開始などにより、新型コロナウイルスが終息に向かい、人々の動きや経済活動が回復し始めると予想する。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で厳しい状況だが、将来的には景気は良くなっていくのではないかと感じている。
		乗用車販売店（従業員）	・当地では新型コロナウイルスが終息してきている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（経営者）	・気温の上昇で新型コロナウイルスの感染拡大は少し収まり、それに伴って客足が少し戻ってくるのではないかと思う。
		競輪競馬（マネージャー）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の準備が具体的に進んでおり、緊急事態宣言発出による効果が具体的にデータに現れてくれば、やや良くなると予想する。
		商店街（事務局長）	・1月末に下がり始めた株価がどの程度で推移するか気掛かりである。新型コロナウイルスへの脅威はワクチン接種の進捗状況にもよるが、今より低下していくと思われ、人の動きや消費に活発化の兆しが見えてくるだろう。
		百貨店（販売促進）	・新型コロナウイルスの終息が見込めない。
		百貨店（営業管理担当）	・新型コロナウイルスへの警戒から来客数が減少傾向であるが、今後、ワクチン接種が予定されているため、横ばいで推移すると予測する。
		スーパー（企画担当）	・外出や外食が安全にできる環境にならない限り、家庭での食品の消費が増加している状況は変わらないと推測する。
		コンビニ（店長）	・第3波が落ち着き来店が増えると考えるが、感染者の状況に振り回されるので、通常の店舗運営ができず、利益が出ない状況が続くと考えている。
		コンビニ（商品担当）	・ワクチン接種が消費動向にどのくらい効果があるか読めない。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まるまでは現状のままだと思う。
		衣料品専門店（営業責任者）	・ワクチン接種や特効薬などが実用レベルに広がるまでは厳しい状況が続くと思われる。
		家電量販店（副店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が見え始めてきたが、開始が3か月以上先のため、景気の回復はまだ期待できない。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況は落ち着きつつあるが、自粛ムードは継続し景気も良くなならない。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルス禍のなかでは、儉約志向が多く見受けられるので、余り多くの物を買わない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・新型コロナウイルスの終息がみえないと客足は戻らないと予測しており、現在の景気が悪い状況は変わらない。
		一般レストラン（経営者）	・ワクチンの効果が出ることを祈るしかない。
		都市型ホテル（経営者）	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されるだろう2～3か月後くらいから、若干明るい兆しが出てくると期待している。ただ、今の予約状況だと非常に悪い状況のまま推移すると考えている。早く新型コロナウイルスが終息することを祈っている。
		旅行代理店（営業担当）	・今の環境では先の見通しが立たない。
		タクシー運転手	・3～4月は卒業、入学等のイベントがあるが、当地の大学は卒業式がリモートになり、卒業証書も郵送で送るというのが実状である。卒業後の就職先としては自動車関係、鉄鋼関係の業種は枠があると聞く。飲食は時短若しくは営業をしていないのが現状で、飲み屋も3分の1は営業していない。新型コロナウイルスの影響で先が見通せない。
		タクシー運転手	・例年は春になると当地域では遍路客の仕事が入ってくるが、今の状況では期待できない。今は昼も夜も客が少ないので、現状のまま推移するのではないかと思う。
		通信会社社員	・新型コロナウイルスの影響に伴い、訪問販売数が減少するおそれがある。
		通信会社（営業部長）	・来客数は減っているものの、目的がしっかりとある方はある程度来店してくれている。
		通信会社（支店長）	・新型コロナウイルスの終息時期が見通せない。
		美容室（経営者）	・卒業、入学シーズンだが式典ができるかどうかで状況が変わってくる。現状は新型コロナウイルス禍で人が動かないので期待できない。
		設計事務所（所長）	・建設業界では悪くなるという話は余り出ていないが、不安感が先に立っていると思う。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症に対して有効な営業方法が見つかっておらず、厳しい状況が続いていくと考えられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（企画担当）	・自粛生活による消費マインドの冷え込みは、ワクチン等の安心感が広がらない限り、回復しないと思われる。
		スーパー（財務担当）	・緊急事態宣言が解除になると外食からスーパーへの消費の流れが減少する。また、企業業績悪化による個人収入の減少で節約志向が強まる。
		コンビニ（総務）	・新型コロナウイルス禍の状況に左右されるが、少なくとも今の状況から良くなることはないと思う。
		衣料品専門店（経営者）	・現在の状態が続くとしたら相当厳しく、緊急事態宣言が延長になれば、更に厳しくなるのではないかと。当地には影響はないと思っていたが、相当な影響があると感じる。
		乗用車販売業（営業担当）	・例年4～5月は来客数、販売量共に苦戦するので、景気は悪くなると思われる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス感染者の再拡大の状況を見ると、先行きは不透明であり期待できない。
		乗用車販売店（役員）	・新型コロナウイルスの終息が見通せないなかで、鉄道や航空機、レンタカーのダメージが大きい。
		観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の長期化により不透明感が強まっている。
		美容室（経営者）	・外出の自粛が習慣化してくるよう感じる。
	×	商店街（代表者）	・行政指導で地元資本を犠牲にした街ゆえ、これからの時代が求めている街づくりに対して、行政の動きは全般的を射ていない。県外資本中心の街づくりから、地元民間主導への切替えは容易ではない。
	×	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・緊急事態宣言再発令以後、当地は該当地域ではないが、人出は減少している。その結果、来客数及び売上の減少につながっている。今後の動向は新型コロナウイルス次第なので、見当が付かないが、すぐに改善することはないだろう。
	×	一般小売店〔生花〕（経営者）	・予約の延期やキャンセルがあり、新規の予約は入らない。
×	コンビニ（店長）	・緊急事態宣言延長のニュースが出てきたので、しばらく来客数激減の状況が続くと思われる。何の保証も受けられないコンビニはオーバーストアのなか、衰退していくのかもしれない。	
×	観光遊園地（職員）	・緊急事態宣言の延長が考えられる。	
企業動向関連 (四国)			
		食料品製造業（経営者）	・現在は緊急事態宣言中で、飲食業、観光業向けの製品の発注が激減しているが、感染拡大に歯止めが掛かり、回復基調になることを期待している。
		木材木製品製造業（営業部長）	・新型コロナウイルスの影響で住宅契約数が落ち込むと予想されたが、大手ハウスメーカーの受注量が回復傾向にあることから、30代の住宅購買意欲は余り落ち込んでいないと判断できる。第3波の影響がどこまで出るか不透明であるが今後の受注量は期待できると判断している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・最近、地方への転入希望者が多いと感じており、実際に、数字にも表れている。仕事があれば地方に目が向けられるというのが、今のトレンドではないかと感じている。
		電気機械器具製造業（経理）	・前月同様であるが、新型コロナウイルスのワクチンを保管する保冷庫の需要が大きく伸びており、今後2～3か月の需要は継続する見込みである。
		建設業（経営者）	・第3次補正予算や次年度予算に国土強靱化が反映されていることや自治体において予算執行が間近に迫っていることで、業務量の今後の見通しは明るい。よって、数か月先までは少なくとも、やや良くなると思われる。ただ、問題は働き方改革などによる勤務時間の制限や新型コロナウイルスによる行動制限による生産の低下要素を抱えていることである。
		輸送業（経理）	・海運関係の客については、2～3か月先の出荷数量が前年同時期を上回る見込みである。全体的には今後の新型コロナウイルスの影響が不透明であり不安は残る。
		通信業（企画・売上管理）	・新型コロナウイルス感染症は寒い時期を過ぎると収まると予測しており、それに伴って広告料が戻ることを期待している。
		金融業（副支店長）	・Go Toキャンペーンの一時停止や緊急事態宣言による感染拡大の沈静化、ワクチン接種の具体化により一定改善すると予想する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		税理士事務所	・新型コロナウイルスのワクチンが市井に出回ることによって様々な業種の状況が回復していくと思われる。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響でウェットクリーナーの需要が高まり、販売量は一時期増えたが、競合他社や新規参入企業、海外からの輸入物も増え、販売量は需要が高まる以前と変わらなくなった。また今後も同様だと思われる。
		化学工業（所長）	・新型コロナウイルスの影響は不可避であり、その状況がどう変化するかで左右される。第3波のピークを過ぎた感じがしなくもないが、まだ予断を許さず、今後の見通しは立たない。将来的には、いつかは好転すると思うが、短期的には非常に判断が難しい。
		建設業（経営者）	・我が社にも新型コロナウイルスの影響が出てきた。
		輸送業（経営者）	・新型コロナウイルスとはまだ共存していく必要がある。
		通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響が比較的少ない業界ではあるが、現在発令中の緊急事態宣言の影響及び感染拡大状況が取引先や客にどのように影響を及ぼすかが見極められない。
		広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの第3波の影響が拡大しており、客の販促計画は削減傾向であり、また各種イベントも中止が続いている。ワクチン接種による集団免疫ができない限り、客の積極的な販促展開は難しい状況であり、余り変わらないと予想する。
		農林水産業（職員）	・2月中旬から春商材が動く時期に入る。例年これらの引き合いは業務需要がけん引しているが、新型コロナウイルス禍で料亭等の引き合いは鈍く量販店が中心の動きが見込まれる。量販店は基本的に、利益を確保し売りやすい値付けで販売しているが、卸売価格を引き上げるまでの力強さが無いのが実態である。失業率も高まっており、内食需要も精彩さを欠いている。
		繊維工業（経営者）	・元々、海外への売上比率は僅かであるが、新型コロナウイルスが世界にまん延し始めた頃、一時的に注文が減少した。現在は例年並みに回復しているが、国内も含め、ワクチン効果で収束するにはしばらく時間が掛かり、喫緊での本格的な市場回復は望めない。国内観光地の小売店は持続化給付金などでつないでいるが、元に戻るか疑問である。
		鉄鋼業（総務部長）	・受注量回復の兆しは見えず、臨時休業を余儀なくされており、雇用調整助成金で雇用維持を図っている。
	輸送業（営業）	・例年、年度末となる3～4月に掛けて繁忙期とされるが、新型コロナウイルス禍における生活様式の変化等が消費や流通に及ぼす影響は計り知れず、景気の先行き予測は難しい。	
	x	一般機械器具製造業（経理担当）	・海外では経済活動の再開が段階的に進む一方で、日本では新型コロナウイルスの感染再拡大や点在する地政学的リスクもあり、景気は極めて厳しい状況にある。
雇用 関連 (四国)		-	-
		求人情報誌製作会社（従業員）	・異動時期に入り、求人の増加が予想される。
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルス禍で企業が不要なコストの発生を抑えている。
		職業安定所（求人開発）	・新型コロナウイルスの影響で休業している事業所からの雇用調整助成金の申請が多数あり、人員整理を実施する事業所も出てきている。Go Toキャンペーン等により、人の動きが若干増えてきて、状況が緩やかに改善していたが、現在は1都2府8県に緊急事態宣言が発令されており、状況が悪化している。この状況が緊急事態宣言解除まで続くと思われるので、2～3か月先の状況は変わらないと推測する。
		民間職業紹介機関（所長）	・新型コロナウイルス感染症は少しずつ収束に向かっているが、ワクチン接種が一定数広がるには半年程度の時間が必要であるため、景気の回復はその頃になるとと思われる。
	学校[大学]（就職担当）	・現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のために緊急事態宣言が出されている都府県がある状態での、感染状況が収束しない限り、景気は今より良くなる見込みはない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（営業）	・年度末に向けてまだまだ新型コロナウイルスの感染拡大を警戒する季節であるだけに、外出自粛の風潮は変わらないと考える。ますます失業者が増加するとともに、新規採用者の求人ニーズは見込めない状況である。企業においてはデジタル化やRPAを推進して、来年度に向けてどれだけ業務効率化できるかが景気回復への大きな鍵になると考える。
		求人情報誌（営業）	・従来人手が足りていなかった業種でも求人数が減っている。これは、景気が悪くなっている証と考えられる。また、サービス業を中心に離職者が増加しており、景気は悪くなっていく。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスで生じたりリモート勤務などは、一部の産業では成長につながるが、リアルな物がないと売上に繋がらない産業では厳しさが増すので、二極化している。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言の再発令で、今後の展望が見通せない。

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (九州)		一般小売店〔生花〕（経営者）	・2～3か月先は、卒業や退職、異動等があり、また、母の日と続くため、花屋では売上が見込める時期になり、若干控えるようなことがあっても、売上は良くなる。
		競馬場（職員）	・緊急事態宣言の解除を期待している。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・緊急事態宣言が解除されても、好材料がないため、先行き不透明であるが、少しでもイベント等の動きが出ることに期待したい。
		百貨店（企画担当）	・緊急事態宣言の解除や気温の上昇、ワクチン接種等新型コロナウイルス対策としての明るいニュースが続けば、消費行動が少しずつ戻ってくると期待している。
		百貨店（売場担当）	・今年は、2月のイベントがないため、売上が減少する可能性がある。4月は、前年の4月に緊急事態宣言が全国に発出されていたため、上昇すると予想される。全体的な流れは、一部の店舗で食品の売上が80～100%になり、食品けん引型で動いている。一方、衣料品は、寒くなっているにもかかわらず、全般的に売上がない状況である。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種により、感染者数が減少し、加えて、政府の経済対策で、一気に景気が回復することを期待している。
		コンビニ（エリア担当・店長）	・春になるにつれて、客足も伸びてくると予想される。当店では、新型コロナウイルスの影響は余りないようであるが、飲食店が閉まっていることもあり、今後の客の動向が予測できない状況である。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス特需の影響で、テレワーク関連商品の需要が非常に高くなり、緊急事態宣言後は、更に伸びている。加えて、企業の働き方も変化しており、まだまだ特需が継続すると考えられる。
		家電量販店（店員）	・家電量販店の売上は、悪くない。白物家電では、ロボットクリーナーやコードレスクリーナー、ドラム式洗濯機、また、パソコンではタブレット端末等の売上が伸びている。今後もこの傾向が続くと期待している。
		家電量販店（総務担当）	・前年と同様に引っ越しマーケットは望めないが、現状の特需は当分継続すると予想される。
		家電量販店（従業員）	・新生活スタートに向けて購入するため、若干良くなる。
		家電量販店（広報・IR担当）	・新型コロナウイルスの影響で市場動向が不透明ではあるが、家電製品は生活必需品であるため、大きな落ち込みは想定していない。
	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・新型コロナウイルスの状況は、この先3か月で大きく回復できるとは考えられないが、この状況が続くと想定し、これを機に今までの方針や考え方を転換し、改善をしていかなければいけない。	
	観光型ホテル（総務）	・県内の新型コロナウイルス感染状況は着実に改善しており、進学や就職、春の移動シーズンに向けて外食や小規模宴席の動きが出てくると予想する。仮予約ではあるが、運営するレストランや宴会場の予約状況も上向き傾向である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光型ホテル（専務）	・新型コロナウイルス禍が収まれば、Go Toキャンペーンの再開を期待している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・客の外食や旅行意欲は高まっており、緊急事態宣言の解除次第で、好転すると考えている。
		旅行代理店（職員）	・国内旅行の春の新規予約は、増加傾向である。一方、海外旅行は期待できない。
		美容室（経営者）	・春になるとおしゃれ産業に携わっている業界は、忙しくなっていく。暖かくなると服装に変化が現れ、動きも出てくるため、緊急事態宣言が解除されれば、景気回復傾向になっていく。
		理容室（経営者）	・例年3月になると卒業や就職で客の動きが良くなるが、このところ新型コロナウイルスの影響で来店間隔が伸びているため、3月に期待したいが現実には厳しいと予想している。
		商店街（代表者）	・このまま緊急事態宣言を継続するか、又は、ワクチン接種により新型コロナウイルス感染者数が減少すれば、現状より良くなると考えられるが、先行き不透明なため今後に注視したい。
		商店街（代表者）	・緊急事態宣言発出前は、新型コロナウイルスの状況に慣れたことで緩みが出て、人の動きもあったが、再度の感染拡大により警戒心も強くなり、今後の状態は変わらないと予想される。しかし、新型コロナウイルスの研究やワクチン開発、接種次第では、変化が出てくるとも考えられる。
		商店街（代表者）	・現在、2月7日が期限の飲食店の自粛であるが、それ以降どうなるのか予測がつかない。加えて、ワクチン接種の効果も不透明である。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス収束の見通しが立たない限り、好転する材料がない。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・当県では感染者数が多かったが、どうにか落ち着き始めてはいるものの、緊急事態宣言や外出自粛が解除されないため、同じ状態か、若しくは、一層厳しくなる可能性がある。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス次第にはなるが、若干感染者数も減少しており、ワクチン接種もできる2～3か月先には心理的に和らぎ、今月よりも良くなってくると考えている。新入学のマーケットは大きいですが、人の動きは期待できない。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか予測できず、来客数や売上共に今後どれだけ回復するか懸念される。
		百貨店（経営企画担当）	・前年末までは、売上や来客数共に前年水準に回復しつつあったが、2度目の緊急事態宣言発出以降、来客数は再び減少傾向となり、厳しい商況になっている。緊急事態宣言の延長有無も不透明で、今後も厳しい傾向が継続すると見込んでいる。
		百貨店（業務担当）	・報道全体が新型コロナウイルスの話題であり、特に高齢者の不要不急の外出や買物は、警戒心から今後も慎重になることが予想される。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の稼働次第で変動すると推測されるが、現時点ではまだ不透明で、2～3か月先も現状が継続すると予想される。
		スーパー（総務担当）	・2～3か月先までに新型コロナウイルス禍が収束するとは考えられず、スーパーマーケットでの買物は、新しい生活様式で続くと考えられる。今後、ワクチン普及や感染者減少に向かえば、これまで以上に価格競争が激化し、前年比マイナスの厳しい状況になると懸念される。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス禍対策の効果がはっきりと表れない限り、景気が良くなるという要素は見当たらない。
		スーパー（統括者）	・まだまだ、新型コロナウイルス禍が続いており、巣籠り需要は継続すると予想されるため、良いものを安心価格で提供し、さらに、こだわり商品への提供を含め魅力ある商品や売場展開にて、新しい客の取り込みを継続しながら、何とか維持できると考えている。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスにより、先行き不透明で先が読めず、不安である。
		コンビニ（経営者）	・来客数や客の声を聞いても、新型コロナウイルスが終息しない限り、悪化が続くと予想される。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス収束以外には、好条件になるような環境変化の要素はなく、来客数は現状維持の見込みである。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（経営者）	・3か月後には、一般への新型コロナウイルスワクチン接種がようやく始まる見込みであるが、状況の改善には至らない。
		衣料品専門店（店長）	・外出自粛が影響し、新しい衣料品を購入することも減少するため、客の動きが悪い状態が続く。
		衣料品専門店（総務担当）	・新型コロナウイルスが終息していけば、何とか今の状況が維持されると考えられるが、拡大した場合は、更に悪くなる。
		衣料品専門店（取締役）	・3か月前は、新型コロナウイルスに慣れ、行動が緩んできた状況であったため、客の回遊もあり、イベントを組んだりして数字をある程度取れていた。しかし、1月は医療の逼迫が現実のものとなり、人の動きがなく、そのことが堅調に数字に表れている非常に深刻な月で、先行きが予測できない。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響が落ち着かない限り、同様の状況が発生することには変わりはなく、一旦落ち着いたとしても、今月のようなリスクは常に隣り合わせとなってしまう。
		家電量販店（店員）	・12月はボーナスが低くなり、売上が悪くなると予想していたが、現状では数字をみる限り、前年度より良くなっている状態が継続している。新型コロナウイルスが終息しても、このまま続くと考えている。
		乗用車販売店（従業員）	・今後は、永続的に景気は上がらず、徐々に利益幅が上がっていくと考えている。
		乗用車販売店（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況と半導体製造や供給の状態が懸念材料であるが、現状の来客数から推測すると車両の売上は堅調に推移する。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・燃料油の小売価格は先行き不透明な状況であるが、やや上げを予想している。客は遠出を自粛し、近場で家族と余暇を過ごしたいとの意向がうかがえる。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・緊急事態宣言解除及びGo Toキャンペーン再開がなければ、回復は厳しい。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染が収束しなければ計画が立てられず、ワクチンに期待しているが、先行きは不安でしかない。
		一般レストラン（スタッフ）	・政策全てが悪循環で、繁華街に人が集まらない。
		都市型ホテル（販売担当）	・緊急事態宣言の影響により、ビジネスや旅行等がどのように変化していくのか先行きが分からず、予測が立てられない状況である。
		タクシー運転手	・緊急事態宣言が長引く可能性もあり、タクシー業界も劇的悪化が懸念される。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの状況が不透明なため、対策関連業務の引き合いがしばらく続きそうではあるが、通常の引き合いの出し渋りとのバランスを見ても、大きく上振れる見込みは低い。
		通信会社（業務担当）	・前回の緊急事態宣言のときと比べると、取引先が止まってしまうような状況にはない。
		通信会社（企画担当）	・期末に掛けて、現状同様の販売量が見込める。
		観光名所（従業員）	・一般向けに、ワクチン接種が広がるまで好転は望めない。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスで大変な状況になっているが、給付金がなくつらい状況が続いている。
		美容室（店長）	・卒業、入学の着物の着付けが減少している。しばらくは、この状況が継続される。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・第3波の終息は年度内は見込めず、サービスキャンセルの影響は継続する。
		設計事務所（所長）	・今月の仕事の結果は2～3か月後に出るため、良くない状況が継続する。
		住宅販売会社（従業員）	・展示場等の来場はやや減少気味であるが、Webの問合せが増加しており、住宅購入層から一定数の動きは見受けられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔精肉〕 (店員)	・売上の半分以上を占める飲食店向けの卸売りが、緊急事態宣言の影響で大きな打撃を受けており、回復する見込みが立たない。
		一般小売店〔茶〕(販売・事務)	・これから数か月の売上は期待できない。緊急事態宣言発出中で、売上が上がる要素がなく、事務所用のお茶の注文もほとんどない状態である。飲食店は、時短営業で支援金があるが、飲食店だけが影響を受けている状態ではない。
		百貨店(総務担当)	・新型コロナウイルスの終息が見通せないため、回復は見込めない。
		百貨店(企画担当)	・緊急事態宣言が発出され、移動制限もあることから、イベントや催事を延期若しくは中止する予定である。高齢者の来店が減少しており、今後も回復は見込めない。
		百貨店(営業担当)	・友の会の新年度募集を開始し、春の卒業や入学シーズンを控え、学生服採寸やフレッシュャーズ需要での対象客の来店は期待しているが、不要不急の外出自粛や感染防止対策で来店増加は難しい。また、購買客の単価は維持しているものの、3密防止策を行っている会場への来店が減少しているため、季節催事のインターネットや通販受注へ移行拡大する対策を行っている。しかし、慎重な行動姿勢や生活防衛意識は依然継続しており、帰省や県外客との接触警戒が更に強まり、3世代での来店は減少、外出自粛の意識が強く回復感が弱まっている。
		スーパー(経営者)	・過剰な新型コロナウイルス関係の批判報道による萎縮経済が起こっている。
		スーパー(経理担当)	・新型コロナウイルス禍が収束すれば、完全に以前のように戻らないかもしれないが、今よりは人の移動や外出等が増え、食品スーパー業界では、また前年割れの時代に突入していく。
		コンビニ(経営者)	・3か月後も来客数増加の見込みはない。客が安心して購入できる状況でなければ、改善の見込みはないと感じている。ほとんどの客は、マスク着用で来店しているが、当店の対策でも万全を期するために、それなりの経費が必要になっており、厳しい状態になっている。
		乗用車販売店(従業員)	・通常、年度末に向け商談数は増加するが、展示会等のイベントができないため、販売促進が難しくなっている。
		住関連専門店(経営者)	・緊急事態宣言後も新型コロナウイルス感染者の減少がみられず、2～3か月でワクチンが国民に行き渡るとは考えにくく、外出自粛等で財布のひもは固くなると考えられる。
		住関連専門店(従業員)	・本来であれば秋冬物のクリアランスをする季節なのだが、集客が見込めない。大きな外因として緊急事態宣言の延長予定があり、かなり苦しい。
		その他専門店〔コーヒー豆〕(経営者)	・2～3月に気温が低くなれば、客の外出も若干減少するため、来客数はやや少なくなるが、巣籠り需要としてコーヒーの消費はあり、逆に客単価は上昇する。気候に左右されることが非常に大きい。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕(支配人)	・主要都市で緊急事態宣言発出、また、当県でも飲食店の時短営業要請に伴い、県民にも不安が広がっており、先行きは明るくない。世界的にも新型コロナウイルスの報道が多いことから、経営が厳しくなっている企業は多い。最も貧窮しているところに金が回るような支援策に期待したい。
		タクシー運転手	・この状態が続くと、生活や仕事で先がみえず、今後が懸念される。
		ゴルフ場(従業員)	・緊急事態宣言やGo To Travelキャンペーンの停止の影響で、やや悪くなる。
		ゴルフ場(営業)	・新型コロナウイルス禍での緊急事態宣言発出があり、期限が決められてはいるが、その後が不透明であるため、すぐに人出が多くなるとは考えにくい。
		その他サービスの動向を把握できる者(所長)	・特に新型コロナウイルスの影響で物流が停滞し、客先からの受注が減少しているため、2～3か月後の仕事量の不足が予想され、直接的に当社へも影響があると考えられる。
		設計事務所(代表)	・新型コロナウイルスの影響が、長引きそうである。
	x	商店街(代表者)	・新型コロナウイルスがいつ収束するか分からず、現在トンネルのなかに入っている状態である。先行き不透明のため、不安で一杯の日々を送っている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染リスクが一段と大きくなっており、死亡率も上がっているため、不要不急の外出は控えているのが現状で、この状態がしばらく続くと思われ。
	×	商店街（代表者）	・今後の見通しが立てられず、悪くなる一方だと感じている。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスが終息しない限りは、景気は悪くなる一方である。商業者への公的支援を望んでいる。
	×	一般小売店〔食料雑貨〕（店員）	・新型コロナウイルス禍を契機として廃業する飲食店が多数あり、客の減少が避けられず、売上が落ち込む要因となる。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの鎮静化ができず、医療崩壊や壊滅により客足が動かない状態になる。
	×	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルス収束の兆しがいまだみえず、来街者がますます減少していくことが危惧される。
	×	乗用車販売店（代表）	・緊急事態宣言等の影響で、経済的にはかなりの影響が出てくる。
	×	高級レストラン（経営者）	・自粛になり、内食に慣れてしまっているため、外食をすることがなくなり、このままでは元に戻るまでに1年以上掛かると考えられるため、店を保っているかどうか危惧している。
	×	高級レストラン（経営者）	・お弁当等の取組でWe bにテイクアウトを載せているが、通常の客の動きは全くない。このままでは、経営が成り立たなくなるため、少しでも知らせて来店していただけるように、努力をしていきたい。
	×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの終息が全くみえない現状では、景気が回復する気配を感じない。現在苦境に立たされている飲食業や旅行業以外の業種にも倒産や解雇等が広がっており、日用品以外の消費が、大きく落ち込むことが予想される。
	×	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、賃金やボーナスカット等で収入の減少が現実味を帯びてきている。そうなれば、家を建てる資金の工面に支障が出るため、低迷するのではないかと危惧している。
×	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、営業ではモデルルームは閉めて予約制で対応している。物件販売の出足は悪いと予想をしていたが、心配とは裏腹に販売も順調に進んでいる。	
企業 動向 関連 (九州)		電気機械器具製造業（経営者）	・今後も好調な受注が見込める。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・1月は最悪な状態である。2～3か月後もこの状態が続く様では、経済的にも追い詰められるのではないかと危惧している。ワクチン接種が可能になり、緊急事態宣言が解除になり、プラスになる状況がない限り、経済が厳しくなり、かなり難しい局面になっていくと予想される。
		農林水産業（経営者）	・2月も厳しい状態であるが、新型コロナウイルスのワクチン接種が2月末から始まるため、若干回復してくると予想される。また、3月は、移動や行楽シーズンであるが、今年は例年どおりの期待ができないが、4月以降には変化が出てくると思われる。懸念材料である鳥インフルエンザも春先には落ち着いてくると考えられるが、一刻も早く、新型コロナウイルスや鳥インフルエンザの不安がない状況になることを望んでいる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・引き合い案件が増えている。ある程度の仕事量が増加する予定である。
		電気機械器具製造業（取締役）	・新型コロナウイルスの影響を直接受けないセクターが、底堅い動きをしている。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・半導体関連の生産が、増加傾向であるとの市場予想に期待している。
		その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・半導体向け製品は増産方向にあるため、新型コロナウイルスが多少落ち着けば、回復してくると予測している。
		輸送業（総務担当）	・ワクチンの接種が、2月下旬より開始されることが一縷の希望となっている。もともと1～2月は貨物の動きが少ないため比較がしにくいですが、自粛からの解放が反動となり、例年よりも出荷量が増える可能性がある。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・自社We bのアクセス数や問合せ件数が増加している。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・自治体向け予算消化に向けた駆け込み受注が見込まれるが、1月の受注量も多く、恐らく同等になると予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		化学工業（総務担当）	・農業需要は低調であるが、自動車向け材料は持ち直してきたため、横ばいが継続する。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・今月は年末より良くなっているが、今後の状態は、新型コロナウイルスの影響があるため、今以上に良くなることは難しいと考えている。産地全体は、インターネットと一部企業の分を生産している店舗では、ある程度景気が良くなっているが、それ以外の店舗では、苦しい状態である。
		金属製品製造業（事業統括）	・引き合い数は増加しているものの、客の受注に結び付くために提供できる新たな付加価値をいまだ見いだせていない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・恐らく不採算部門の切捨てが行われ、しばらく今の状態が続くと考えられ、懸念している。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・客より3か月内示数も高い生産計画で展開されており、この先も、今月と同等の高い生産台数で推移する。
		輸送業（従業員）	・新型コロナウイルスやコンテナ不足の影響が収まらないと回復の余地はない。
		通信業（職員）	・受注済みの案件対応で、年度末まで引き続き景気が良い状態が続く見込みである。
		通信業（経理担当）	・新型コロナウイルスの影響で、将来の見通しが不透明なため、今後が懸念される。
		金融業（調査担当）	・新型コロナウイルス禍の収束がみえず、今後予定されているワクチン接種を不安視する声は少なくない。依然として、先行きは不透明なままで、国や県の強いリーダーシップが求められている。
		金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が、まだまだ減少傾向が見受けられない。緊急事態宣言解除の時期によるが、経済の動きが停滞しているため、2～3か月先も状況は変わらない。
		金融業（調査担当）	・緊急事態宣言が再度発出されたが、主要都市部でも外出抑制が十分にできていないなど、前年4月の発出時に比べると効果は限定的で、新型コロナウイルスの終息の見通しは依然不透明である。今後、ワクチンの普及いかんで状況が変わる可能性もあるが、現状の景気では、引き続き冷え込むことが予想される。
		不動産業（従業員）	・賃貸オフィスの入居状況が、横ばいで推移する。
		経営コンサルタント（社員）	・これから決算や申告等が3月まで続き、デスクワーク中心になるため、新しい動きはない。
		食料品製造業（経営者）	・緊急事態宣言発出により、一層の消費の落ち込みが予測される。また、影響の長期化も予想しており厳しい状況になる。
		繊維工業（営業担当）	・新型コロナウイルスも変異種が確認され、しばらく収束する可能性がなく、ワクチンだけが頼りである。今後の発注が増加しないことから、休業しなければならず、また、従業員が新型コロナウイルスに感染した場合も、2週間休業することになり、先行き不安である。
		家具製造業（従業員）	・2度目となる緊急事態宣言が発出されたことで、更に追い討ちを掛ける結果となっている。巣籠り需要がまだ当期期待できる住宅産業関連とは異なり、コンラクト市場は、景気回復における材料が全く見当たらないのが実状である。
		建設業（従業員）	・今後の予定配置員の空きがないため、入札等に参加しづらい状況にあり、受注が小工事に限定されるため、今後の景気は悪くなる。
		建設業（社員）	・平準化が実施されれば、例年のような暇な時期はないと予想されるが、年度末に集中するようでは、平準化とはいえない。早期の発注を希望している。
		金融業（従業員）	・新型コロナウイルス感染者数が再び大幅に増加し、Go To Travelキャンペーンが全国一斉に停止されたことなどから、飲食店やホテル・旅館等では、先行きを不安視する企業が増加している。
		広告代理店（役員）	・新型コロナウイルス第3波の影響で、直近2か月の売上予測が下方修正されている。
		経営コンサルタント（社員）	・緊急事態宣言解除後は、徐々に売上が回復する。
		その他サービス業[物産リース]（職員）	・緊急事態宣言の影響もあり、営業活動が鈍化しており、現状よりも景気が悪くなる要因が多くなっている。
	×	新聞社[広告]（担当者）	・東京や大阪は回復傾向にあるが、緊急事態宣言で悪化するのではないかと危惧している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・当県の新型コロナウイルスの緊急事態宣言の延長が予測され、県を越えての営業ができない状況になっていることから、指名等に入れず、受注が見込めない状態である。このため、売上が減少することが予測され、深刻である。
雇用 関連 (九州)		-	-
		人材派遣会社（社員）	・前回の緊急事態宣言では、解除以降に求人数が増加したこともあり、今回も解除後には、控えていた求人が動き出すと考えている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルス禍の収束のめどは立たないが、ワクチン接種が始まるため、その後の感染者数を注視したい。感染者数が減少傾向になれば、明るい兆しが見え、好転していくと期待している。
		新聞社〔求人広告〕（社員）	・緊急事態宣言の効果が出て、気温が上昇し、ワクチンの接種が一部でも始まれば、前年の10～11月のように、ある程度の広告量が回復すると考えられる。しかし、1年前の広告の量には、まだまだ遠く及ばず、経済全体の回復の見通しも不透明である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・緊急事態宣言も解除の方向に向かい、卒業や入学、移動シーズンを迎え、必然的に人の動きが生じる。また、駅ビルオープンという地域には明るいニュースもあり、上向くと予想される。
		人材派遣会社（社員）	・第3波の落ち着いた具合による。
		民間職業紹介機関（職員）	・ワクチン接種が成功し新型コロナウイルスが終息しない限り、企業の経済活動は進まないため、採用環境も好転する要素がなく、2～3か月後は、まだ同じ状態である。
		学校〔大学〕（就職支援業務）	・緊急事態宣言が発出され、新型コロナウイルス感染拡大の影響が続いている。ほとんどの企業が、採用者数を減少させていることはないが、新卒採用者数の調整は、更に進んでいく。
		人材派遣会社（社員）	・どの業界も新型コロナウイルスの影響で、先がみえない状況が長く継続しており、悪くなっていくと予想される。業界的にも一般派遣での見込みが立たず、新型コロナウイルス関連で発生する業務委託等に着手していく傾向である。
		人材派遣会社（社員）	・接客業を中心に、契約解除が出ており、また、出勤日数の見直し等契約内容を変更したいという企業もある。今後も新型コロナウイルス感染者数やクラスター発生に伴い、国や県の規制による影響は当分続く。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス感染拡大で緊急事態宣言が続いているが、ワクチン接種で感染が減少すれば、徐々に景気も回復すると予想している。しかし、当面ホテル等の飲食関係者や旅行者には絶望的な声もあり、新年度の企業の動きが鈍れば回復も遅れてくる。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染拡大が続いており、経済の好転が不透明である。そのため、これまで雇用を維持している事業所等かなり厳しい状況で、今後離職者が増えることも考えられる。
		職業安定所（職員）	・大型商業施設のオープン等明るい面もあるが、小売や宿泊業からは事業の継続が厳しいという声も聞かれている。
	×	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスが再流行しており、全国対象ではないが、緊急事態宣言が発出したことで、人の外出が抑制され、物や金の動きが悪くなる状況になる。

## 12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)		-	-
		一般小売店〔酒〕（店長）	・ワクチン接種が始まれば、ある程度の感染リスクも減る。経済も回るようになる。
		百貨店（店舗企画）	・緊急事態宣言が解除になれば、活気が戻ることは間違いない。客を受ける店側もより一層の予防策を実施していきたい。
		家電量販店（総務担当）	・新型コロナウイルスワクチンの接種が開始されると、気持ち前向きになると期待している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの1月の販売室数が前年比84%減少なのに対して、1月末時点での4月の予約室数は前年比60%減少で、マイナス幅が24%縮まっている。
		通信会社（営業担当）	・3月より新料金プランの受付がオンラインで始まることから市場が活気付きショップにも良い影響が出ると考えられる。先行した当社キャリアには追い風が吹いているので客確保のためのチャンスとなる。
		スーパー（販売企画）	・新型コロナウイルス禍が続く限り景気は変わらないとみられる。しかし経済環境、特に観光業を中心に大変厳しい状況があるようなので、それにより所得減少などがあればもっと厳しくなると予想される。
		コンビニ（経営者）	・夜間の来客数が減少しており、飲食店が通常どおりの営業に戻らないと来客数が戻ってこない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、自粛行動が解除される見込みは不透明である。現在の感染状況を踏まえると、更なる緊急事態宣言の延長の可能性も払拭できず、今後回復する可能性への期待は薄いことから、現状継続になるものと考えられる。
		コンビニ（代表者）	・新型コロナウイルスの影響は夏前まで続くと考えられる。今後県内では更に雇止めや廃業が増えてくるおそれがある。
		衣料品専門店（経営者）	・今月は年始のセールを当てにしていたが、不発に終わり、売上が低迷している。緊急事態宣言発出後は更に低迷している状態である。景気は、悪い状態のままである。
		その他サービス[レンタカー]（営業）	・先行予約状況も非常に悪く、Go To Travelキャンペーンの再開までは今しばらく旅行需要の低迷は避けられない。
		住宅販売会社（役員）	・ワクチンが医療関係者に接種され落ち着くまでは、変わらないと考えられる。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言発出で、来客数の減少が大幅に見込まれる。
		通信会社（サービス担当）	・新型コロナウイルスの経済への影響が徐々に始まるとみられる。
		住宅販売会社（代表取締役）	・新型コロナウイルスの影響で事業収入や給与所得が落ち込み、投資案件や住宅建築に対して金融機関の融資が厳しくなることが予想される。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチン等ができて落ち着かないことには、皆が今後大変危機感を抱いており、閉店も多くなっているようである。
	×	コンビニ（副店長）	・ワクチン接種時期と効果にもよるが、現段階では以前のような観光客は望めないのが現状である。プロ野球キャンプシーズンも無観客で、各航空会社の減便、休業するホテルも相次いでおり、それも店舗の売上にやはり影響している。
	×	衣料品専門店（経営者）	・現時点で取引先などが廃業に追い込まれている。このままの状態だと街の店も更に閉店、廃業が増えていくと考えられる。
	×	その他飲食[居酒屋]（経営者）	・周りの大手も不動産の売却が始まっている。目抜き通りの店舗の常連も全く顔を見せなくなっており、また、企業の会食自粛が解かれな限り、夜の営業は先がみえない。
	×	観光型ホテル（代表取締役）	・2月の予約数も動いていない。3月に入ってから、1月の修学旅行の振替などで少し増えているが、今後の新型コロナウイルスの状況、緊急事態宣言やGo To Travelキャンペーンの実施状況に左右される。宴会に関しても、例年歓送迎会などで動く時期ではあるが、現在は予約の動きはない。
	×	旅行代理店（マネージャー）	・アクセルとブレーキは同時に踏めない。結果的に1年前の振出しに戻っている。中途半端にGo Toキャンペーンを再開すると、無限ループ状態になる。
	×	観光名所（職員）	・緊急事態宣言の影響で動きが止まっている。
企業 動向 関連		-	-
		*	*
		食料品製造業（役員）	・2～3か月では現在の新型コロナウイルスの感染状況が大幅に変化するとは考えられない。
(沖縄)		窯業・土石製品製造業（経営者）	・例年なら公共工事は年度末に需要が増加するが、今年度は新型コロナウイルスの影響もあり需要が減少する見込みである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（経営者）	・沖縄県の新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発出により、総合住宅展示場が閉鎖されている。新規打合せが進まない。
		輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島の建設関連は、新型コロナウイルスの感染拡大で現場の方も戦々恐々としているが、官需部門においては宮古島の陸上自衛隊等関連が終盤に差し掛かっている反面、大型ホテルの民需の上向きが予想される。新規参入船が定着しており、更なる競争激化が懸念される。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の終息がみえないなかで、多くの県内企業が販促経費を抑える傾向が続いており、この状況はしばらく変わらないものとみられる。
		会計事務所（所長）	・絶対的にワクチン等で新型コロナウイルスの感染拡大が止まる好材料がないと、市民の消費等への意識は変わらない。
		輸送業（経営企画室）	・物流に限定すると、取扱貨物によるが全体をおしなべてみるとやや悪くなるとみられる。外食関係がかなり落ち込むとみられるが、小売店向け貨物量はやや増加することが推察される。
	x	-	-
雇用 関連 (沖縄)		人材派遣会社（経営者）	・新型コロナウイルス禍の状況の改善が期待されるが、それに伴い社会活動や企業活動も動き出すと予想される。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染がまだまだ収まらない。
		求人情報誌製作会社（営業）	・沖縄県緊急事態宣言が発出された4月と8月の傾向から、3度目となる1月の宣言発出の影響で翌月2月は大きく求人数が減少すると予測している。そこから2～3か月かけて緩やかに上昇していくとみている。ただ企業の体力勝負になっていて、4度目の発出の可能性も視野に、採用活動再開の先送りが懸念される。
		職業安定所（職員）	・求人の内容も新規開業に基づくものがなく、また、周辺の飲食店をみても閉店が相次いでいることを考えると、企業活動が活発化する要素がみえない。
		学校〔大学〕（就職支援担当）	・国や沖縄県の緊急事態宣言などで外出を控えるよう呼び掛けられており、より一層新型コロナウイルス対策が必要となっているなか、景気が良くなるとは到底考えられない。
	x	学校〔専門学校〕（就職担当）	・いまだ収束しない新型コロナウイルスにより社会情勢や状況が大幅に変化している。その状況に対応するあらゆることが滞っているように見受けられる。景気の回復にはまだまだ時間を要するとみられる。